

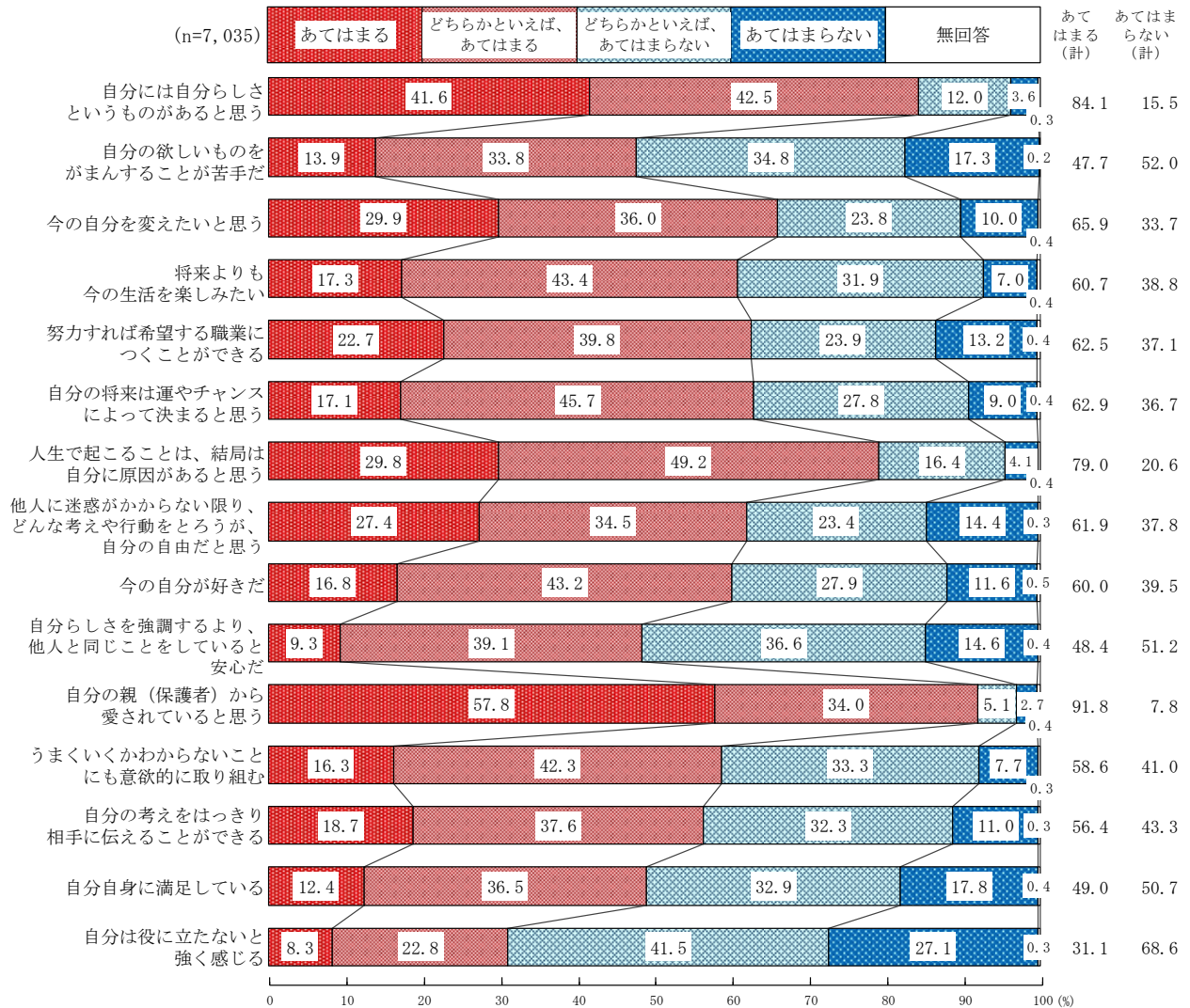
## 第2章 15歳～39歳対象調査

### 1. 人生観・充実度

#### (1) 自己認識 (問1)

問1 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。(それぞれについて1つ)

図表2-2-1-1-1 自己認識



回答者の自己認識について、“自分には自分らしさというものがあると思う”、“自分の欲しいものがまんすることが苦手だ”、“今の自分を変えたいと思う”、“将来よりも今の生活を楽しまたい”、“努力すれば希望する職業につくことができる”、“自分の将来は運やチャンスによって決まると思う”、“人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う”、“他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う”、“今の自分が好きだ”、“自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ”、“自分の親(保護者)から愛されていると思う”、“うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む”、“自分の考えをはっきり相手に伝えることができる”、“自分自身に満足している”、“自分は役に立たないと強く感じる”の15項目を聞いた(図表2-2-1-1-1)。

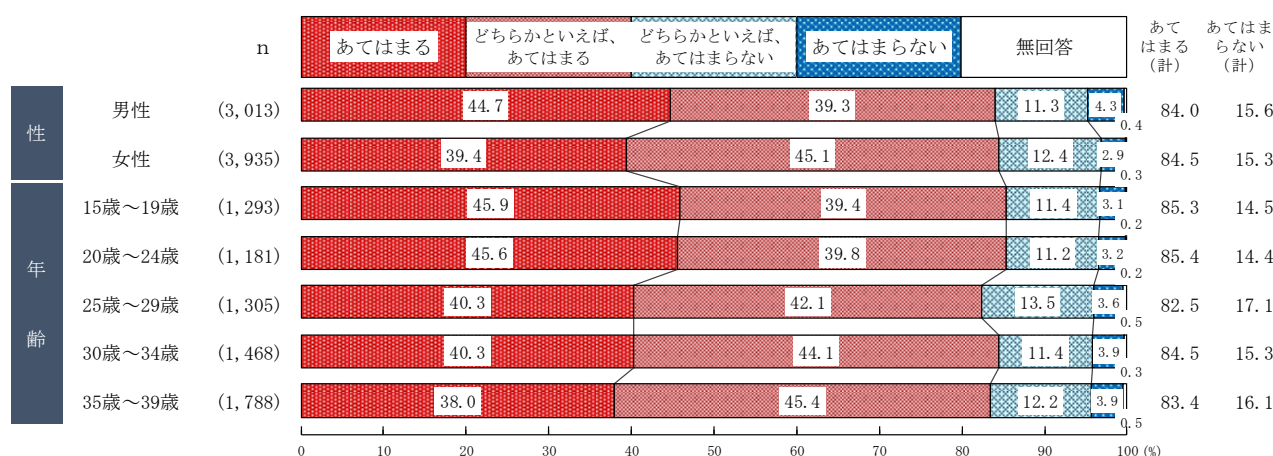
『あてはまる』(「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」)という回答者の割合が最も高いのは、“自分の親(保護者)から愛されていると思う”(91.8%)で、9割以上が親子関係を肯定的にとらえている。次いで、“自分には自分らしさというものがあると思う”が84.1%である。

一方、『あてはまらない』（「あてはまらない」＋「どちらかといえば、あてはまらない」）という回答者が多くみられるのは、“自分は役に立たないと強く感じる”（68.6%）で、7割近い。それ以外の項目では、“自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ”（52.0%）、“自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ”（51.2%）、“自分自身に満足している”（50.7%）については、『あてはまらない』という回答者が半数程度である。

“自分には自分らしさというものがあると思う”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-2）、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性 84.0%、女性 84.5% で、男女差はみられない。

年齢別にみても（図表 2-2-1-1-2）、『あてはまる』という回答者の割合は、いずれの年齢層でも8割台であり、大きな差はみられない。

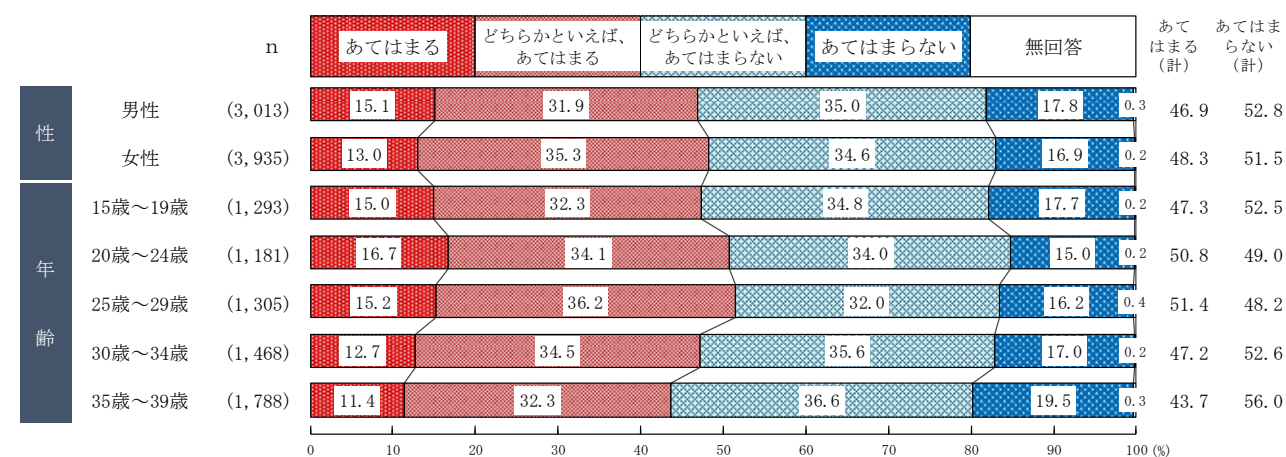
図表2-2-1-1-2 自己認識:自分には自分らしさというものがあると思う(性別、年齢別)



“自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-3）、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性 46.9%、女性 48.3% で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-3）、『あてはまらない』（「あてはまらない」＋「どちらかといえば、あてはまらない」）という回答者の割合は、15歳から29歳にかけて低くなり、30歳から39歳にかけて高くなる傾向がみられ、35歳～39歳が56.0%と最も高く、その他の年齢層は概ね5割前後（15歳～19歳52.5%、20歳～24歳49.0%、25歳～29歳48.2%、30歳～34歳52.6%）である。

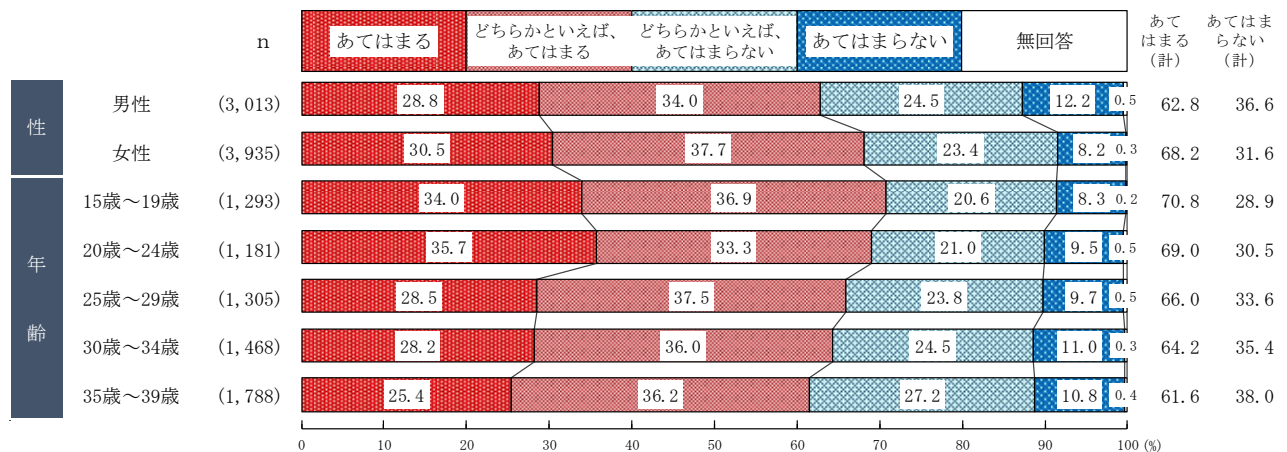
図表2-2-1-1-3 自己認識:自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ(性別、年齢別)



“今の自分を変えたいと思う”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-4）、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、女性（68.2%）が男性（62.8%）を約5ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-4）、『あてはまる』という回答者の割合は、いずれの年齢層でも6割を上回るが、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が70.8%、35歳～39歳が61.6%である。

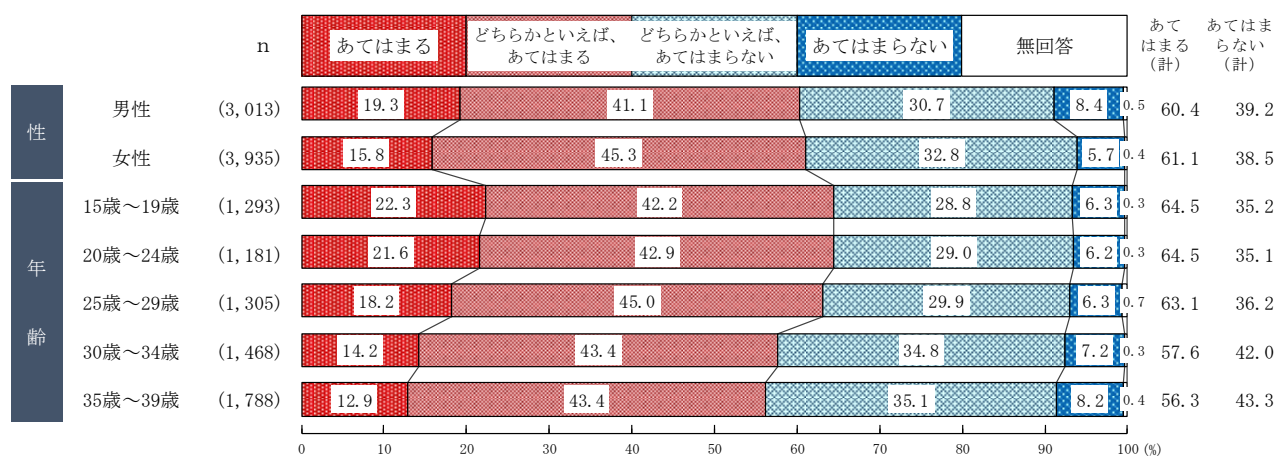
図表2-2-1-1-4 自己認識:今の自分を変えたいと思う(性別、年齢別)



“将来よりも今の生活を楽しみたい”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-5）、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性60.4%、女性61.1%で、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-5）、『あてはまる』という回答者は、20代までは6割台（15歳～19歳64.5%、20歳～24歳64.5%、25歳～29歳63.1%）である。一方、『あてはまらない』（「あてはまらない」+「どちらかといえば、あてはまらない」）という回答者は、30代で4割台（30歳～34歳42.0%、35歳～39歳43.3%）となっている。

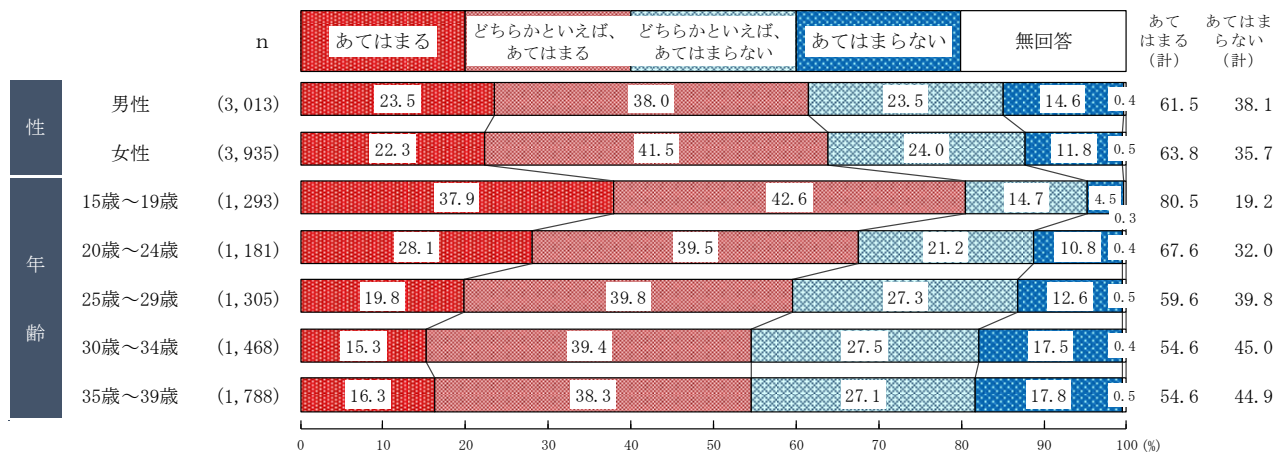
図表2-2-1-1-5 自己認識:将来よりも今の生活を楽しみたい(性別、年齢別)



“努力すれば希望する職業につくことができる”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-6）、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性 61.5%、女性 63.8%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-6）、『あてはまる』という回答者の割合は、年齢が高い層ほど低くなる傾向がみられ、15歳～19歳が 80.5%、35歳～39歳が 54.6%である。一方、『あてはまらない』（「あてはまらない」+「どちらかといえば、あてはまらない」）という回答者は、30代で4割台（30歳～34歳 45.0%、35歳～39歳 44.9%）となっている。

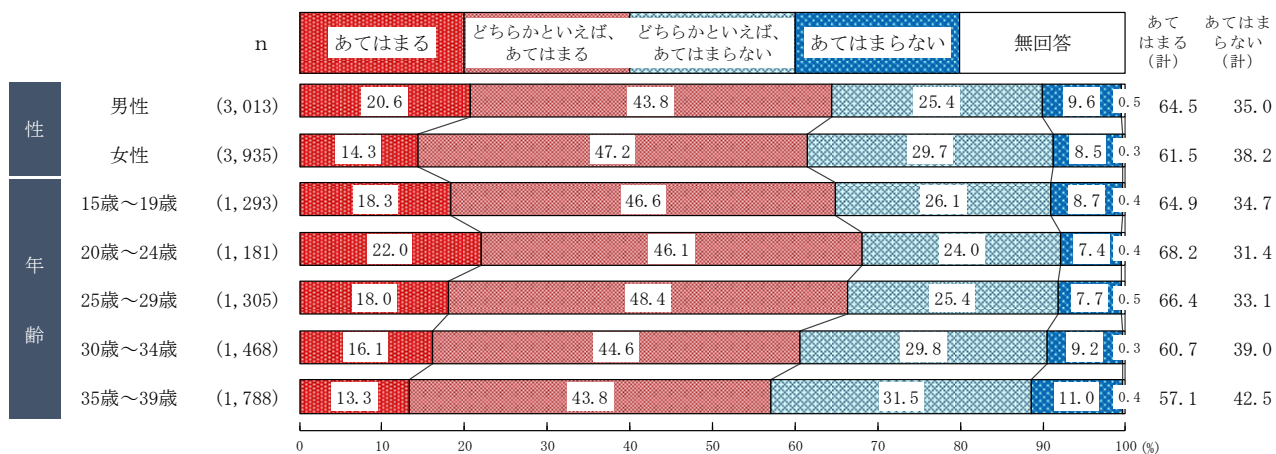
図表2-2-1-1-6 自己認識:努力すれば希望する職業につくことができる(性別、年齢別)



“自分の将来は運やチャンスによって決まると思う”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-7）、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性 64.5%、女性 61.5%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-7）、『あてはまらない』（「あてはまらない」+「どちらかといえば、あてはまらない」）という回答者の割合は、いずれの年齢層でも3割を上回るが、35歳～39歳が 42.5%と最も高い。

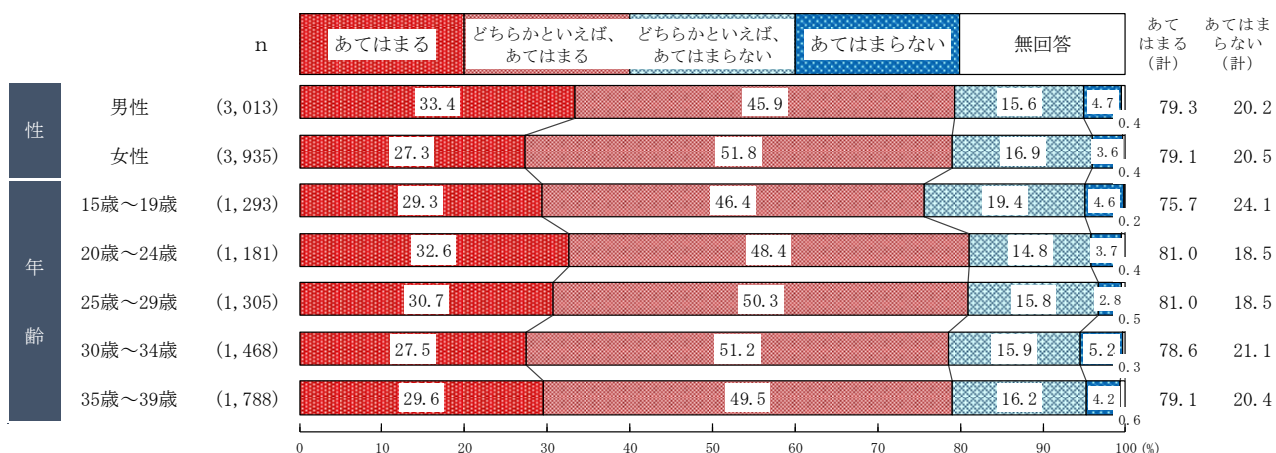
図表2-2-1-1-7 自己認識:自分の将来は運やチャンスによって決まると思う(性別、年齢別)



“人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-8）、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男女とも8割近く（男性79.3%、女性79.1%）で、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-8）、『あてはまる』という回答者は、いずれの年齢層でも7割を上回る。一方、『あてはまらない』（「あてはまらない」＋「どちらかといえば、あてはまらない」）という回答者は、15歳～19歳が24.1%と最も高く、その他の年齢層は2割前後（20歳～24歳18.5%、25歳～29歳18.5%、30歳～34歳21.1%、35歳～39歳20.4%）である。

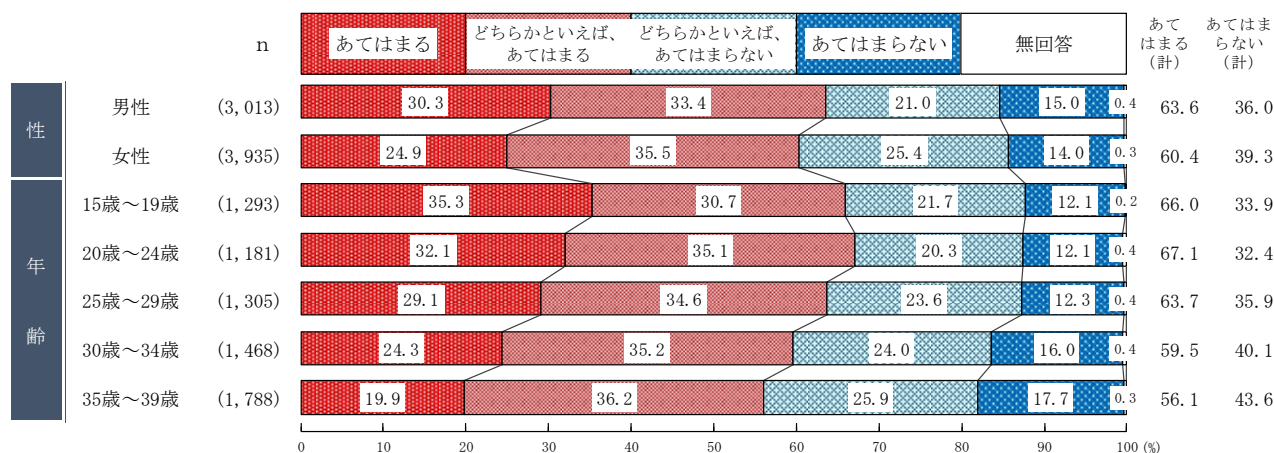
図表2-2-1-1-8 自己認識:人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う(性別、年齢別)



“他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-9）、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性63.6%、女性60.4%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-9）、『あてはまる』という回答者の割合は、年齢層の低い層ほど高い傾向がみられ、24歳までは7割に近く（15歳～19歳66.0%、20歳～24歳67.1%）、30代は5割台（30歳～34歳59.5%、35歳～39歳56.1%）となっている。

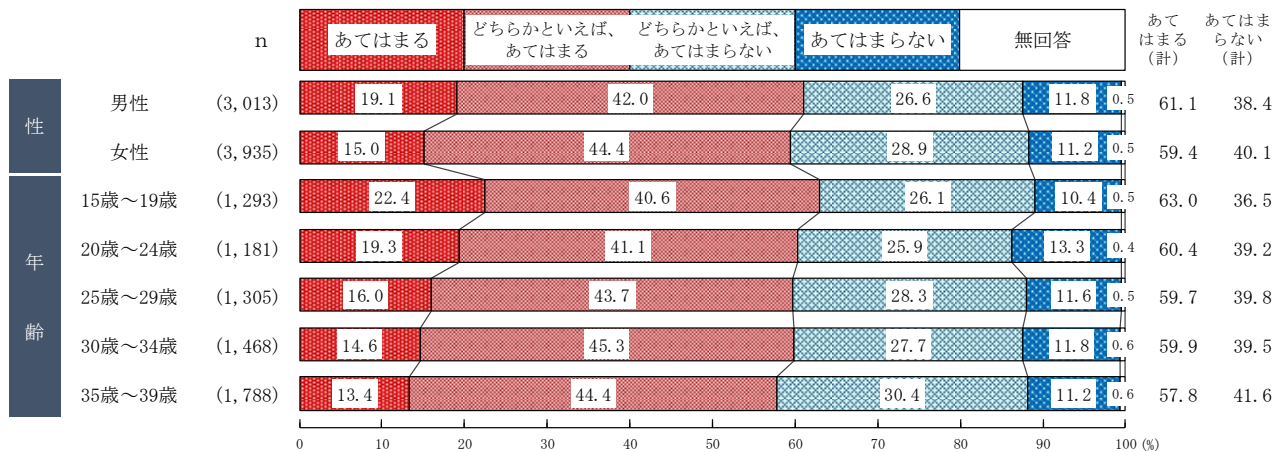
図表2-2-1-1-9 自己認識:他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う(性別、年齢別)



“今の自分が好きだ”という自己肯定感について、性別にみると（図表 2-2-1-1-10）、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性 61.1%、女性 59.4%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみても（図表 2-2-1-1-10）、『あてはまる』という回答者は、いずれの年齢層でも概ね 6 割前後である。

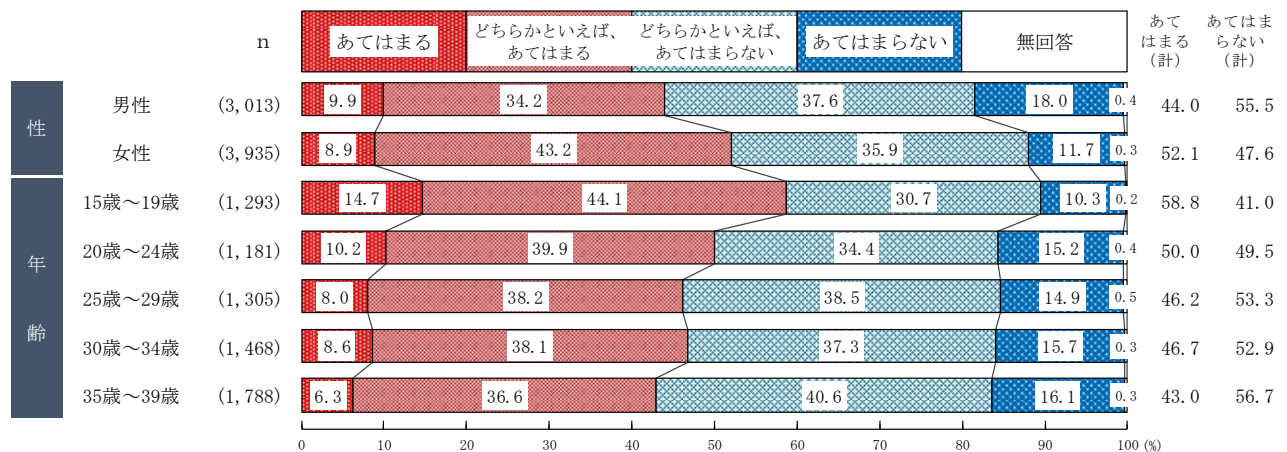
図表2-2-1-1-10 自己認識:今の自分が好きだ(性別、年齢別)



“自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-11）、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、女性（52.1%）が男性（44.0%）を約 8 ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-11）、『あてはまる』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高い傾向がみられ、24歳までが 5 割台（15歳～19歳 58.8%、20歳～24歳 50.0%）となっている。

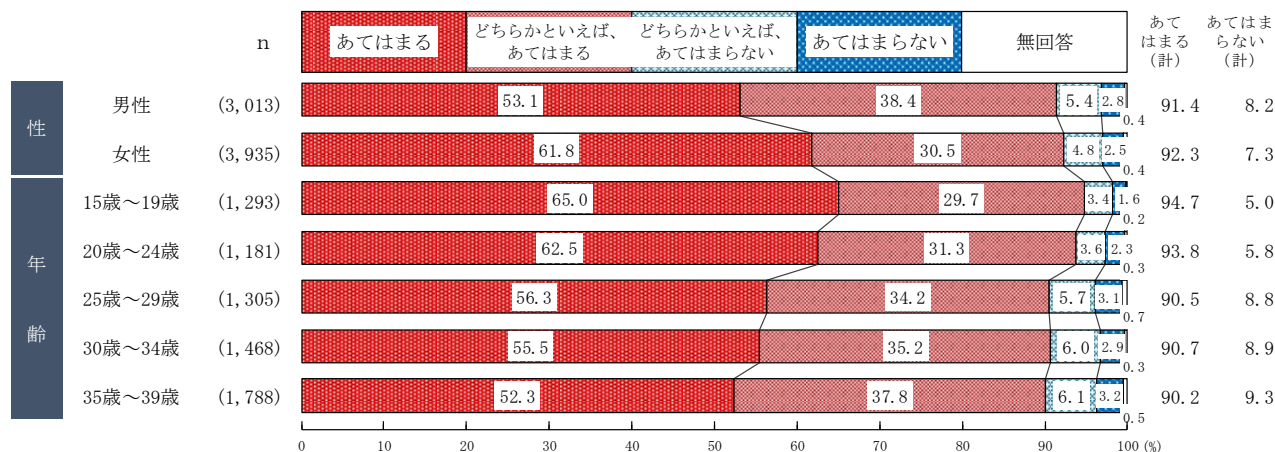
図表2-2-1-1-1-11 自己認識:自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ(性別、年齢別)



“自分の親（保護者）から愛されていると思う”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-12）、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性 91.4%、女性 92.3%と、男女ともに9割を上回り、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-12）、『あてはまる』という回答者の割合は、いずれの年齢層でも9割台であるが、なかでも15歳～19歳（94.7%）と20歳～24歳（93.8%）が高い。

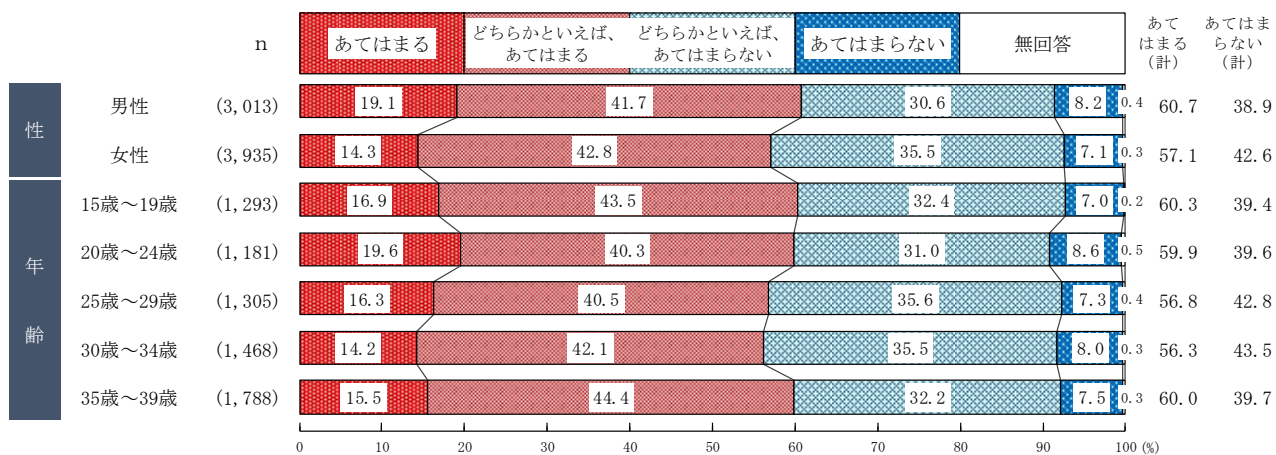
図表2-2-1-1-12 自己認識:自分の親(保護者)から愛されていると思う(性別、年齢別)



“うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-13）、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性 60.7%、女性 57.1%となっている。

年齢別にみても（図表 2-2-1-1-13）、『あてはまる』という回答者は、いずれの年齢層でも約6割を占める。

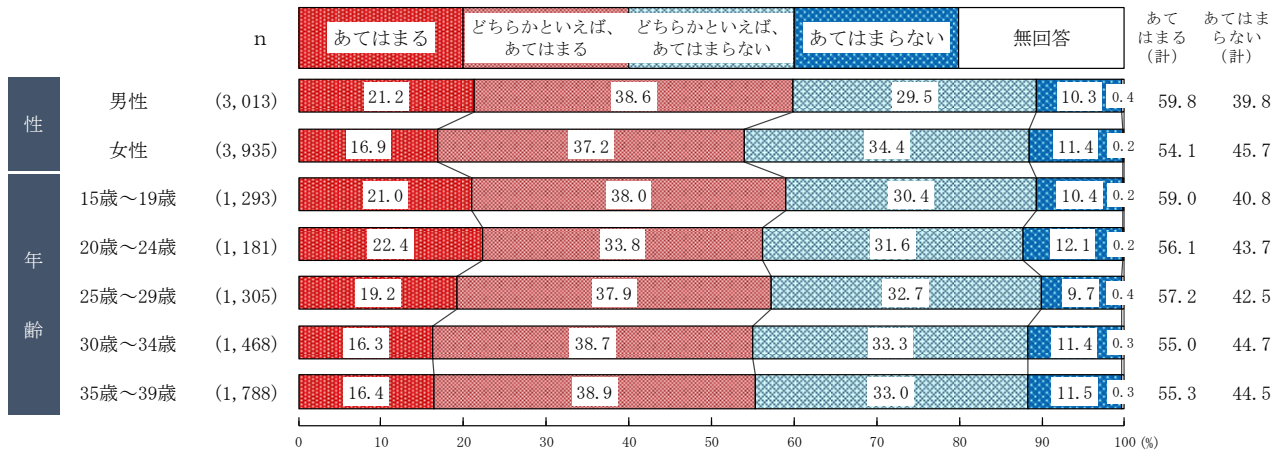
図表2-2-1-1-13 自己認識:うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む(性別、年齢別)



“自分の考えをはっきり相手に伝えることができる”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-14）、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性（59.8％）が女性（54.1％）を約6ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-14）、『あてはまる』という回答者は、いずれの年齢層でも5割台であるが、20代までは6割に近づいている（15歳～19歳 59.0％、20歳～24歳 56.1％、25歳～29歳 57.2％）。

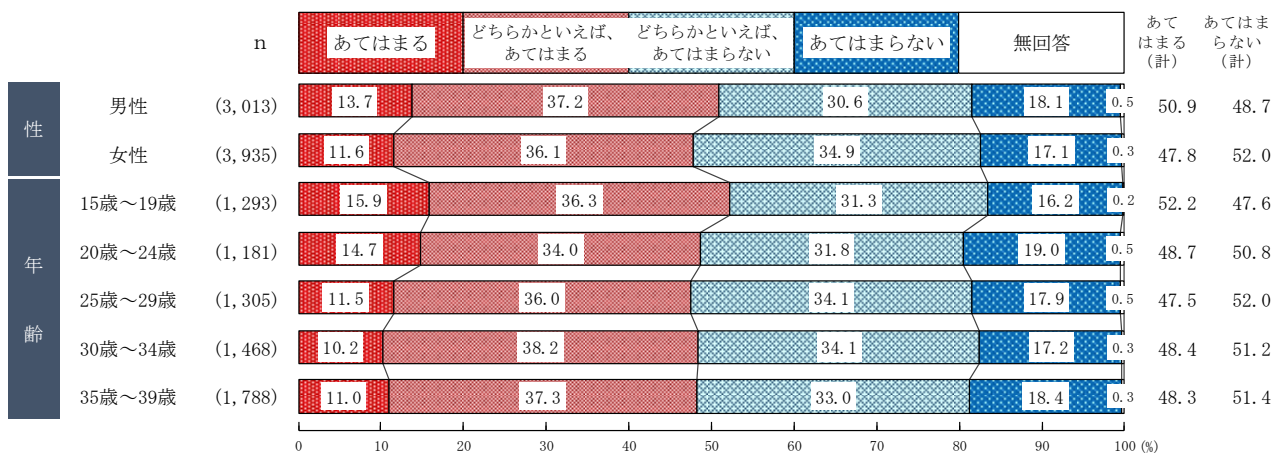
図表2-2-1-1-14 自己認識:自分の考えをはっきり相手に伝えることができる(性別、年齢別)



“自分自身に満足している”について、性別にみると（図表 2-2-1-1-15）、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性 50.9％、女性 47.8％で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-15）、『あてはまる』という回答者の割合は、いずれの年齢層でも概ね5割前後である。一方、20歳以上の年齢層では、『あてはまらない』（「あてはまらない」＋「どちらかといえば、あてはまらない」）という回答者が半数を上回る（20歳～24歳 50.8％、25歳～29歳 52.0％、30歳～34歳 51.2％、35歳～39歳 51.4％）。

図表2-2-1-1-15 自己認識:自分自身に満足している(性別、年齢別)

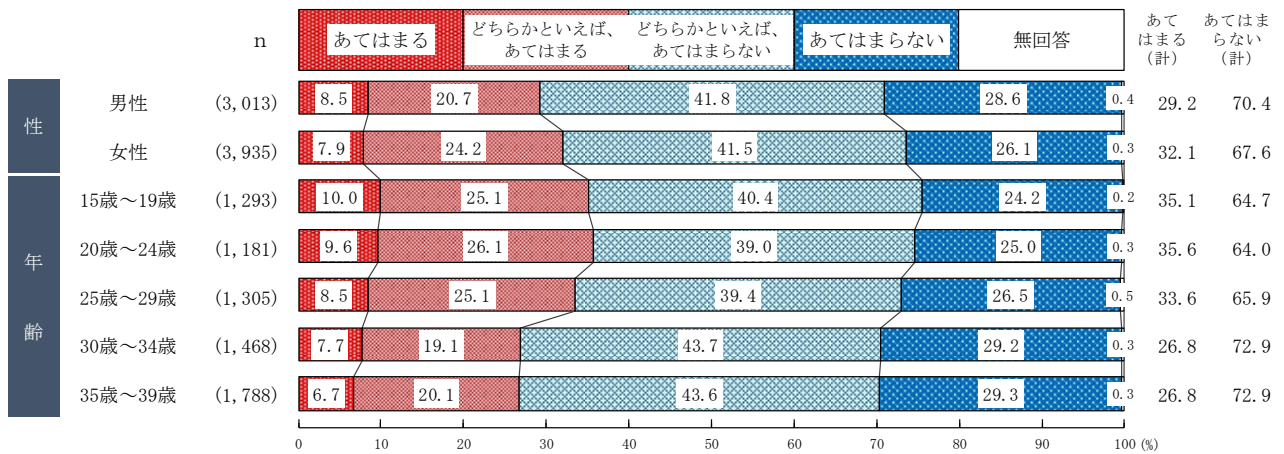




“自分は役に立たないと強く感じる”という自己有用感について、性別にみると（図表 2-2-1-1-16）、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性 29.2%、女性 32.1%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-1-16）、『あてはまる』という回答者は、29 歳までは 3 割を上回り（15 歳～19 歳 35.1%、20 歳～24 歳 35.6%、25 歳～29 歳 33.6%）、30 代では 2 割台（30 歳～34 歳 26.8%、35 歳～39 歳 26.8%）となっている。

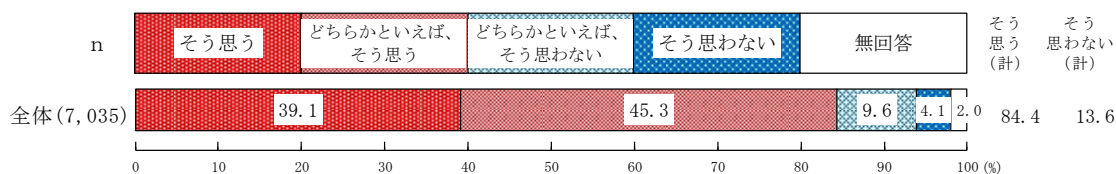
図表 2-2-1-1-16 自己認識：自分は役に立たないと強く感じる（性別、年齢別）



(2) 今の幸福感 (問2)

問2 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。(1つだけ)

図表2-2-1-2-1 今の幸福感

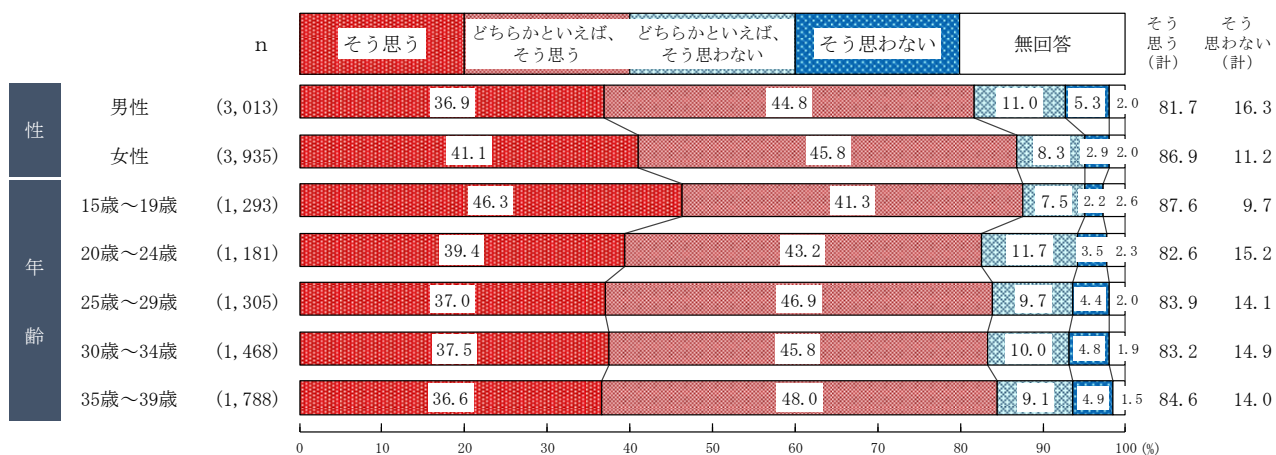


“今、自分が幸せだと思う”という今の幸福感について聞いたところ (図表 2-2-1-2-1)、「そう思う」という回答者が 39.1%で、「どちらかといえば、そう思う」(45.3%)を合わせると、肯定的な回答が8割以上を占める。

性別にみると (図表 2-2-1-2-2)、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」)という回答者は、女性 (86.9%)が男性 (81.7%)を約5ポイント上回っている。

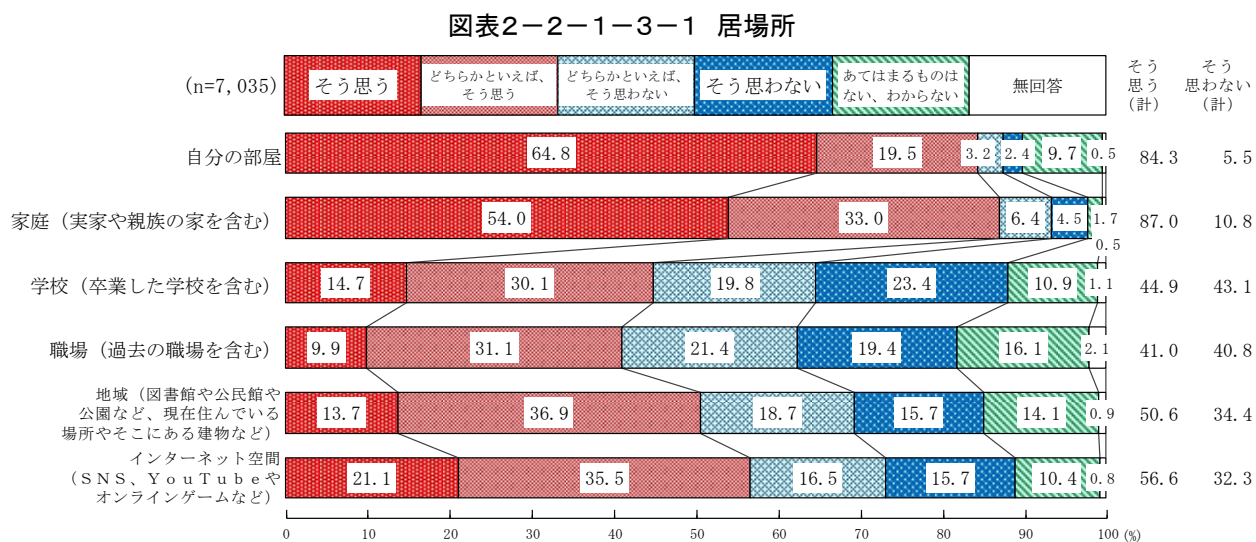
年齢別にみると (図表 2-2-1-2-2)、『そう思う』という回答者が、いずれの年齢層でも8割を上回り、なかでも15歳~19歳 (87.6%)は9割に近い。

図表2-2-1-2-2 今の幸福感(性別、年齢別)



(3) 居場所 (問3)

問3 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（それぞれについて1つ）



“自分の部屋”、“家庭（実家や親族の家を含む）”、“学校（卒業した学校を含む）”、“職場（過去の職場を含む）”、“地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）”、“インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）”の6つの場所それぞれについて、回答者にとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所）になっているかを聞いた（図表2-2-1-3-1）。

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、“家庭”（87.0%）が最も高く、次いで“自分の部屋”（84.3%）であり、ともに8割を上回っている。

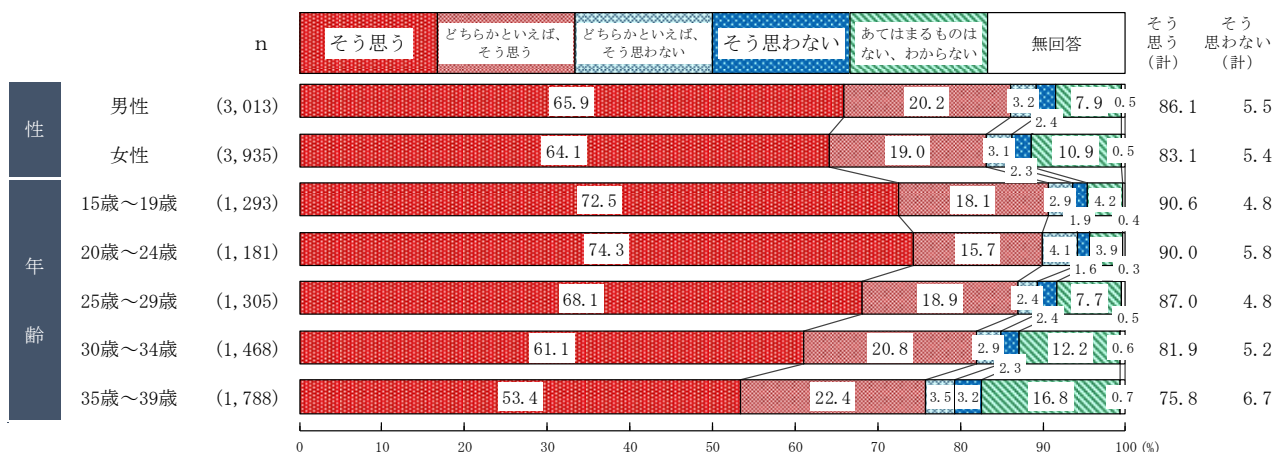
“学校”と“職場”については、『そう思う』という回答者が、ともに4割台（学校44.9%、職場41.0%）である一方で、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者も、ともに4割台（学校43.1%、職場40.8%）となっている。

“地域”と“インターネット空間”については、『そう思う』という回答者が、ともに5割台（地域50.6%、インターネット空間56.6%）である。

居場所としての“自分の部屋”について、性別にみると（図表 2-2-1-3-2）、『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男性 86.1%、女性 83.1%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-3-2）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が 90.6%、35歳～39歳が 75.8%である。なお、「あてはまるものはない、わからない」という回答者（“自分の部屋”に相当する場所がない可能性のある回答者）の割合は、年齢が高い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が 4.2%、35歳～39歳が 16.8%である。

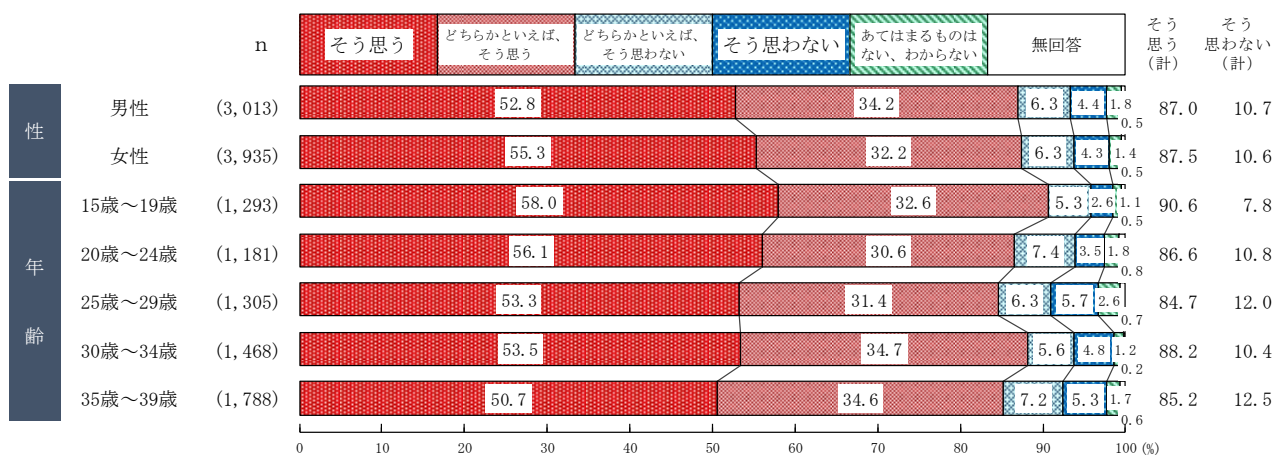
図表 2-2-1-3-2 居場所:自分の部屋(性別、年齢別)



居場所としての“家庭（実家や親族の家を含む）”について、性別にみると（図表 2-2-1-3-3）、『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男性 87.0%、女性 87.5%で、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-3-3）、『そう思う』という回答者の割合は、15歳～19歳が 90.6%と最も高いが、いずれの年齢層でも 8割を上回っている。

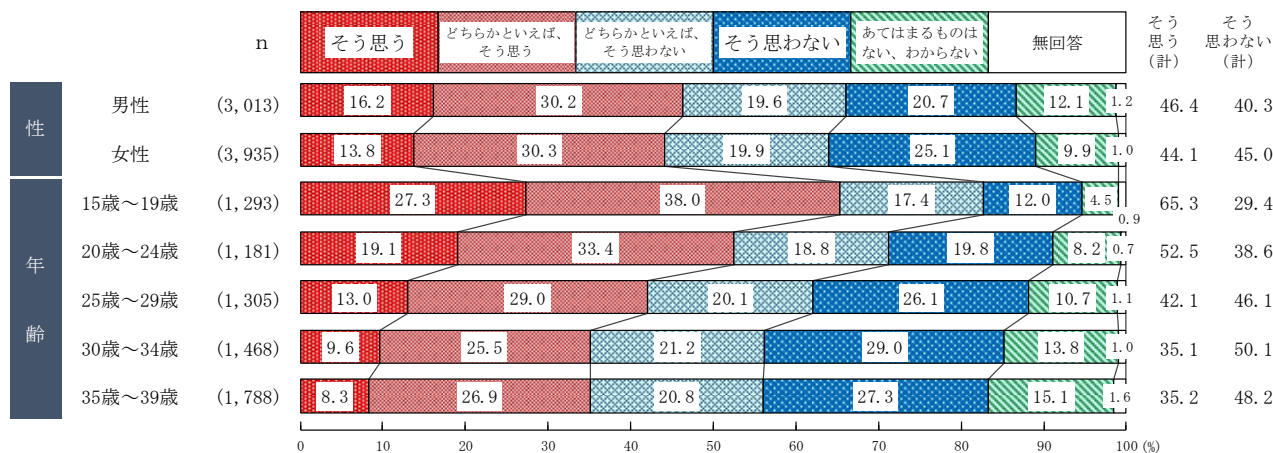
図表 2-2-1-3-3 居場所:家庭(性別、年齢別)



居場所としての“学校（卒業した学校を含む）”について、性別にみると（図表 2-2-1-3-4）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男性 46.4%、女性 44.1%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-3-4）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が 65.3%、35歳～39歳が 35.2%である。

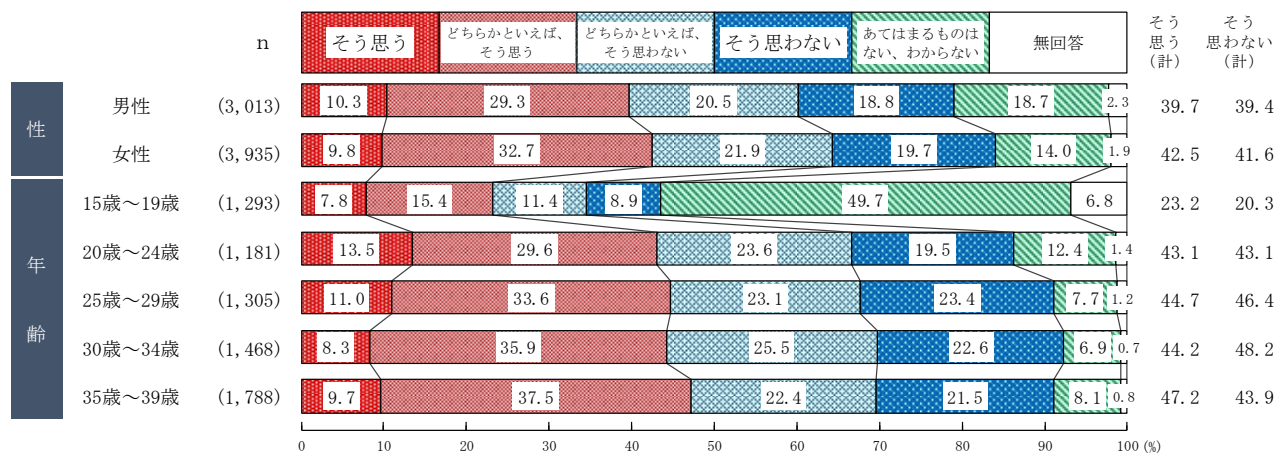
図表2-2-1-3-4 居場所:学校(性別、年齢別)



居場所としての“職場（過去の職場を含む）”について、性別にみると（図表 2-2-1-3-5）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男性 39.7%、女性 42.5%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-3-5）、『そう思う』という回答者は、20歳以上の年齢層では4割を上回り、なかでも35歳～39歳（47.2%）で半数近い。なお、学生が約9割を占める15歳～19歳<sup>10</sup>では、「あてはまるものはない、わからない」という回答（49.7%）が半数を占める。

図表2-2-1-3-5 居場所:職場(性別、年齢別)

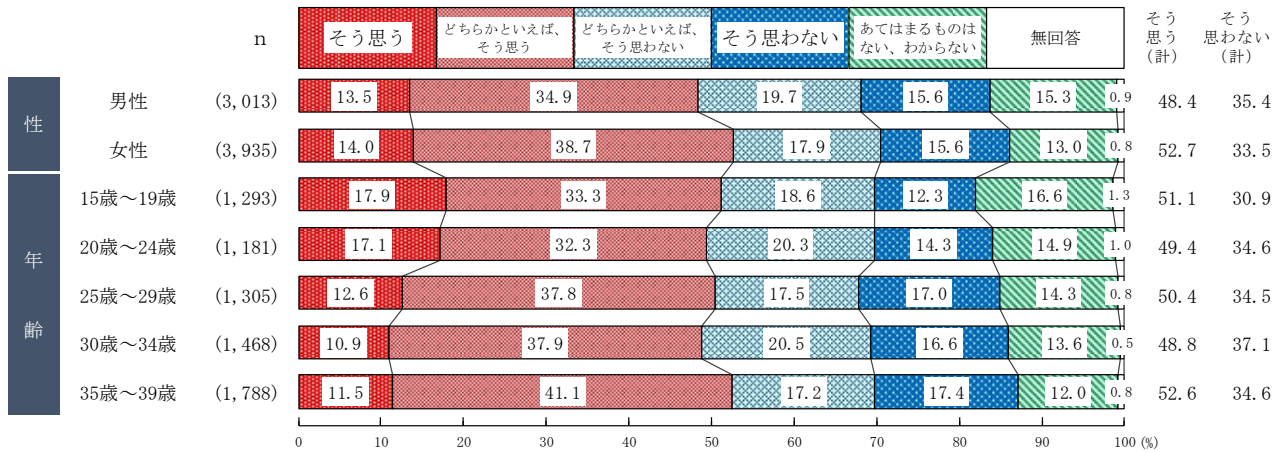


<sup>10</sup> F8「あなたの現在の仕事をお答えください。」で「学生・生徒（予備校生などを含む）」を選択した者は、15歳～19歳で90.8%である。

居場所としての“地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）”について、性別にみると（図表 2-2-1-3-6）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、女性（52.7%）が男性（48.4%）を約4ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-1-3-6）、『そう思う』という回答者は、いずれの年齢層でも概ね5割前後である。一方、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」という回答者は、いずれの年齢層でも3割台で、30歳～34歳（37.1%）で4割に近づいている。

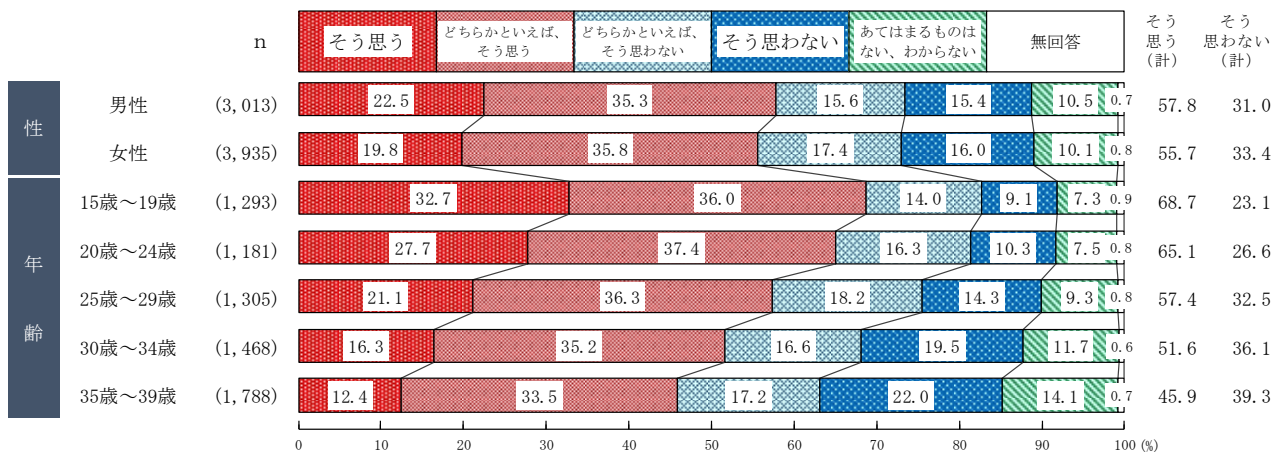
図表2-2-1-3-6 居場所:地域(性別、年齢別)



居場所としての“インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）”について、性別にみると（図表 2-2-1-3-7）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男性 57.8%、女性 55.7%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-1-3-7）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が68.7%、35歳～39歳が45.9%である。

図表2-2-1-3-7 居場所:インターネット空間(性別、年齢別)



## 2. 人とのつながり

### (1) 孤独感（間接質問）（問4-1）

本調査では、孤独感について把握するため、「直接質問」、「間接質問」の2種類の質問を行っており、本問は後者の「間接質問」である。

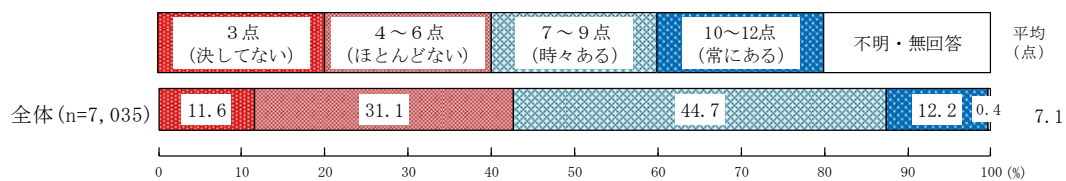
本問は、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）のラッセルが、孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定するために考案した「UCLA孤独感尺度」<sup>11</sup>の日本語版<sup>12</sup>の3項目短縮版<sup>13</sup>に基づくもので、以下の3つの項目への回答をスコア化し、その合計スコアが高いほど孤独感が高いと評価する内容となっている<sup>14</sup>。

問4-1 以下のア)～ウ)の項目について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。  
 （それぞれについて1つ）

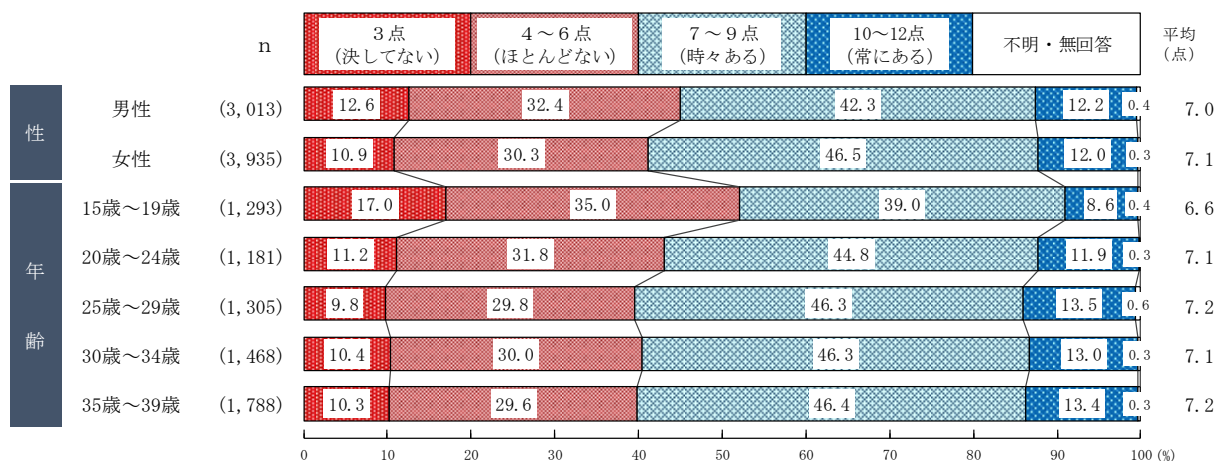
ア) 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある  
 イ) 自分は取り残されていると感じることがある  
 ウ) 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある  
 ※ア)～ウ)の選択肢はいずれも、「決してない」、「ほとんどない」、「時々ある」、「常にある」

本報告書では、内閣官房「人々のつながりに関する基礎調査」を参考に、「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点としてスコア化し、その合計スコアについて便宜的に「3点」（決してない）、「4～6点」（ほとんどない）、「7～9点」（時々ある）、「10～12点」（常にある）の4区分に整理している。

図表2-2-2-1-1 孤独感(間接質問)



図表2-2-2-1-2 孤独感(間接質問)(性別、年齢別)



<sup>11</sup> Russell DW. UCLA loneliness scale (version 3): reliability, validity, and factor structure. J Pers Assess. 1996;66(1):20-40.

<sup>12</sup> 舛田ゆづり, 田高悦子, 他.: 高齢者における日本語版 UCLA 孤独感尺度 (第3版) の開発とその信頼性・妥当性の検討, 日本地域看護学会誌. 15(1) : 25-32, 2012.

<sup>13</sup> Arimoto A & Tadaka E: Reliability and validity of Japanese versions of the UCLA loneliness scale version 3 for use among mothers with infants and toddlers. BMC Women's Health. 2019;19:105.

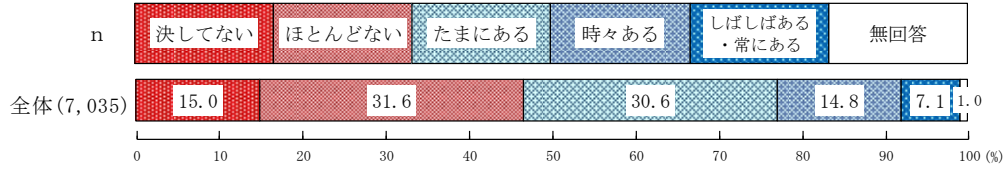
<sup>14</sup> 質問に「孤独」という言葉を使用していないことから「間接質問」と呼称している。

(2) 孤独感（直接質問）（問4-2）

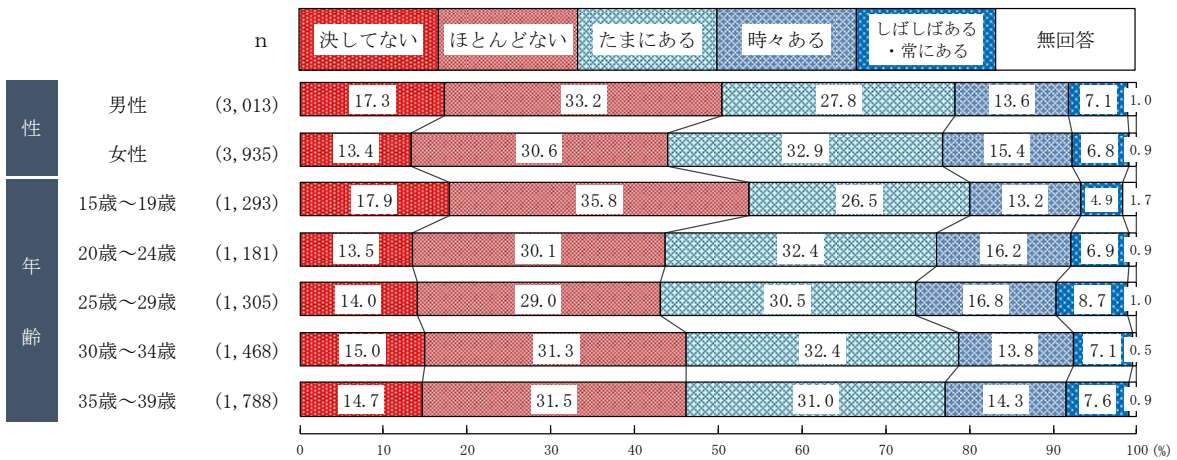
問4-2 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（1つだけ）

本問は、孤独感について把握するための「直接質問」である。

図表2-2-2-2-1 孤独感(直接質問)



図表2-2-2-2-2 孤独感(直接質問)(性別、年齢別)

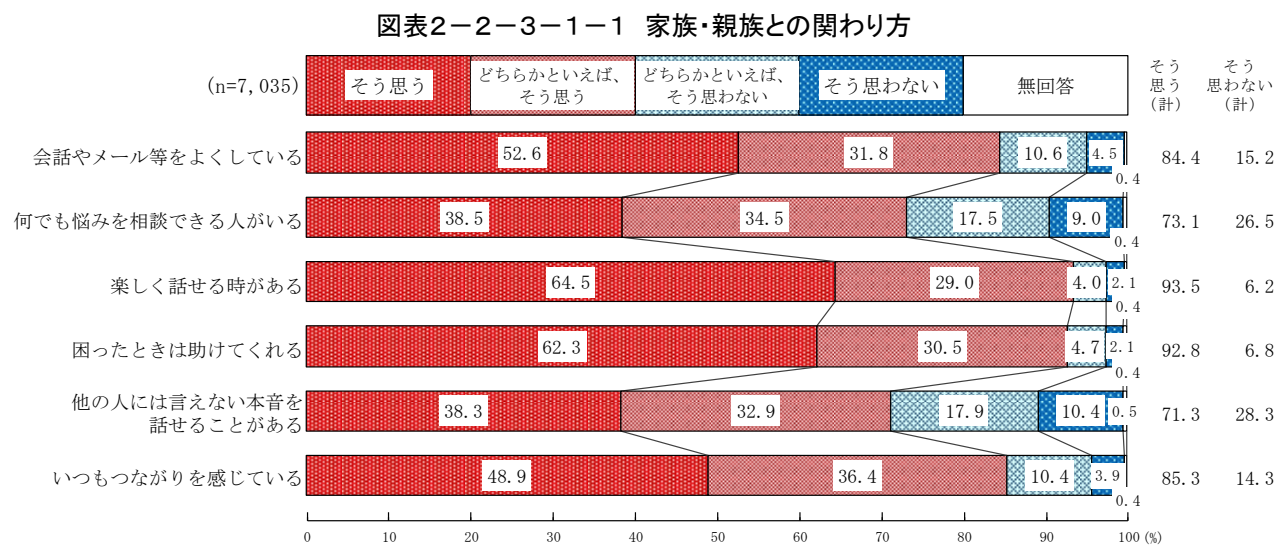




### 3. 他者との関わり方

#### (1) 家族・親族との関わり方 (問5)

問5 家族・親族とあなたのかかわりは、どのようなものですか。(それぞれについて1つ)



回答者の他者との関わり方に関して、家族・親族との関わり方について、“会話やメール等をよくしている”、“何でも悩みを相談できる人がいる”、“楽しく話せる時がある”、“困ったときは助けてくれる”、“他の人には言えない本音を話せることがある”、“いつもつながりを感じている”の6項目を聞いた(図表2-2-3-1-1)。

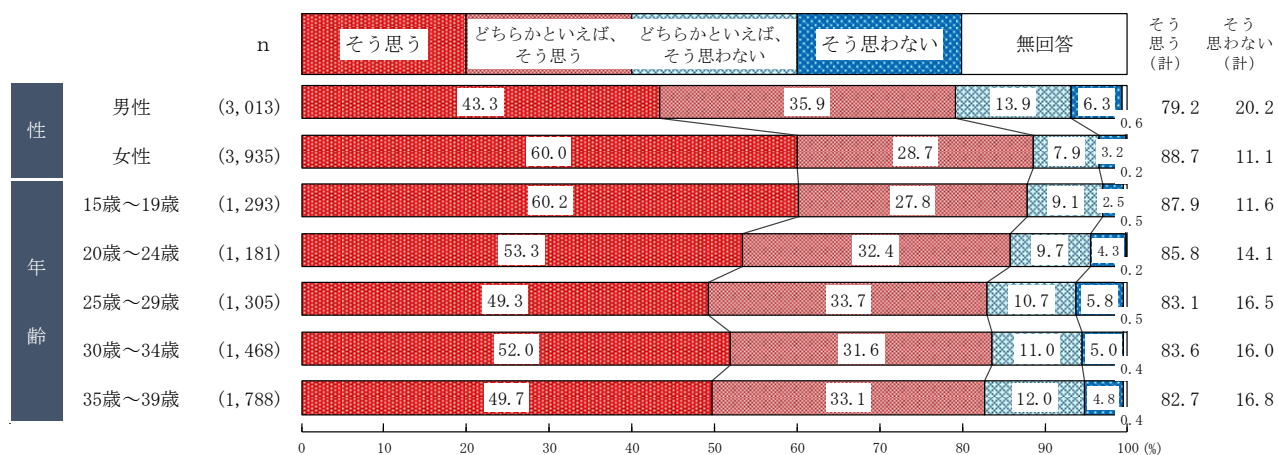
6項目のうち、「そう思う」という回答者の割合が高いのは、“楽しく話せる時がある”(64.5%)と“困ったときは助けてくれる”(62.3%)で、「どちらかといえば、そう思う」(“楽しく話せる”29.0%、“助けてくれる”30.5%)を合わせると、ともに9割以上が『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」)と回答している。

その他の4項目で『そう思う』という回答者の割合が高いのは、“いつもつながりを感じている”(85.3%)、“会話やメール等をよくしている”(84.4%)、“何でも悩みを相談できる人がいる”(73.1%)、“他の人には言えない本音を話せることがある”(71.3%)の順となっている。

家族・親族との関わり方における“会話やメール等をよくしている”について、性別にみると（図表2-2-3-1-2）、『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（88.7%）では9割近くを占め、男性（79.2%）を約10ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表2-2-3-1-2）、『そう思う』という回答者は、いずれの年齢層でも8割以上を占める。また、「そう思う」という回答者は、15歳～19歳（60.2%）が6割台であるが、その他の年齢層では概ね5割前後（20歳～24歳53.3%、25歳～29歳49.3%、30歳～34歳52.0%、35歳～39歳49.7%）である。

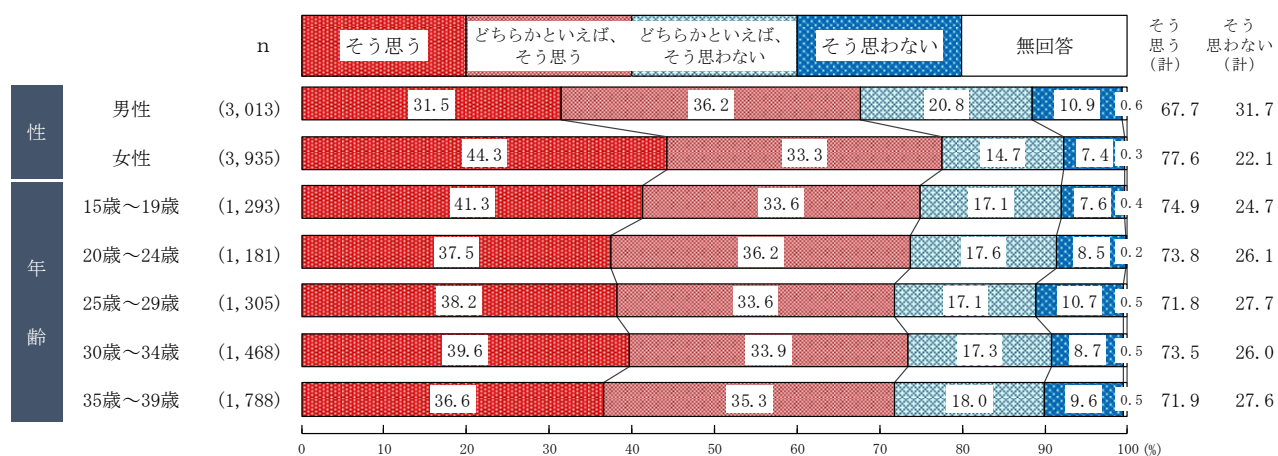
図表2-2-3-1-2 家族・親族との関わり方:会話やメール等をよくしている(性別、年齢別)



家族・親族との関わり方における“何でも悩みを相談できる人がいる”について、性別にみると（図表2-2-3-1-3）、『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（女性77.6%）が男性（67.7%）を、約10ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表2-2-3-1-3）、『そう思う』という回答者は、いずれの年齢層でも7割台であり、大きな差はみられない。

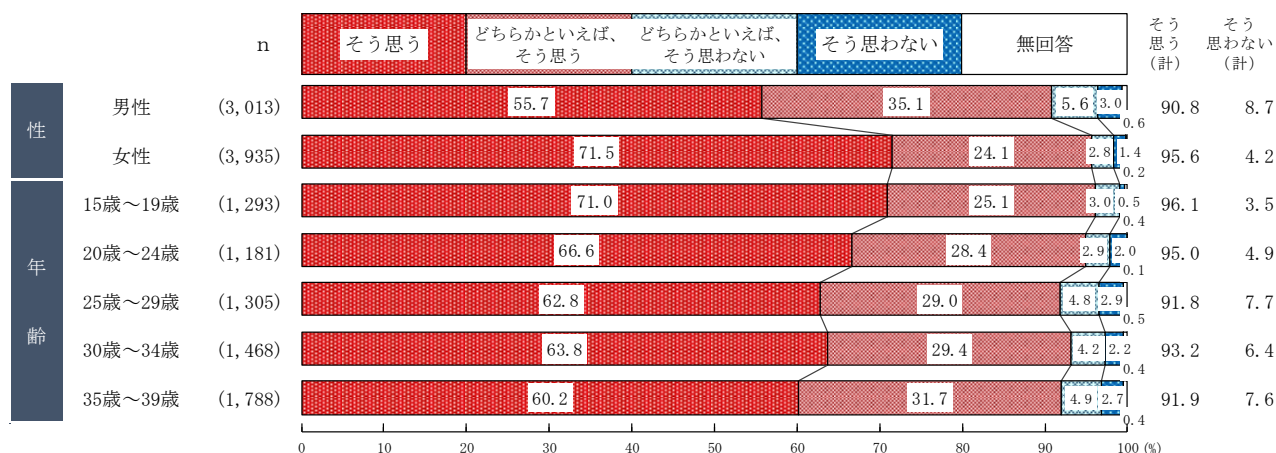
図表2-2-3-1-3 家族・親族との関わり方:何でも悩みを相談できる人がいる(性別、年齢別)



家族・親族との関わり方における“楽しく話せる時がある”について、性別にみると（図表 2-2-3-1-4）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、男女とも9割台（男性90.8%、女性95.6%）であるが、「そう思う」という回答者は、女性（71.5%）が男性（55.7%）を約16ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-1-4）、『そう思う』という回答者は、いずれの年齢層でも9割台である。また、「そう思う」という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が71.0%、35歳～39歳が60.2%である。

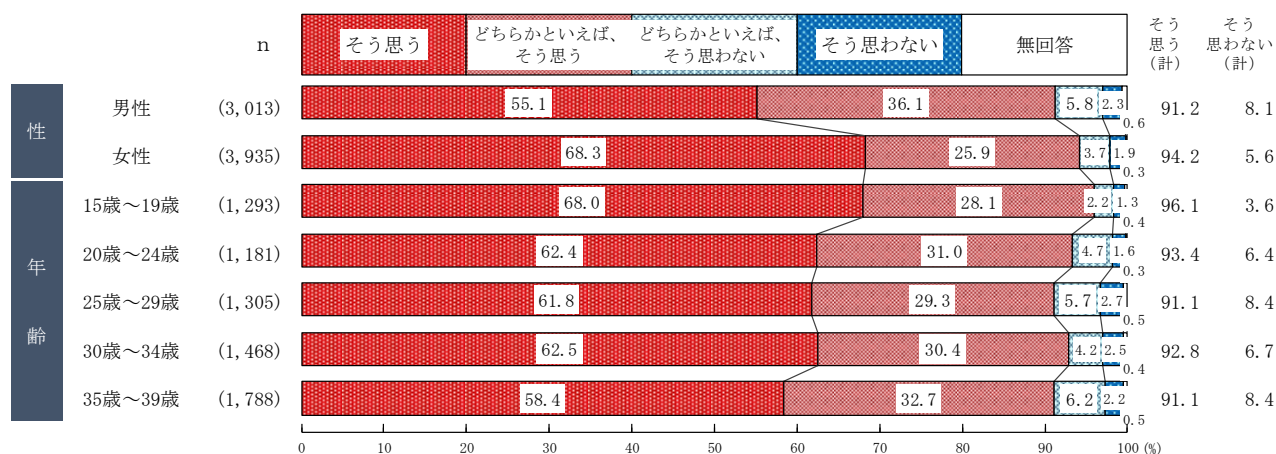
図表2-2-3-1-4 家族・親族との関わり方:楽しく話せる時がある(性別、年齢別)



家族・親族との関わり方における“困ったときは助けてくれる”について、性別にみると（図表 2-2-3-1-5）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、男性91.2%、女性94.2%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-1-5）、『そう思う』という回答者は、いずれの年齢層でも9割台であり、なかでも15歳～19歳は96.1%である。

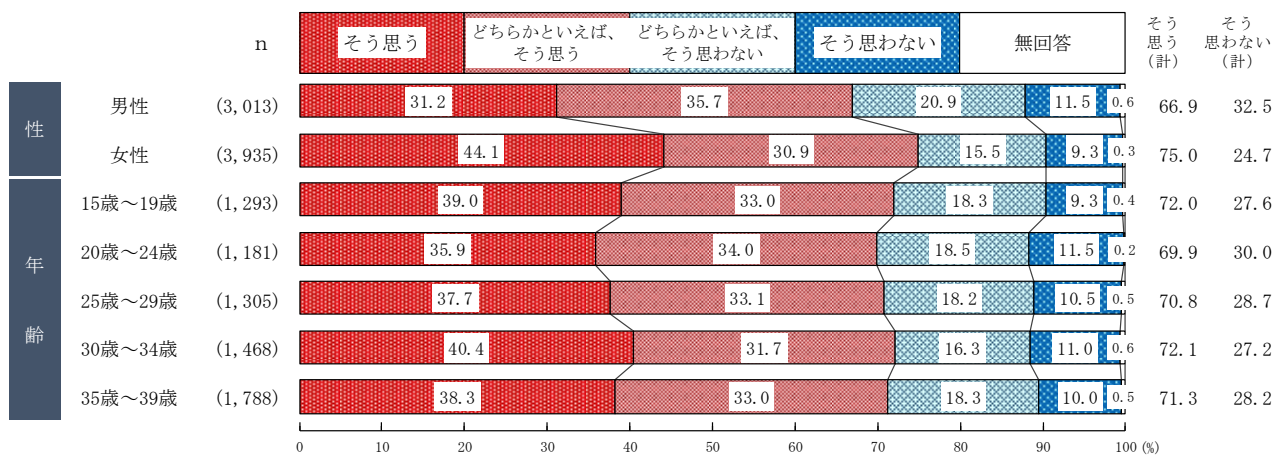
図表2-2-3-1-5 家族・親族との関わり方:困ったときは助けてくれる(性別、年齢別)



家族・親族との関わり方における“他の人には言えない本音を話せることがある”について、性別にみると（図表 2-2-3-1-6）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（75.0%）が男性（66.9%）を約8ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-1-6）、『そう思う』という回答者の割合は、いずれの年齢層でも7割前後である。

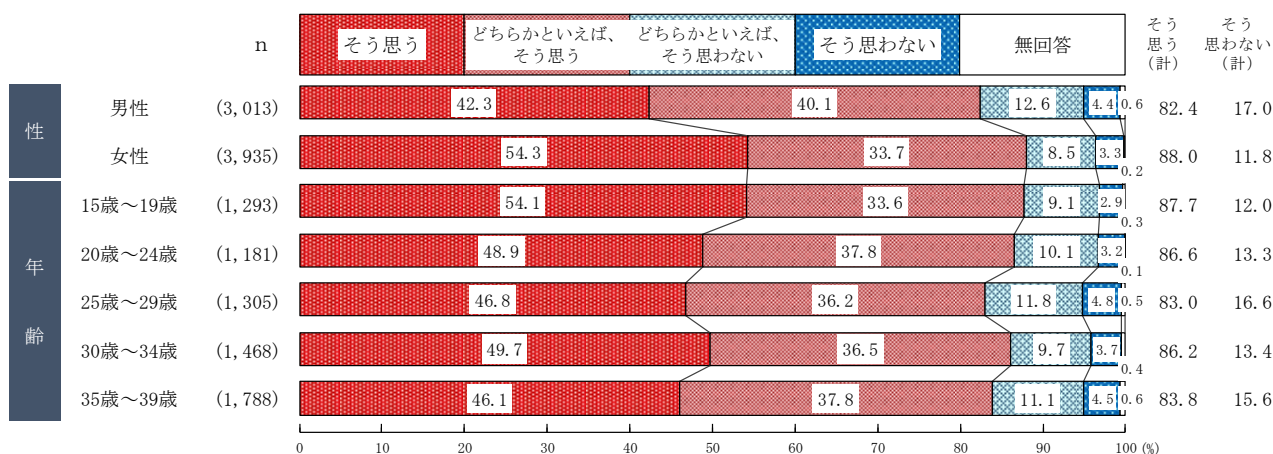
図表2-2-3-1-6 家族・親族との関わり方:他の人には言えない本音を話せることがある(性別、年齢別)



家族・親族との関わり方における“いつもつながりを感じている”について、性別にみると（図表 2-2-3-1-7）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、男女とも8割台（男性82.4%、女性88.0%）で、女性が男性を約6ポイント上回っている。また、「そう思う」という回答者は、女性（54.3%）が男性（42.3%）を約12ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-1-7）、『そう思う』という回答者は、いずれの年齢層でも8割台である。

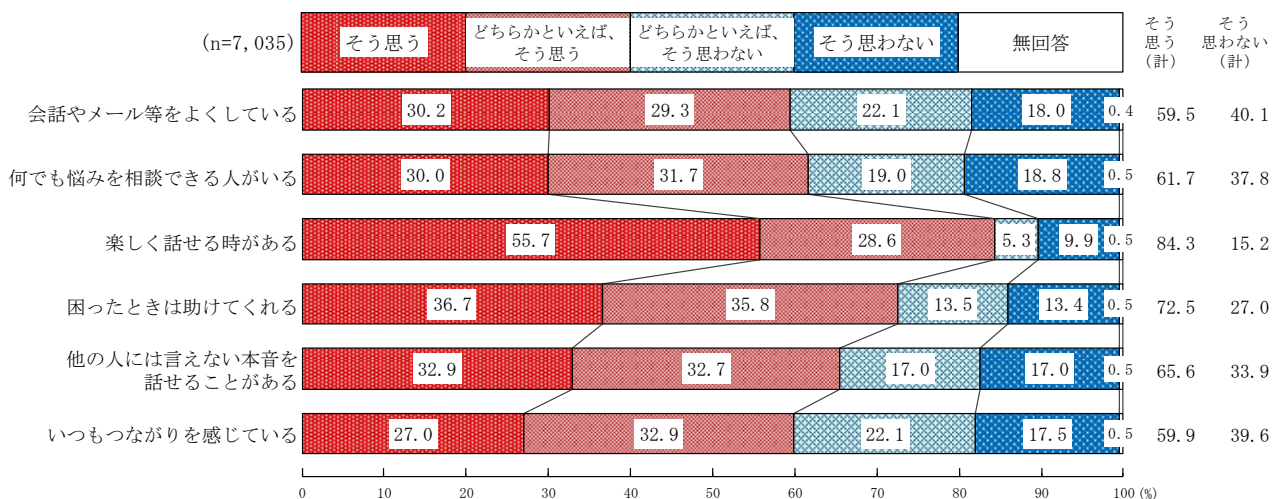
図表2-2-3-1-7 家族・親族との関わり方:いつもつながりを感じている(性別、年齢別)



(2) 学校で出会った友人との関わり方 (問6)

問6 学校で出会った友人(現在通っている学校の友人、かつての同窓生など)と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。(それぞれについて1つ)

図表2-2-3-2-1 学校で出会った友人との関わり方



回答者の他者との関わり方に関して、学校で出会った友人(現在通っている学校の友人、かつての同窓生など)との関わり方について、“会話やメール等をよくしている”、“何でも悩みを相談できる人がある”、“楽しく話せる時がある”、“困ったときは助けてくれる”、“他の人には言えない本音話せることがある”、“いつもつながりを感じている”の6項目を聞いた(図表2-2-3-2-1)。

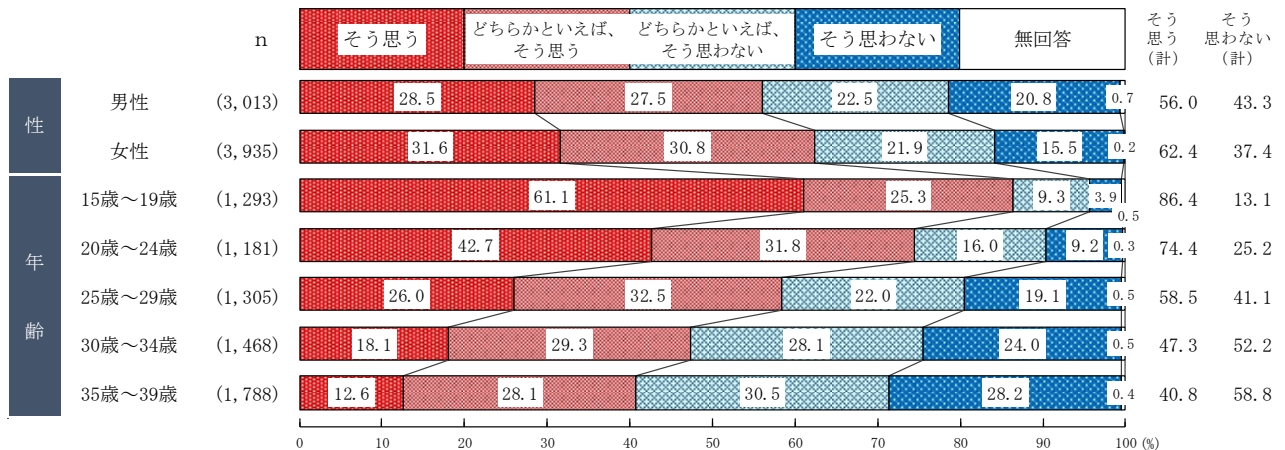
6項目のうち、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」)という回答者の割合は、“楽しく話せる時がある”が84.3%と最も高く、次いで、“困ったときは助けてくれる”が72.5%である。

その他の4項目で『そう思う』という回答者の割合が高いのは、“他の人には言えない本音話せることがある”(65.6%)、“何でも悩みを相談できる人がある”(61.7%)、“いつもつながりを感じている”(59.9%)、“会話やメール等をよくしている”(59.5%)の順となっている。

学校で出会った友人との関わり方における“会話やメール等をよくしている”について、性別にみると（図表 2-2-3-2-2）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（62.4%）が男性（56.0%）を約6ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-2-2）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が86.4%、35歳～39歳が40.8%である。一方、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、15歳～19歳（13.1%）が1割台であるのに対し、35歳～39歳（58.8%）が6割近くとなっている。

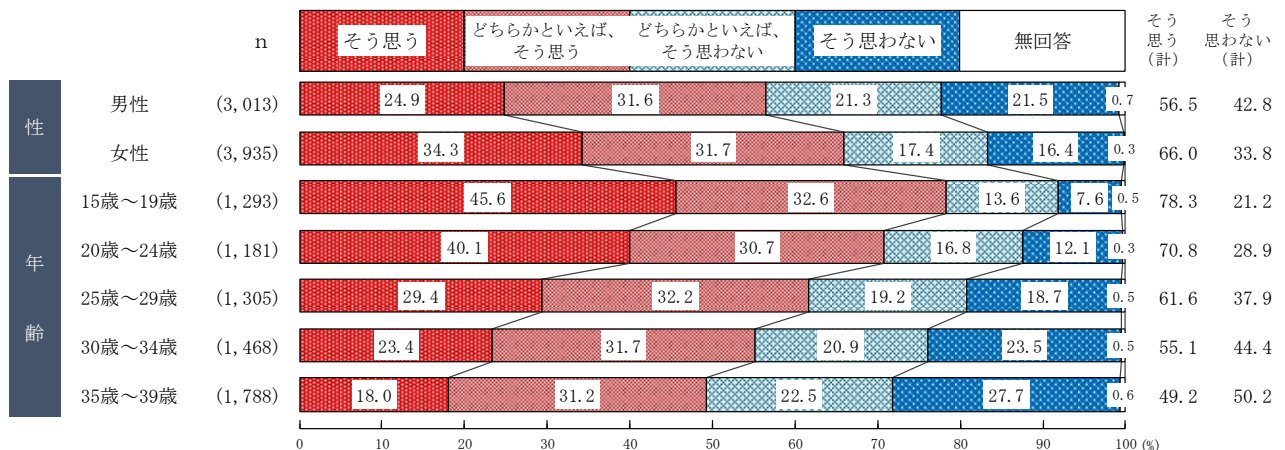
図表2-2-3-2-2 学校で出会った友人との関わり方:会話やメール等をよくしている(性別、年齢別)



学校で出会った友人との関わり方における“何でも悩みを相談できる人がいる”について、性別にみると（図表 2-2-3-2-3）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（66.0%）が男性（56.5%）を約10ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-2-3）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が78.3%、35歳～39歳が49.2%である。一方、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、15歳～19歳（21.2%）が約2割であるのに対し、35歳～39歳（50.2%）では半数を占める。

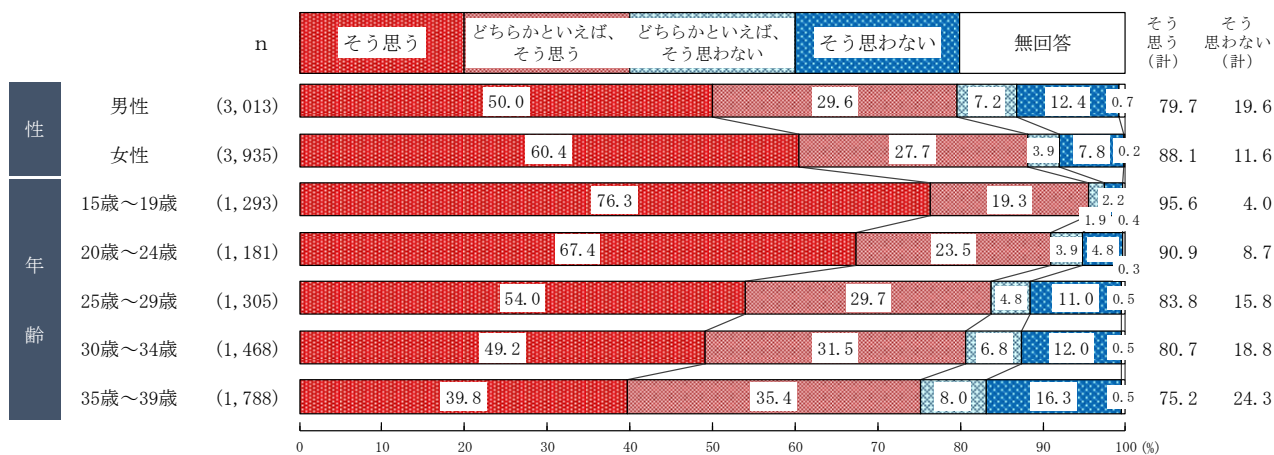
図表2-2-3-2-3 学校で出会った友人との関わり方:何でも悩みを相談できる人がいる(性別、年齢別)



学校で出会った友人との関わり方における“楽しく話せる時がある”について、性別にみると（図表 2-2-3-2-4）、『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（88.1%）が男性（79.7%）を約8ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-2-4）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が95.6%、35歳～39歳が75.2%である。

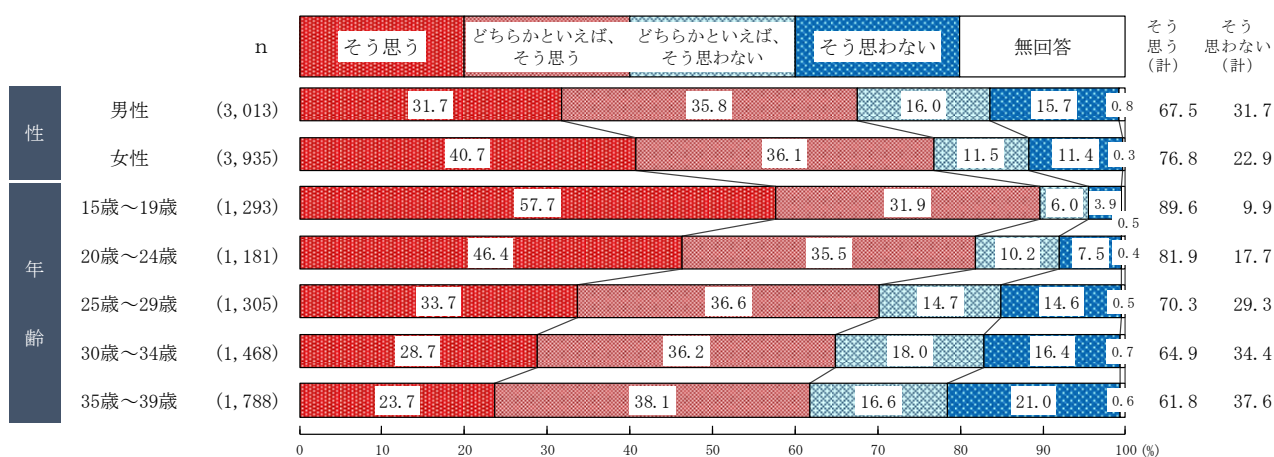
図表2-2-3-2-4 学校で出会った友人との関わり方:楽しく話せる時がある(性別、年齢別)



学校で出会った友人との関わり方における“困ったときは助けてくれる”について、性別にみると（図表 2-2-3-2-5）、『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（76.8%）が男性（67.5%）を約9ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-2-5）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が89.6%、35歳～39歳が61.8%である。

図表2-2-3-2-5 学校で出会った友人との関わり方:困ったときは助けてくれる(性別、年齢別)

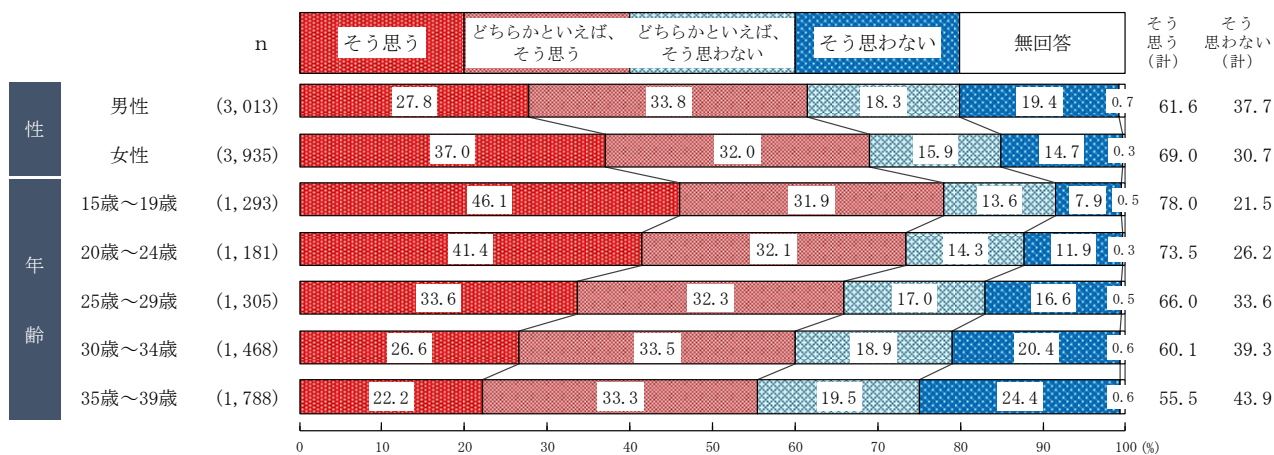


学校で出会った友人との関わり方における“他の人には言えない本音を話せることがある”について、性別にみると（図表 2-2-3-2-6）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（69.0%）が男性（61.6%）を約7ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-2-6）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が78.0%、35歳～39歳が55.5%である。

図表2-2-3-2-6 学校で出会った友人との関わり方:他の人には言えない本音を話せることがある

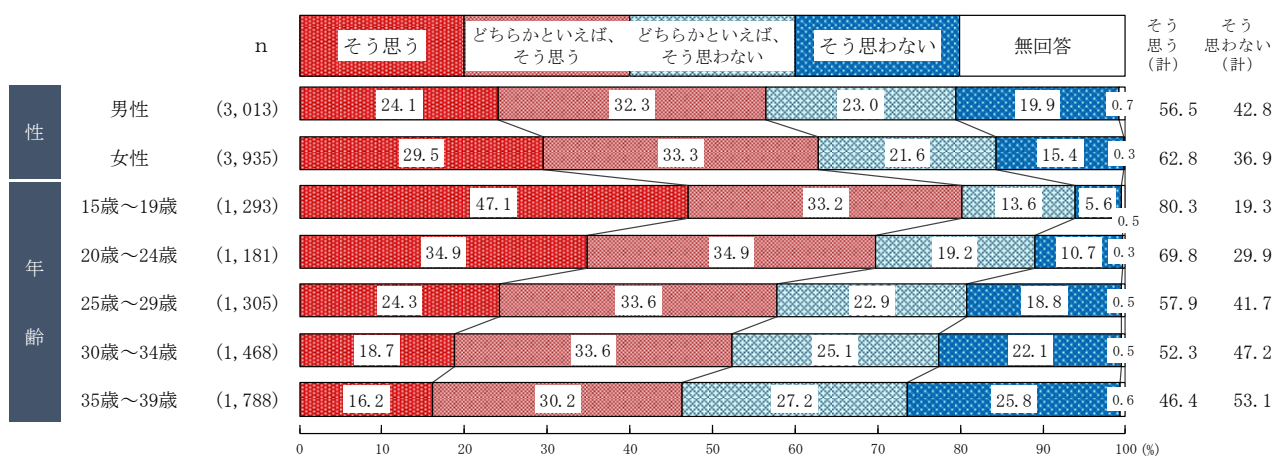
(性別、年齢別)



学校で出会った友人との関わり方における“いつもつながりを感じている”について、性別にみると（図表 2-2-3-2-7）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（62.8%）が男性（56.5%）を約6ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-2-7）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が80.3%、35歳～39歳が46.4%である。一方、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、35歳～39歳（53.1%）では、『そう思う』という回答者の割合（46.4%）を上回っている。

図表2-2-3-2-7 学校で出会った友人との関わり方:いつもつながりを感じている(性別、年齢別)

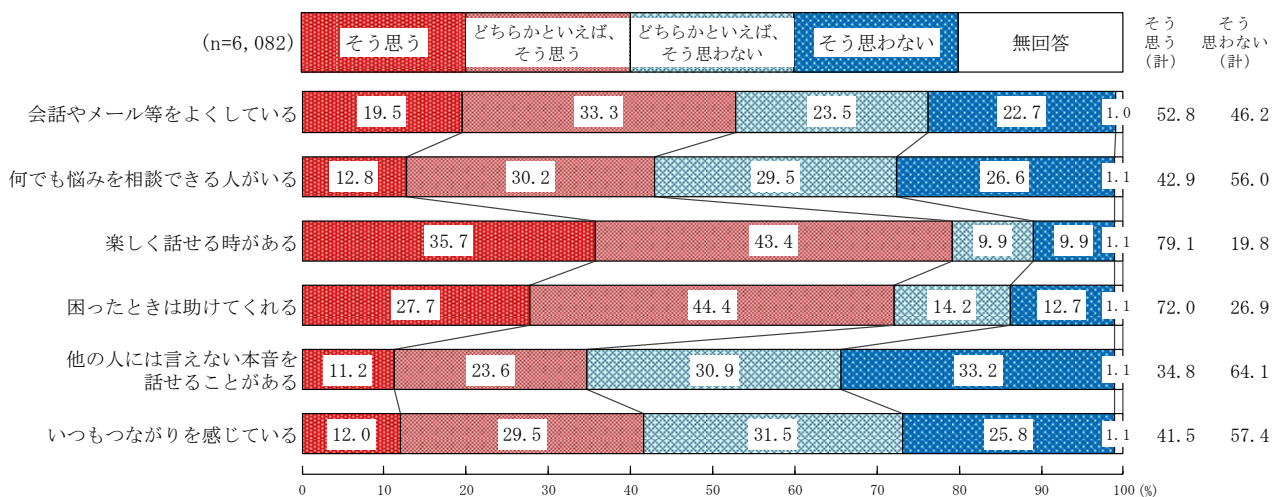




(3) 職場・アルバイト関係の人との関わり方 (問7)

問7 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在のかかわりは、どのようなものですか。（それぞれについて1つ）

図表2-2-3-3-1 職場・アルバイト関係の人との関わり方



現在就業しているか、現在は就業していなくても過去に就業経験がある回答者（6,082人）に対し、職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）との関わり方について、“会話やメール等をよくしている”、“何でも悩みを相談できる人がいる”、“楽しく話せる時がある”、“困ったときは助けてくれる”、“他の人には言えない本音を話せることがある”、“いつもつながりを感じている”の6項目を聞いた（図表2-2-3-3-1）。

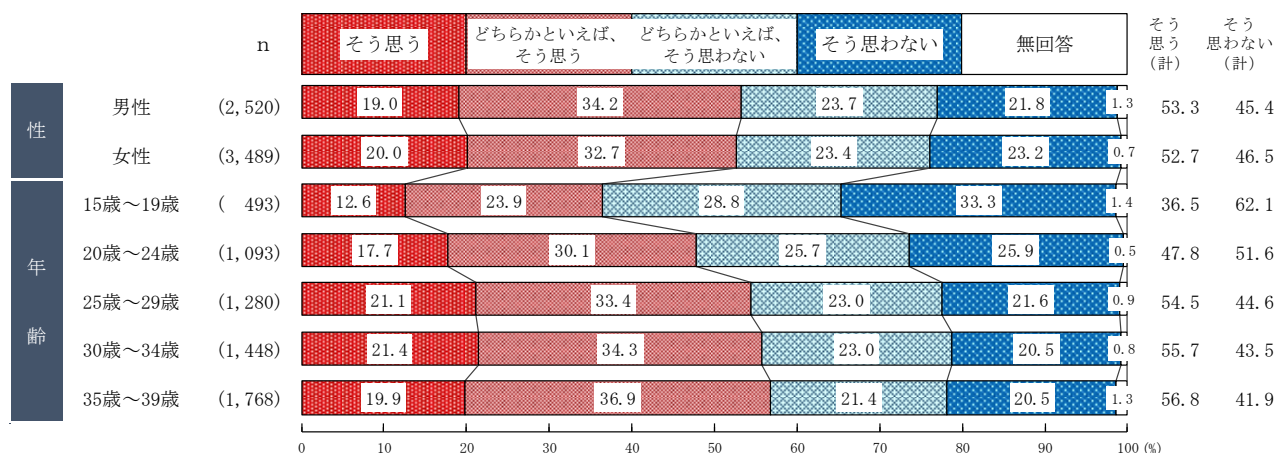
『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、“楽しく話せる時がある”が79.1%と最も高く、次いで“困ったときは助けてくれる”が72.0%である。

一方、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者の割合が高いのは、“他の人には言えない本音を話せることがある”（64.1%）、“いつもつながりを感じている”（57.4%）、“何でも悩みを相談できる人がいる”（56.0%）であり、いずれも『そう思う』という回答者の割合（“本音を話せる”34.8%、“つながりを感じている”41.5%、“何でも相談できる”42.9%）を上回っている。

職場・アルバイト関係の人との関わり方における“会話やメール等をよくしている”について、性別にみると（図表 2-2-3-3-2）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、男性 53.3%、女性 52.7%で、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-3-2）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が高い層ほど高い傾向がみられ、15歳～19歳が 36.5%、35歳～39歳が 56.8%である。一方、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、学生が9割を占める 15歳～19歳では 62.1%である。

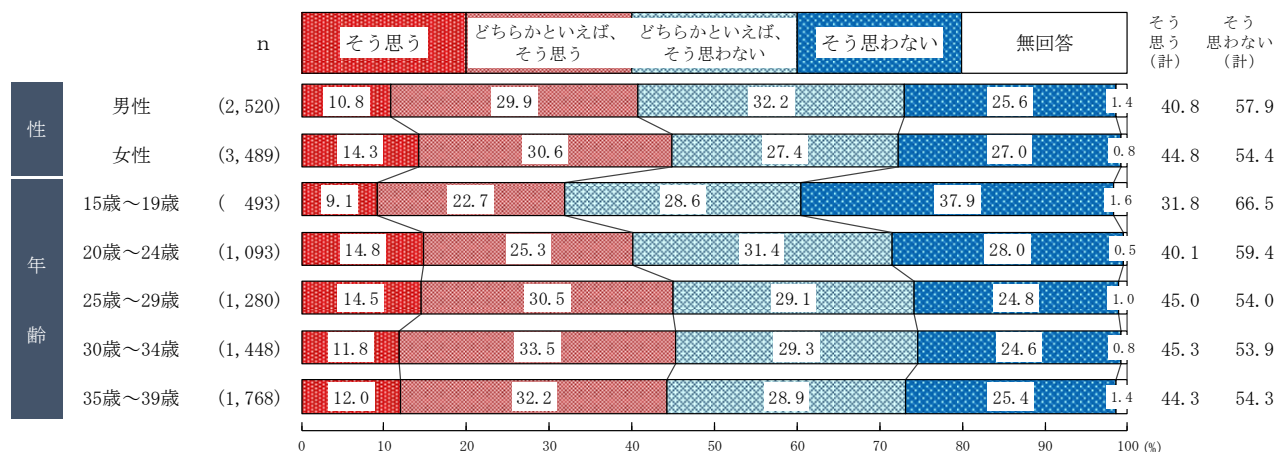
図表 2-2-3-3-2 職場・アルバイト関係の人との関わり方:会話やメール等をよくしている(性別、年齢別)



職場・アルバイト関係の人との関わり方における“何でも悩みを相談できる人がいる”について、性別にみると（図表 2-2-3-3-3）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、男性 40.8%、女性 44.8%である。

年齢別にみると（図表 2-2-3-3-3）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が高い層ほど高い傾向がみられ、15歳～19歳が 31.8%、35歳～39歳が 44.3%である。一方、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、学生が9割を占める 15歳～19歳では 66.5%である。

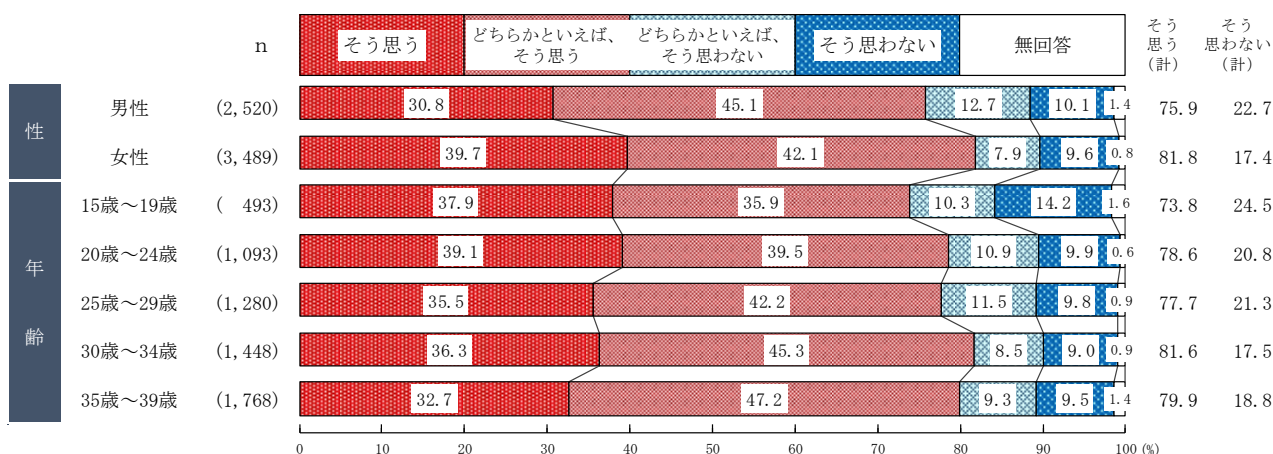
図表 2-2-3-3-3 職場・アルバイト関係の人との関わり方:何でも悩みを相談できる人がいる(性別、年齢別)



職場・アルバイト関係の人との関わり方における“楽しく話せる時がある”について、性別にみると（図表 2-2-3-3-4）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（81.8%）が男性（75.9%）を、約6ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-3-4）、『そう思う』という回答者は、いずれの年齢層でも7割を上回り、20歳以上では8割前後（20歳～24歳 78.6%、25歳～29歳 77.7%、30歳～34歳 81.6%、35歳～39歳 79.9%）である。

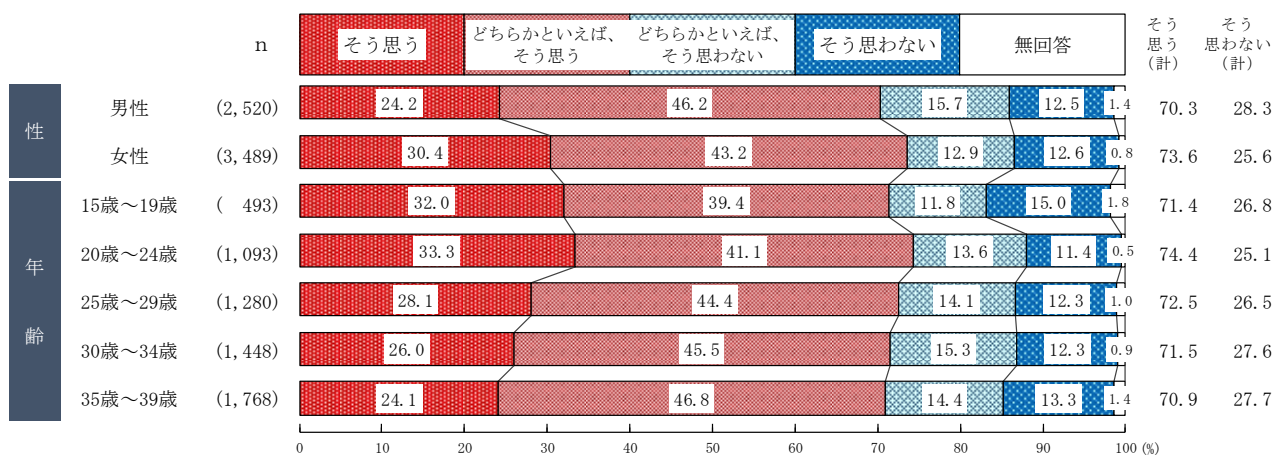
図表2-2-3-3-4 職場・アルバイト関係の人との関わり方: 楽しく話せる時がある(性別、年齢別)



職場・アルバイト関係の人との関わり方における“困ったときは助けてくれる”について、性別にみると（図表 2-2-3-3-5）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、男性 70.3%、女性 73.6%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-3-5）、『そう思う』という回答者は、いずれの年齢層でも7割台である。

図表2-2-3-3-5 職場・アルバイト関係の人との関わり方: 困ったときは助けてくれる(性別、年齢別)

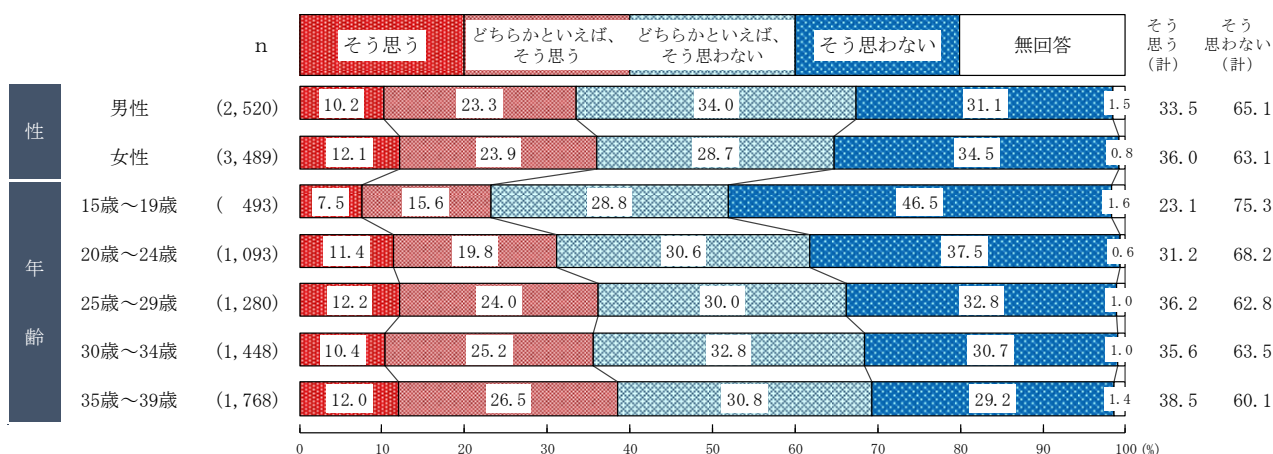


職場・アルバイト関係の人との関わり方における“他の人には言えない本音を話せることがある”について、性別にみると（図表 2-2-3-3-6）、『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、男女とも3割台（男性 33.5%、女性 36.0%）であり、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-3-6）、『そう思わない』（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、いずれの年齢層でも6割を上回っており、学生が9割を占める15歳～19歳では75.3%である。

図表2-2-3-3-6 職場・アルバイト関係の人との関わり方:他の人には言えない本音を話せることがある

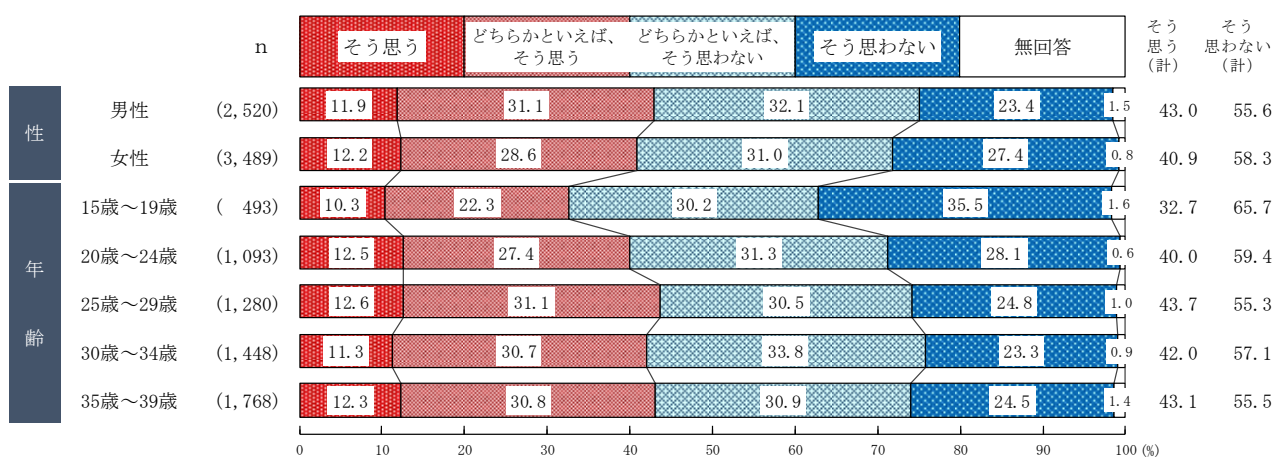
(性別、年齢別)



職場・アルバイト関係の人との関わり方における“いつもつながりを感じている”について、性別にみると（図表 2-2-3-3-7）、『そう思わない』（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、男女とも半数を上回っている（男性 55.6%、女性 58.3%）。

年齢別にみると（図表 2-2-3-3-7）、『そう思わない』という回答者は、いずれの年齢層でも半数を上回っており、学生が9割を占める15歳～19歳では65.7%である。

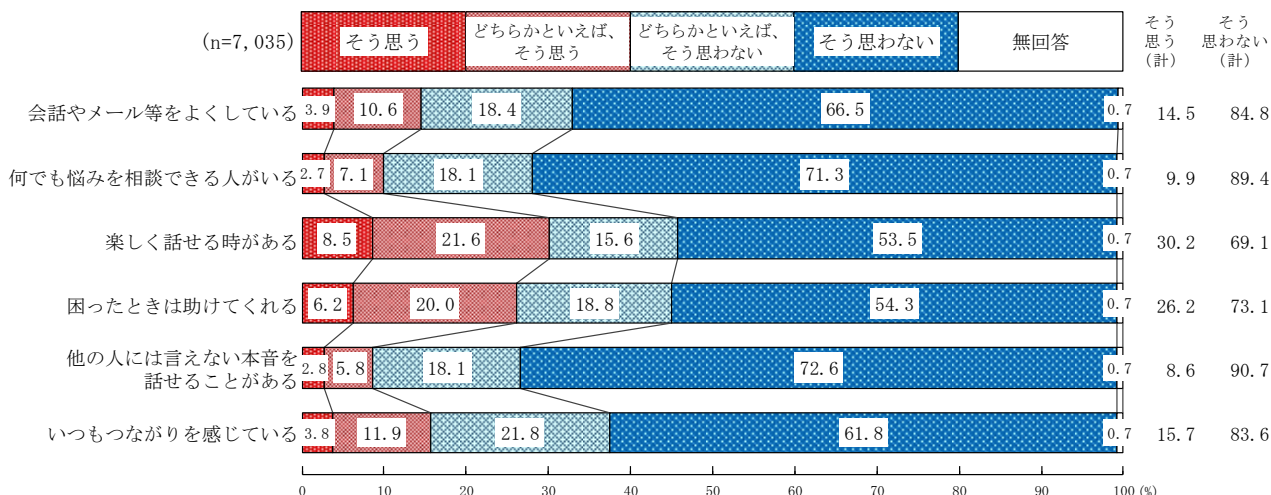
図表2-2-3-3-7 職場・アルバイト関係の人との関わり方:いつもつながりを感じている(性別、年齢別)



(4) 地域の人との関わり方 (問8)

問8 地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。  
 （それぞれについて1つ）

図表2-2-3-4-1 地域の人との関わり方



回答者の他者との関わり方に関して、地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）との関わり方について、“会話やメール等をよくしている”、“何でも悩みを相談できる人がいる”、“楽しく話せる時がある”、“困ったときは助けてくれる”、“他の人には言えない本音を話せることがある”、“いつもつながりを感じている”の6項目を聞いた（図表2-2-3-4-1）。

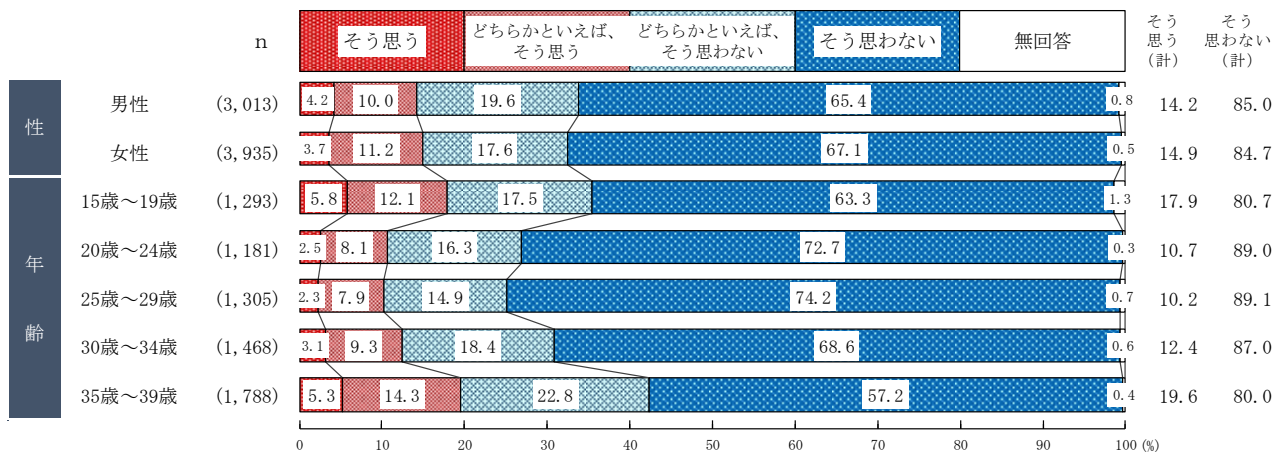
6項目のいずれについても、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者が、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者を上回っている。なかでも、“他の人には言えない本音を話せることがある”（90.7%）と“何でも悩みを相談できる人がいる”（89.4%）は、『そう思わない』という回答者が約9割を占める。

一方、『そう思う』という回答者の割合は、“楽しく話せる時がある”（30.2%）と“困ったときは助けてくれる”（26.2%）が3割程度であり、その他の項目は1割程度（“会話やメール等”14.5%、“何でも相談できる”9.9%、“本音を話せる”8.6%、“つながりを感じている”15.7%）である。

地域の人の関わり方における“会話やメール等をよくしている”について、性別にみると（図表 2-2-3-4-2）、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、男性 85.0%、女性 84.7%で、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-4-2）、『そう思わない』という回答者は、いずれの年齢層でも 8 割台であり、なかでも 20 歳から 34 歳までの年齢層で 9 割に近い（20 歳～24 歳 89.0%、25 歳～29 歳 89.1%、30 歳～34 歳 87.0%）。

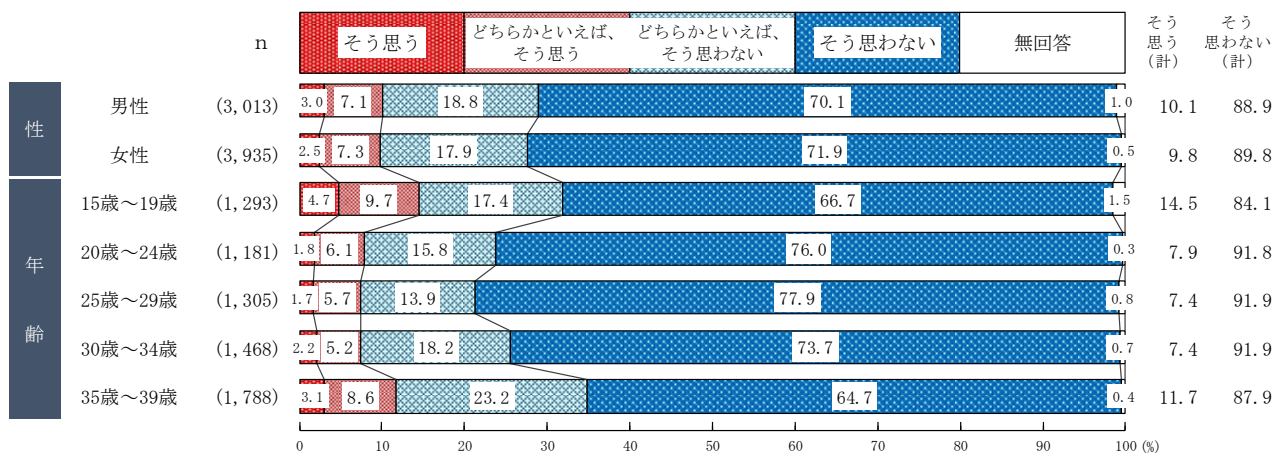
図表 2-2-3-4-2 地域の人の関わり方:会話やメール等をよくしている(性別、年齢別)



地域の人の関わり方における“何でも悩みを相談できる人がいる”について、性別にみると（図表 2-2-3-4-3）、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、男女とも約 9 割（男性 88.9%、女性 89.8%）を占め、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-4-3）、『そう思わない』という回答者は、いずれの年齢層でも 8 割以上を占め、なかでも 20 歳から 34 歳までの年齢層では 9 割を上回っている（20 歳～24 歳 91.8%、25 歳～29 歳 91.9%、30 歳～34 歳 91.9%）。

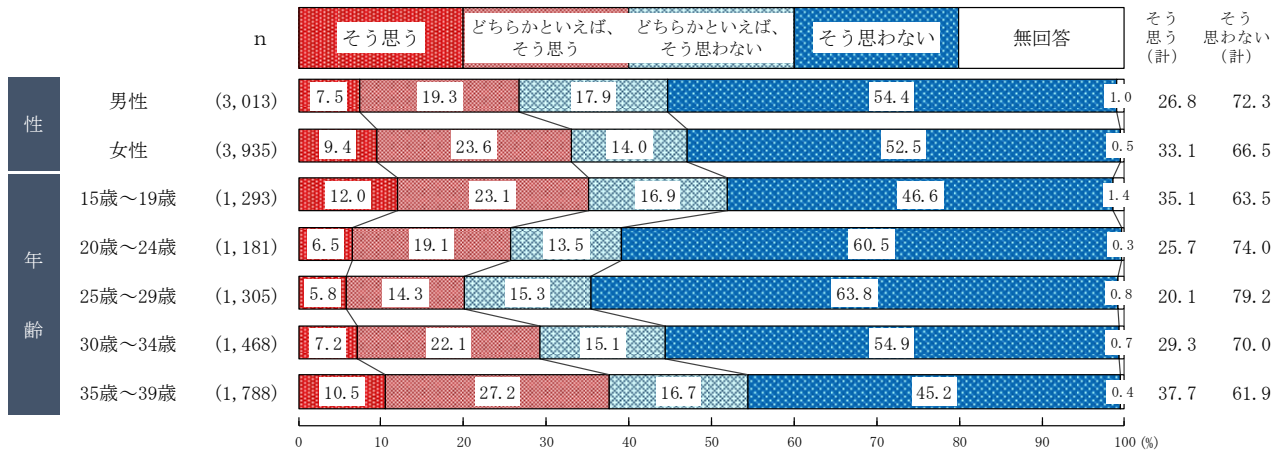
図表 2-2-3-4-3 地域の人の関わり方:何でも悩みを相談できる人がいる(性別、年齢別)



地域の人との関わり方における“楽しく話せる時がある”について、性別にみると（図表 2-2-3-4-4）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（33.1%）が男性（26.8%）を約6ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-4-4）、『そう思う』という回答者の割合は、15歳～19歳（35.1%）と35歳～39歳（37.7%）で3割台であり、その他の年齢層は2割台（20歳～24歳 25.7%、25歳～29歳 20.1%、30歳～34歳 29.3%）である。

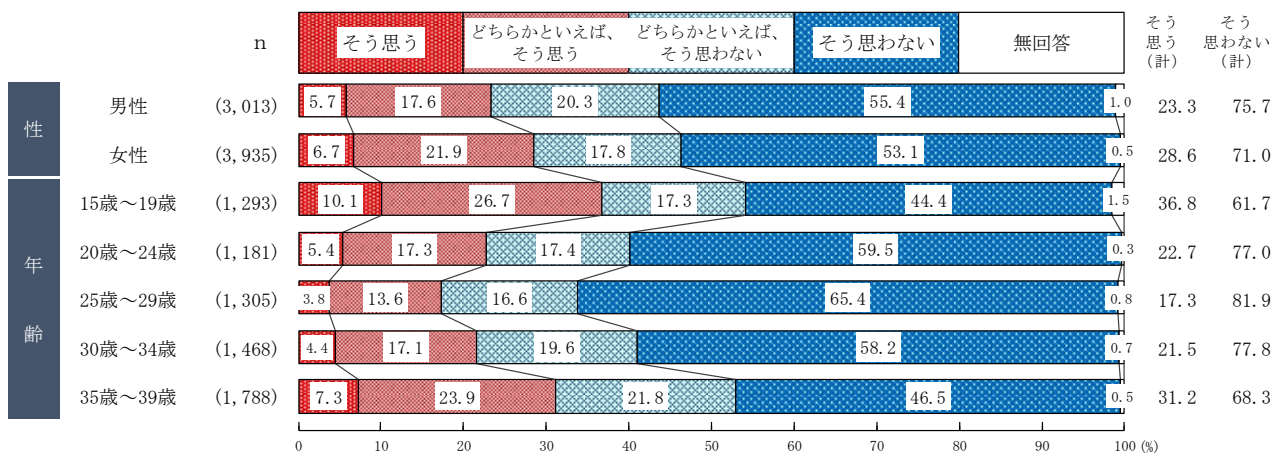
図表2-2-3-4-4 地域の人との関わり方:楽しく話せる時がある(性別、年齢別)



地域の人との関わり方における“困ったときは助けてくれる”について、性別にみると（図表 2-2-3-4-5）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、女性（28.6%）が男性（23.3%）を約5ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-4-5）、『そう思う』という回答者は、15歳～19歳（36.8%）と35歳～39歳（31.2%）で3割台であり、その他の年齢層では概ね2割前後（20歳～24歳 22.7%、25歳～29歳 17.3%、30歳～34歳 21.5%）である。

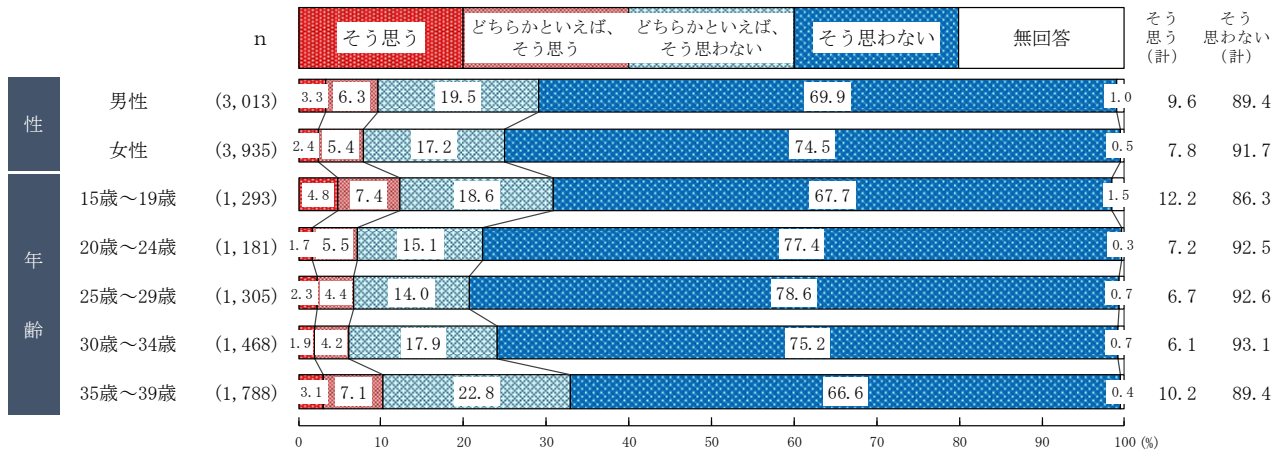
図表2-2-3-4-5 地域の人との関わり方:困ったときは助けてくれる(性別、年齢別)



地域の人との関わり方における“他の人には言えない本音を話せることがある”について、性別にみると（図表 2-2-3-4-6）、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、男性 89.4%、女性 91.7%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-4-6）、『そう思わない』という回答者は、いずれの年齢層でも概ね 9 割前後である。

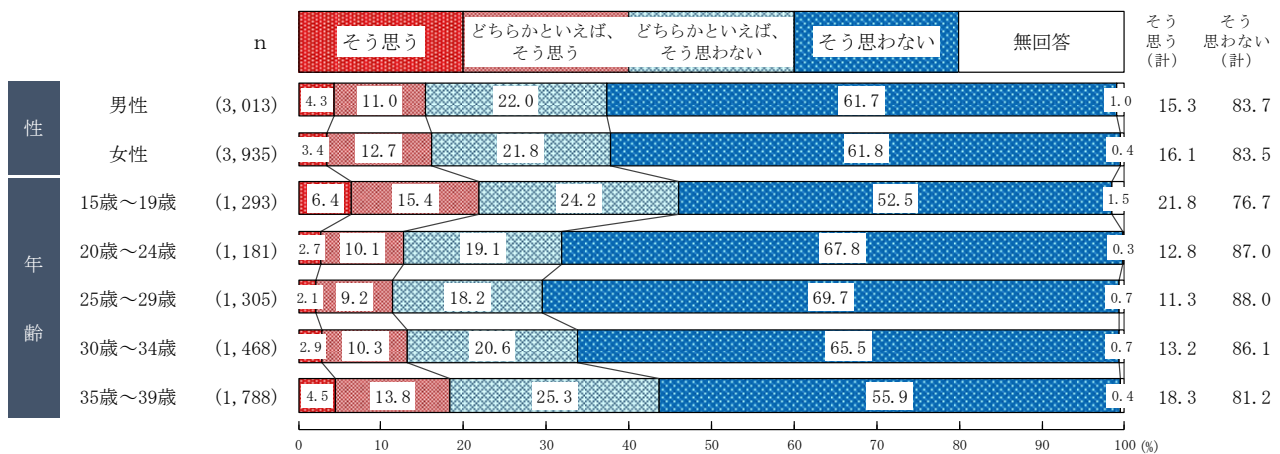
図表 2-2-3-4-6 地域の人との関わり方：他の人には言えない本音を話せることがある（性別、年齢別）



地域の人との関わり方における“いつもつながりを感じている”について、性別にみると（図表 2-2-3-4-7）、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、男性 83.7%、女性 83.5%で、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-4-7）、『そう思わない』という回答者は、いずれの年齢層でも 7 割以上を占め、20 歳から 34 歳までの年齢層では 9 割に近い（20 歳～24 歳 87.0%、25 歳～29 歳 88.0%、30 歳～34 歳 86.1%）。一方、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、15 歳～19 歳（21.8%）が約 2 割であり、その他の年齢層は 1 割台（20 歳～24 歳 12.8%、25 歳～29 歳 11.3%、30 歳～34 歳 13.2%、35 歳～39 歳 18.3%）である。

図表 2-2-3-4-7 地域の人との関わり方：いつもつながりを感じている（性別、年齢別）

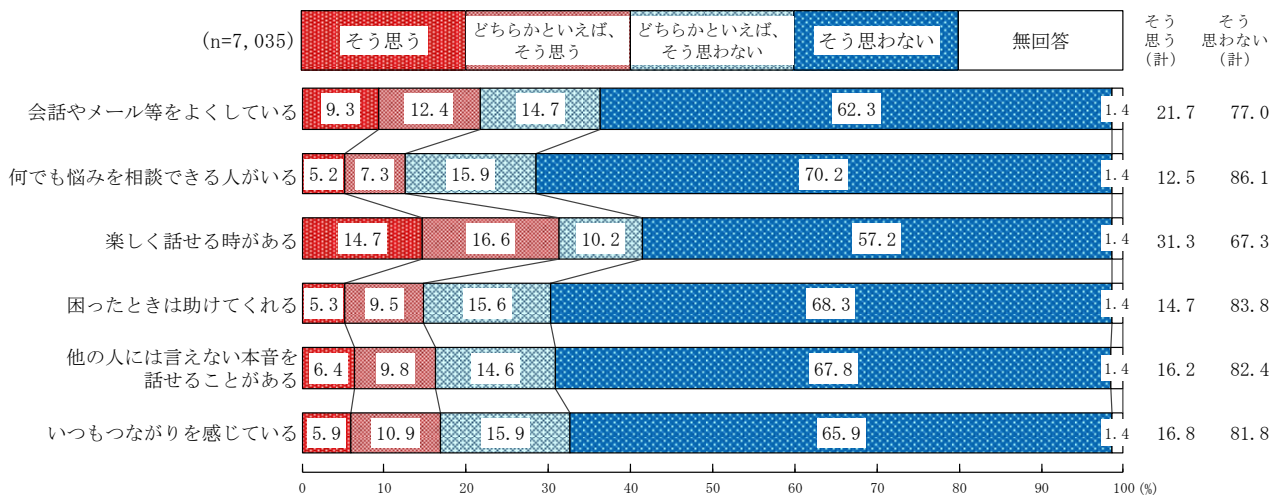




(5) インターネット上での他者との関わり方 (問9)

問9 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。（それぞれについて1つ）

図表2-2-3-5-1 インターネット上での他者との関わり方



回答者の他者との関わり方に関して、インターネット上での他者（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）との関わり方について、“会話やメール等をよくしている”、“何でも悩みを相談できる人がいる”、“楽しく話せる時がある”、“困ったときは助けてくれる”、“他の人には言えない本音を話せることがある”、“いつもつながりを感じている”の6項目を聞いた（図表2-2-3-5-1）。

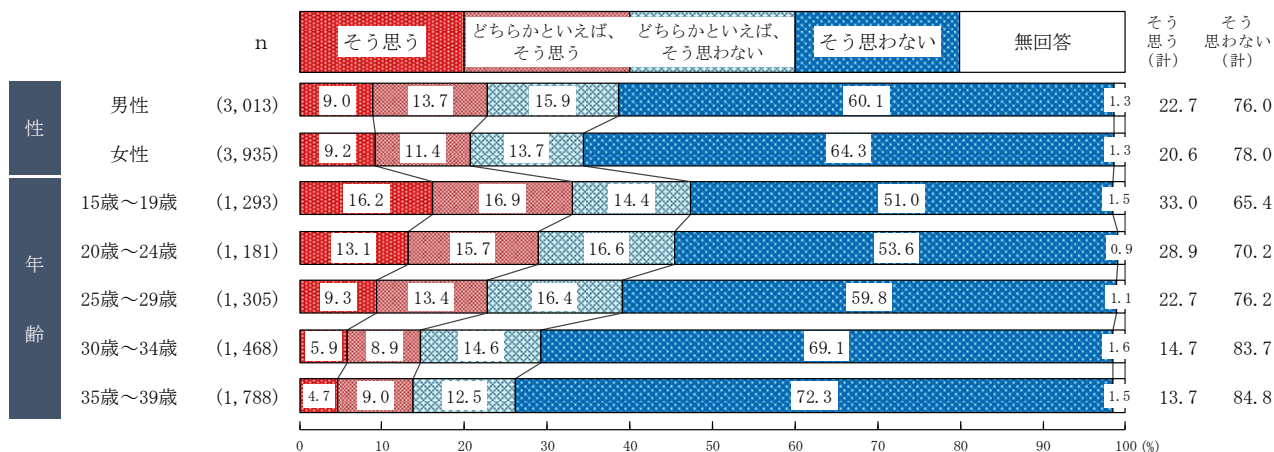
6項目のいずれについても、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者が概ね7割以上を占め、“何でも悩みを相談できる人がいる”（86.1%）、“困ったときは助けてくれる”（83.8%）、“他の人には言えない本音を話せることがある”（82.4%）、“いつもつながりを感じている”（81.8%）は、いずれも8割を上回っている。

一方、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、“楽しく話せる時がある”（31.3%）が最も多く、次いで“会話やメール等をよくしている”（21.7%）であり、その他の項目は1割台（“何でも相談できる”12.5%、“助けてくれる”14.7%、“本音を話せる”16.2%、“つながりを感じている”16.8%）である。

インターネット上での他者との関わり方における“会話やメール等をよくしている”について、性別にみると（図表 2-2-3-5-2）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、男性 22.7%、女性 20.6%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-5-2）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が 33.0%、35歳～39歳が 13.7%である。

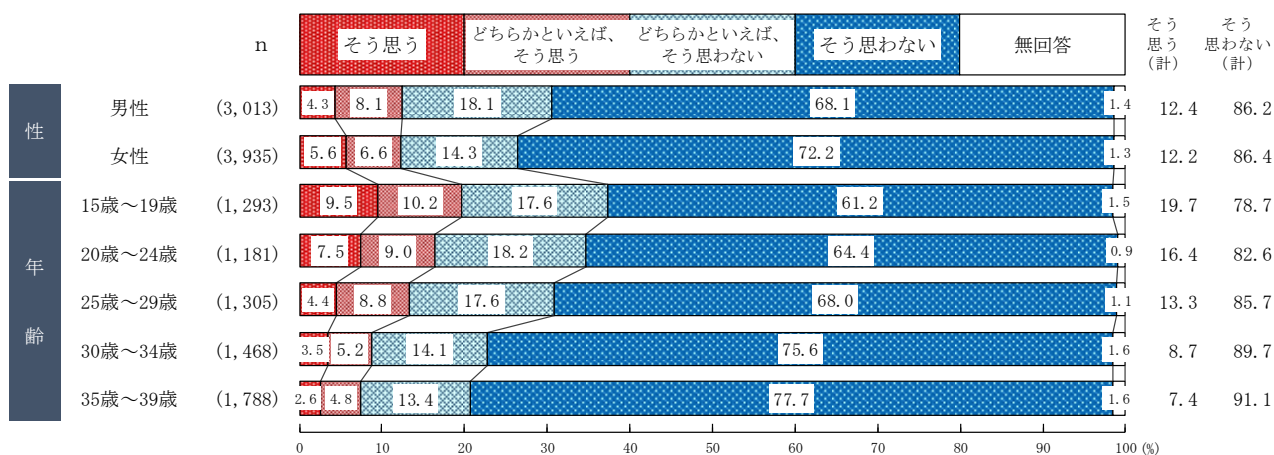
図表2-2-3-5-2 インターネット上での他者との関わり方:会話やメール等をよくしている(性別、年齢別)



インターネット上での他者との関わり方における“何でも悩みを相談できる人がいる”について、性別にみると（図表 2-2-3-5-3）、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、男女とも9割に近く（男性 86.2%、女性 86.4%）、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-5-3）、『そう思わない』という回答者の割合は、年齢が高い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が 78.7%、30歳以上では9割前後（30歳～34歳 89.7%、35歳～39歳 91.1%）となっている。

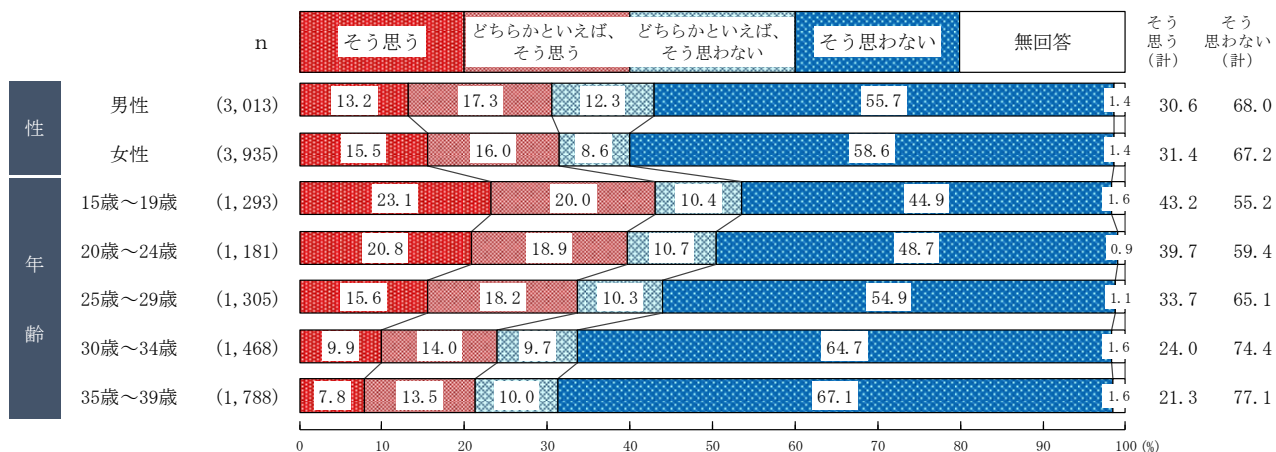
図表2-2-3-5-3 インターネット上での他者との関わり方:何でも悩みを相談できる人がいる(性別、年齢別)



インターネット上での他者との関わり方における“楽しく話せる時がある”について、性別にみると（図表 2-2-3-5-4）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、男女とも約3割（男性 30.6%、女性 31.4%）であり、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-5-4）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が 43.2%、35歳～39歳が 21.3%である。

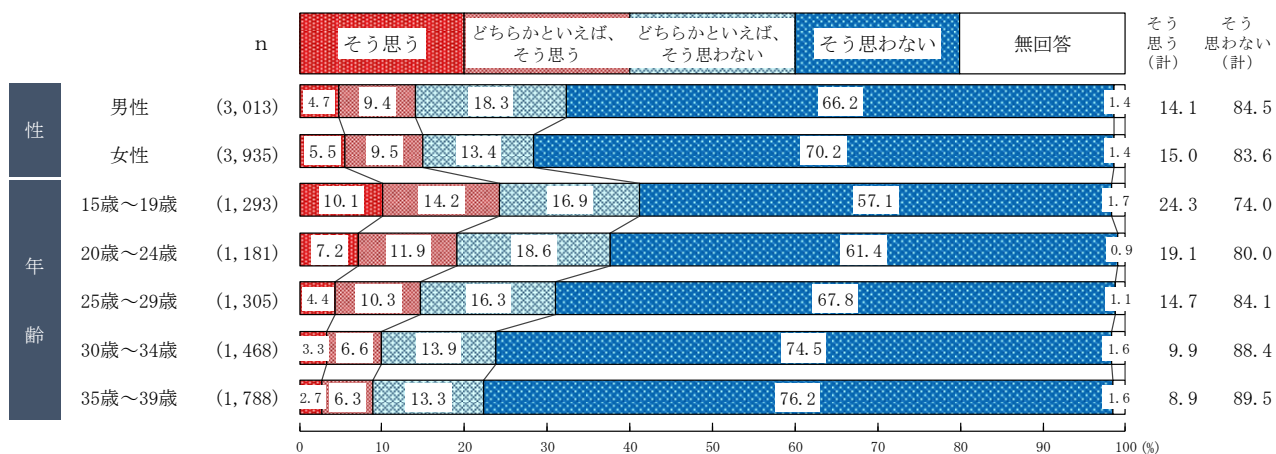
図表2-2-3-5-4 インターネット上での他者との関わり方:楽しく話せる時がある(性別、年齢別)



インターネット上での他者との関わり方における“困ったときは助けてくれる”について、性別にみると（図表 2-2-3-5-5）、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、男女とも8割台（男性 84.5%、女性 83.6%）であり、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-5-5）、『そう思わない』という回答者の割合は、年齢が高い層ほど高くなる傾向がみられ、15～19歳が 74.0%、30歳以上で9割近い（30歳～34歳 88.4%、35歳～39歳 89.5%）。

図表2-2-3-5-5 インターネット上での他者との関わり方:困ったときは助けてくれる(性別、年齢別)

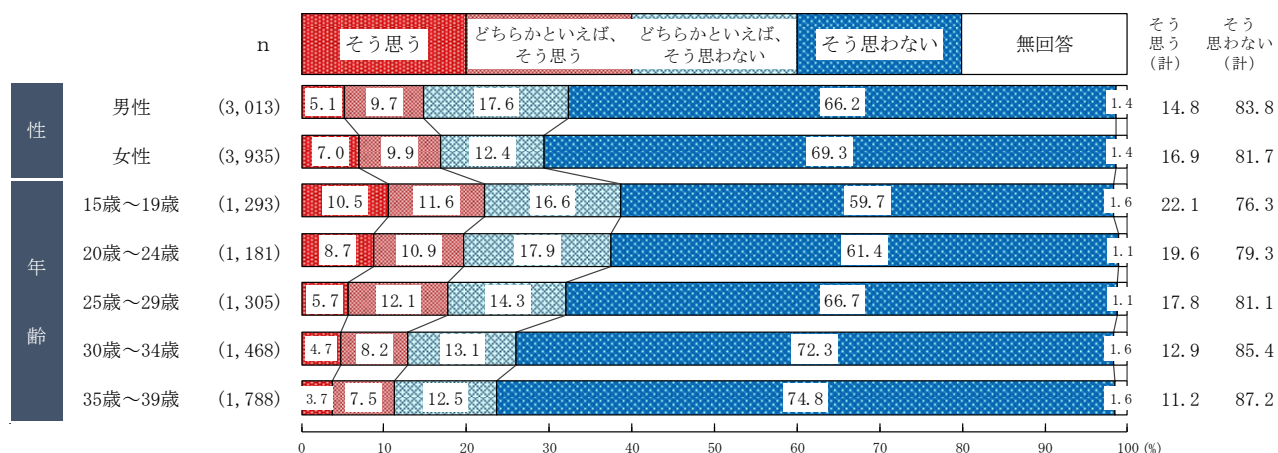


インターネット上での他者との関わり方における“他の人には言えない本音を話せることがある”について、性別にみると（図表 2-2-3-5-6）、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、男女とも8割（男性83.8%、女性81.7%）を占め、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-5-6）、『そう思わない』という回答者の割合は、年齢が高い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が76.3%、35歳～39歳が87.2%である。

図表2-2-3-5-6 インターネット上での他者との関わり方:他の人には言えない本音を話せることがある

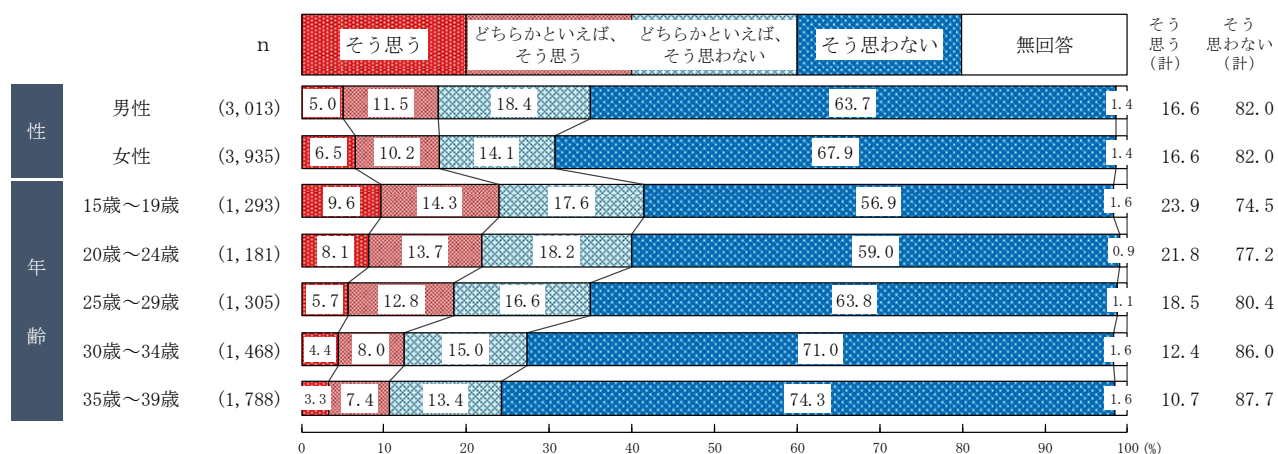
(性別、年齢別)



インターネット上での他者との関わり方における“いつもつながりを感じている”について、性別にみると（図表 2-2-3-5-7）、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者は、男女とも82.0%で差はない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-5-7）、『そう思わない』という回答者の割合は、年齢が高い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が74.5%、35歳～39歳が87.7%である。

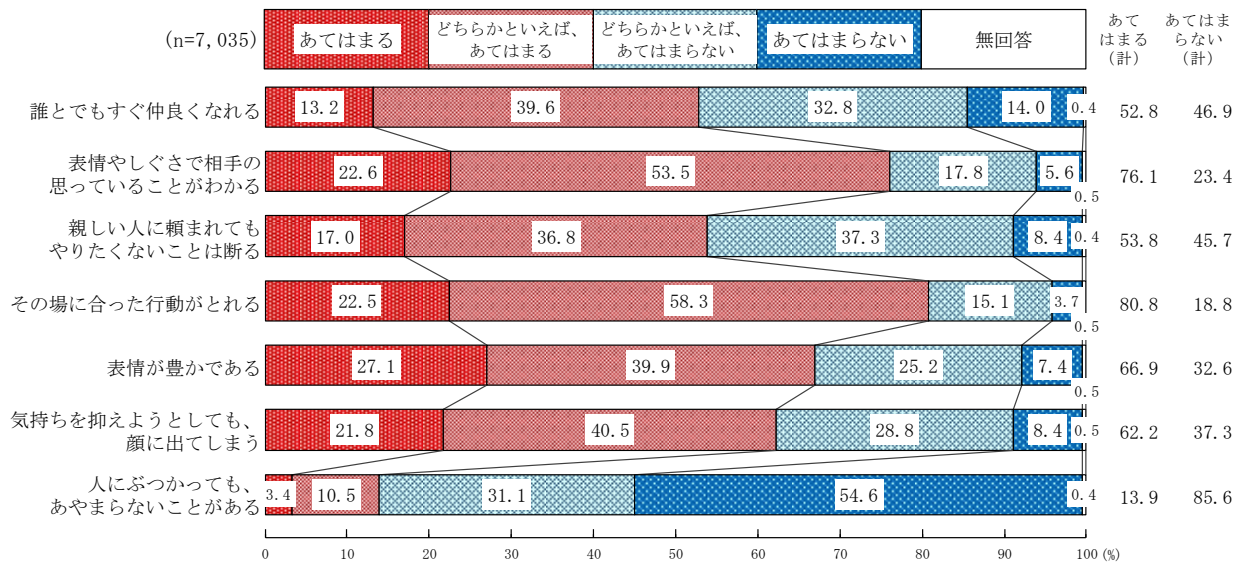
図表2-2-3-5-7 インターネット上での他者との関わり方:いつもつながりを感じている(性別、年齢別)



(6) 他者との付き合い方 (問 10)

問 10 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。  
(それぞれについて1つ)

図表2-2-3-6-1 他者との付き合い方



回答者の他者との関わり方に関して、他者との付き合い方として、“誰とでもすぐ仲良くなれる”、“表情やしぐさで相手の思っていることがわかる”、“親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る”、“その場に合った行動がとれる”、“表情が豊かである”、“気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう”、“人にぶつかっても、あやまらないことがある”の7項目を聞いた(図表2-2-3-6-1)。

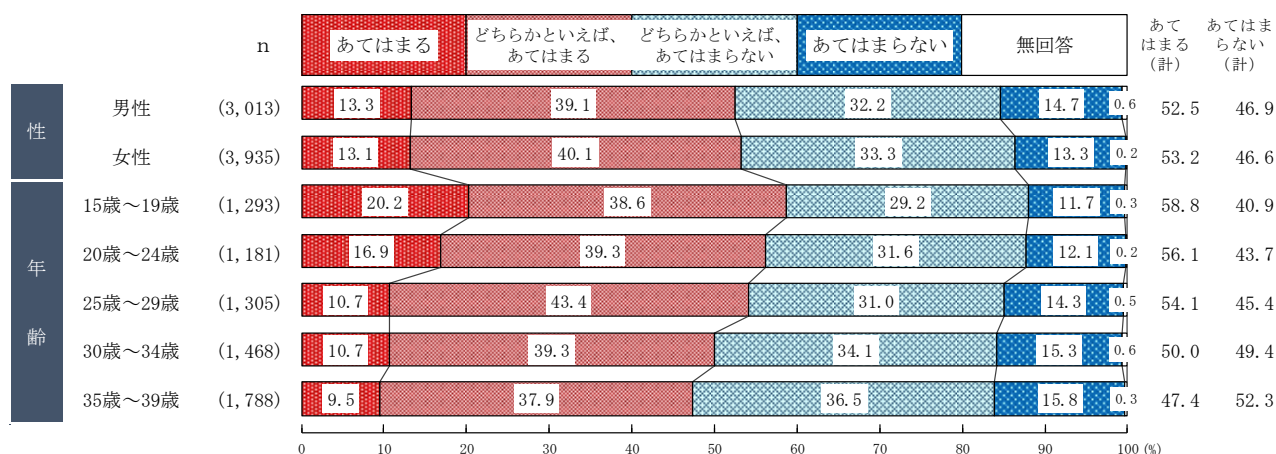
7項目のうち、『あてはまる』(「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」)という回答者の割合は、“その場に合った行動がとれる”が80.8%と最も高く、次いで“表情やしぐさで相手の思っていることがわかる”が76.1%である。

一方、『あてはまらない』(「あてはまらない」+「どちらかといえば、あてはまらない」)という回答者の割合は、“人にぶつかっても、あやまらないことがある”が85.6%と、その他の項目よりもとりわけ高い。

“誰とでもすぐ仲良くなれる”について、性別にみると（図表 2-2-3-6-2）、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男女とも半数程度（男性 52.5%、女性 53.2%）で、男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-3-6-2）、『あてはまる』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が58.8%、35歳～39歳が47.4%である。一方、『あてはまらない』（「あてはまらない」+「どちらかといえば、あてはまらない」）という回答者の割合は、35歳～39歳（52.3%）では『あてはまる』という回答者の割合（47.4%）を上回っている。

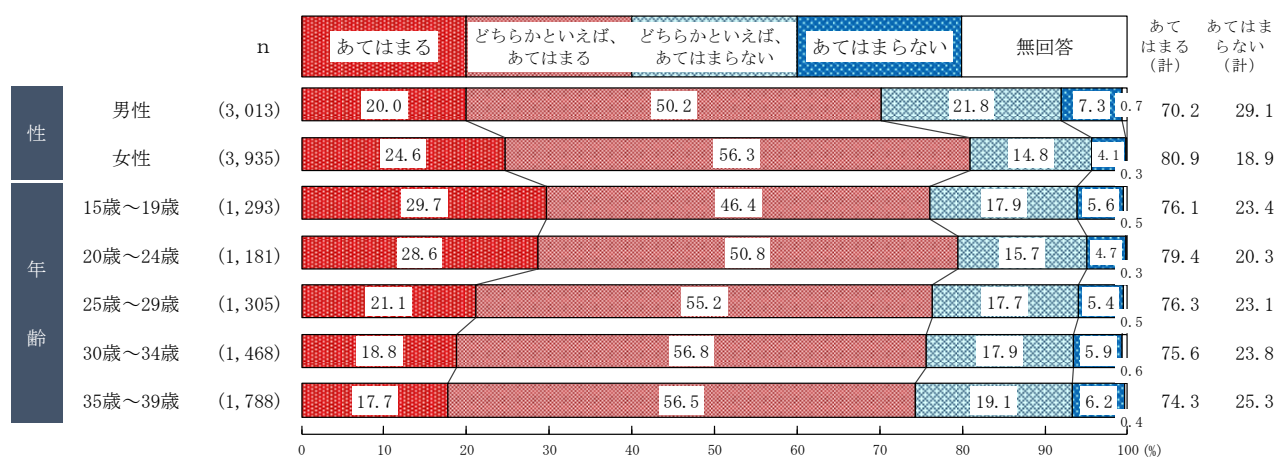
図表2-2-3-6-2 他者との付き合い方:誰とでもすぐ仲良くなれる(性別、年齢別)



“表情やしぐさで相手の思っていることがわかる”について、性別にみると（図表 2-2-3-6-3）、『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、女性（80.9%）が男性（70.2%）を約 11 ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-6-3）、『あてはまる』という回答者は、いずれの年齢層でも 7 割台である。

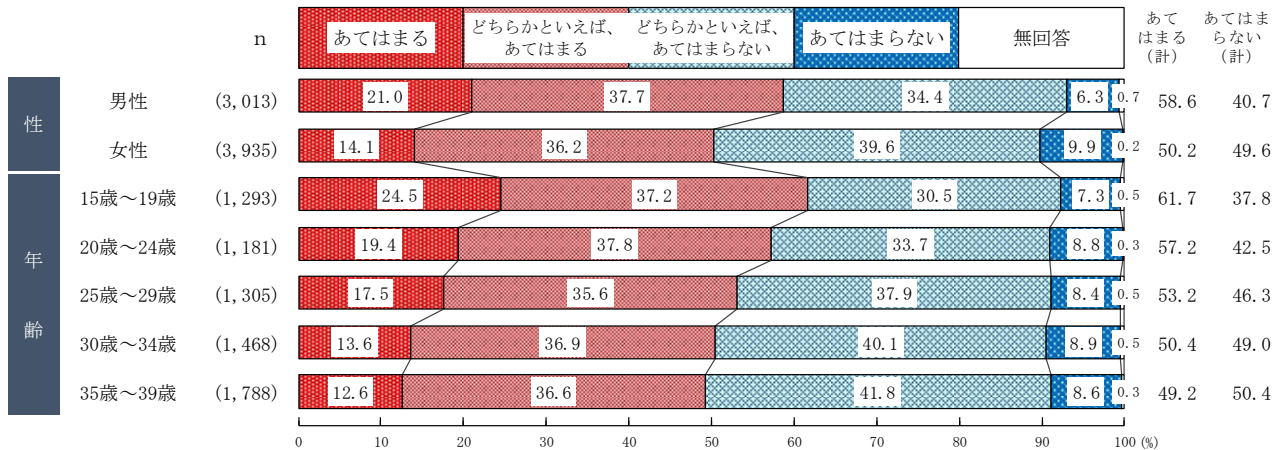
図表2-2-3-6-3 他者との付き合い方:表情やしぐさで相手の思っていることがわかる(性別、年齢別)



“親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る”について、性別にみると（図表 2-2-3-6-4）、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、男性（58.6%）では6割近くとなっており、女性（50.2%）を約8ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-6-4）、『あてはまる』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が61.7%、35歳～39歳が49.2%である。

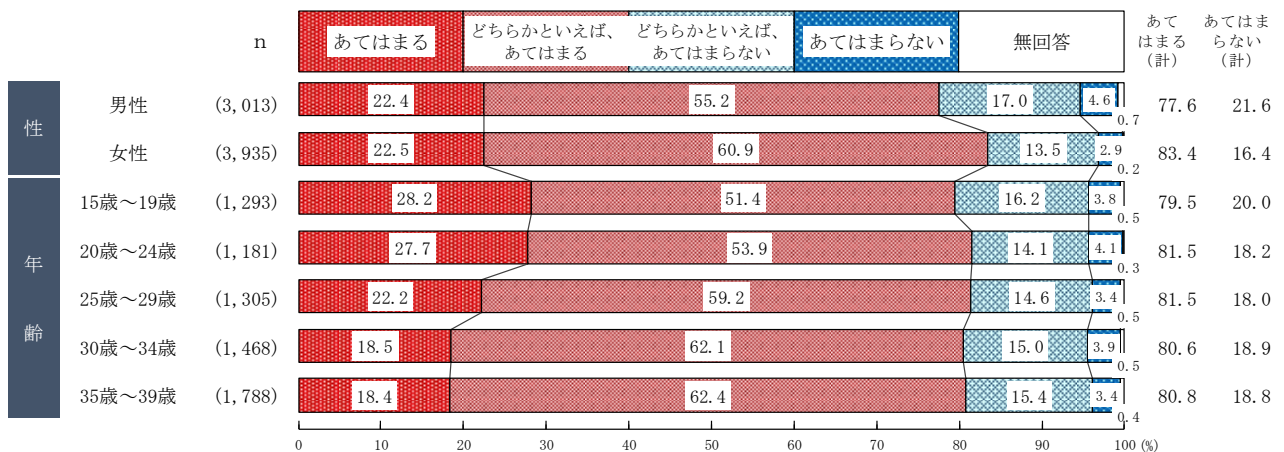
図表2-2-3-6-4 他者との付き合い方:親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る(性別、年齢別)



“その場に合った行動がとれる”について、性別にみると（図表 2-2-3-6-5）、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、女性（83.4%）では8割を上回り、男性（77.6%）を約6ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-6-5）、『あてはまる』という回答者は、いずれの年齢層でも8割前後で、大きな差はみられない。

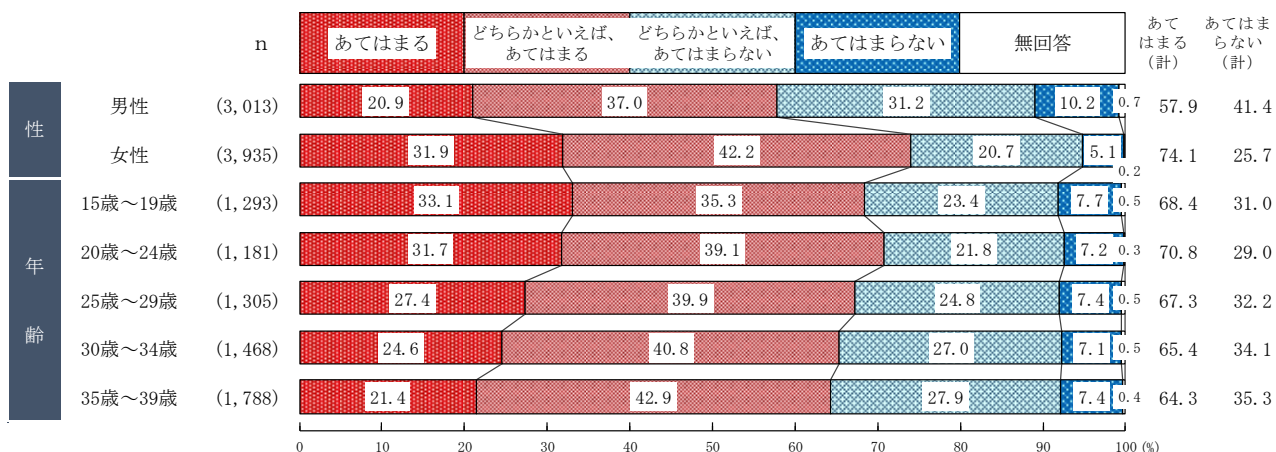
図表2-2-3-6-5 他者との付き合い方:その場に合った行動がとれる(性別、年齢別)



“表情が豊かである”について、性別にみると（図表 2-2-3-6-6）、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、女性（74.1%）では7割を上回っており、男性（57.9%）を約16ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-6-6）、『あてはまる』という回答者は、いずれの年齢層でも6割を上回り、29歳以下では概ね7割前後（15歳～19歳 68.4%、20歳～24歳 70.8%、25歳～29歳 67.3%）である。

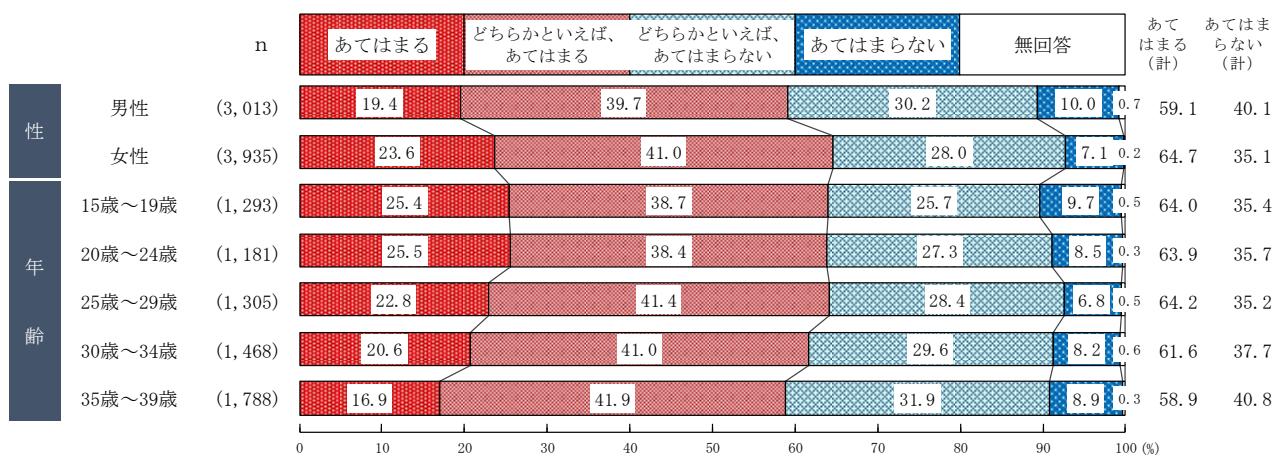
図表2-2-3-6-6 他者との付き合い方:表情が豊かである(性別、年齢別)



“気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう”について、性別にみると（図表 2-2-3-6-7）、『あてはまる』（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）という回答者は、女性（64.7%）が男性（59.1%）を約6ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-6-7）、『あてはまる』という回答者は、いずれの年齢層でも概ね6割前後である。

図表2-2-3-6-7 他者との付き合い方:気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう(性別、年齢別)

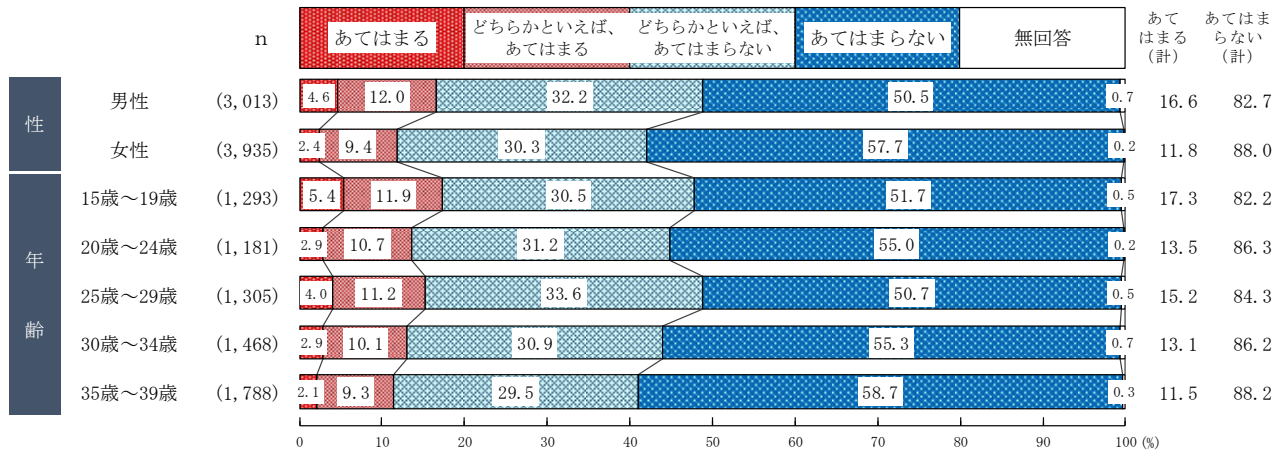




“人にぶつかっても、あやまらないことがある”について、性別にみると（図表 2-2-3-6-8）、『あてはまらない』（「あてはまらない」＋「どちらかといえば、あてはまらない」）という回答者は、男女とも8割台（男性82.7%、女性88.0%）であり、女性が男性を約5ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-3-6-8）、『あてはまらない』という回答者は、いずれの年齢層でも8割を上回っている。

図表2-2-3-6-8 他者との付き合い方：人にぶつかっても、あやまらないことがある（性別、年齢別）

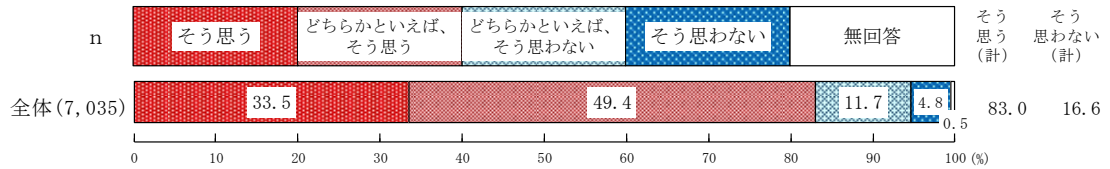


## 4. 社会参加

### (1) 社会貢献への意欲 (問 11)

問 11 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(1つだけ)

図表2-2-4-1-1 社会貢献への意欲



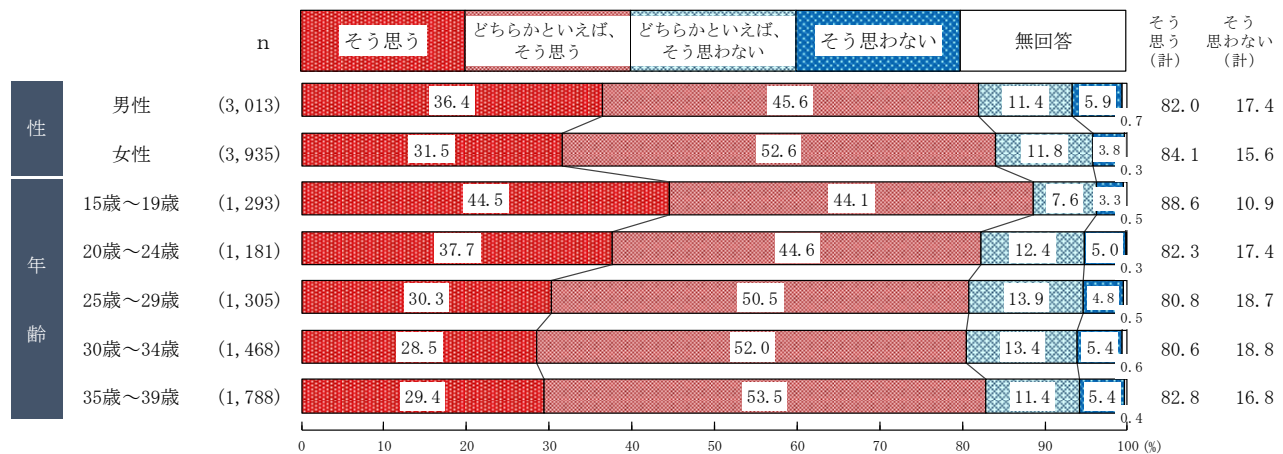
回答者の社会参加に関する自己意識として、“社会のために役立つことをしたい”という社会貢献意欲を聞いた (図表 2-2-4-1-1)。

「そう思う」という回答者は 33.5% で、「どちらかといえば、そう思う」(49.4%) を合わせると、8割以上が、自身の社会貢献意欲に対して肯定的な認識を示している。

性別にみると (図表 2-2-4-1-2)、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」) という回答者は、男性 82.0%、女性 84.1% で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると (図表 2-2-4-1-2)、『そう思う』という回答者は、いずれの年齢層でも 8割以上を占め、15歳～19歳 (88.6%) は 9割近い。

図表2-2-4-1-2 社会貢献への意欲(性別、年齢別)

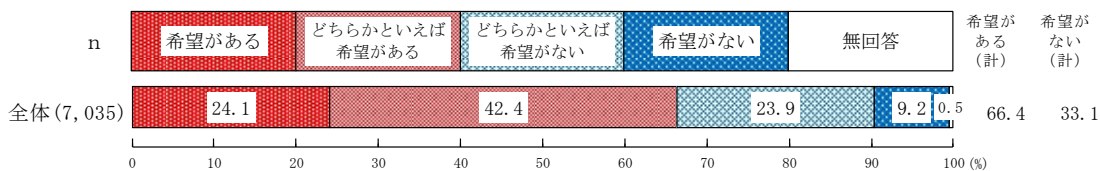


## 5. 将来像

### (1) 将来への希望 (問 12)

問 12 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つだけ)

図表2-2-5-1-1 将来への希望



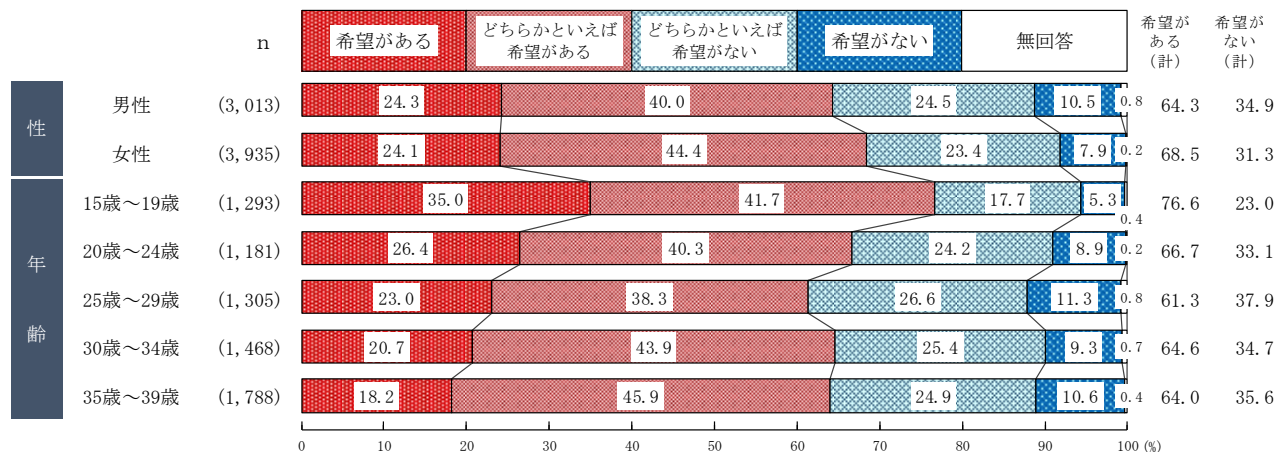
将来像に関する意識に関して、“自分の将来について明るい希望を持っているか”という将来への希望を聞いた (図表 2-2-5-1-1)。

「希望がある」という回答者は 24.1%で、「どちらかといえば希望がある」(42.4%)を合わせると、7割近くが、自身の将来への希望について肯定的な認識を示している。

性別にみると (図表 2-2-5-1-2)、『希望がある』(「希望がある」+「どちらかといえば希望がある」)という回答者は、男性 64.3%、女性 68.5%となっている。

年齢別にみると (図表 2-2-5-1-2)、『希望がある』という回答者は、いずれの年齢層でも6割を上回っており、15歳~19歳 (76.6%)では8割に近い。

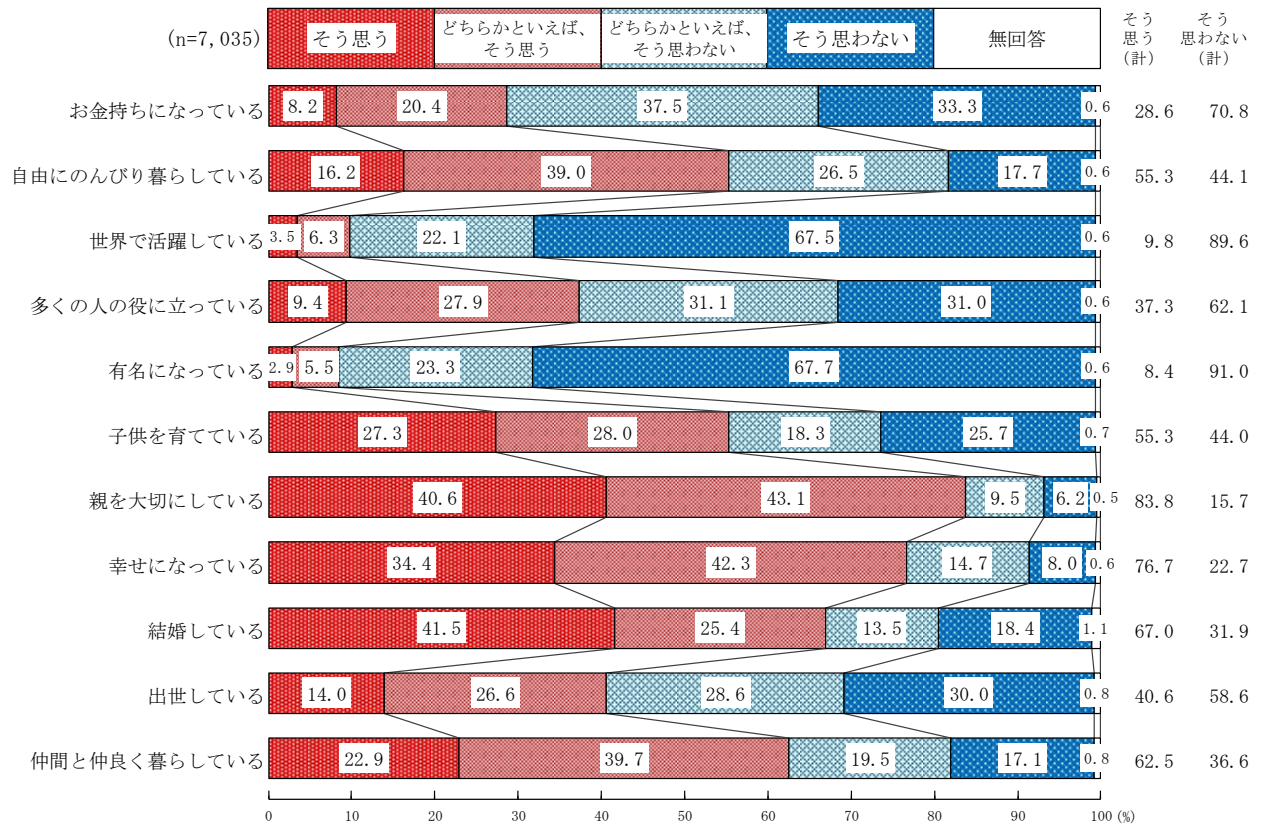
図表2-2-5-1-2 将来への希望(性別、年齢別)



(2) ポスト青年期の自己像 (問 13)

問 13 あなたは 20 年後、どのようになっていると思いますか。(それぞれについて1つ)

図表2-2-5-2-1 ポスト青年期の自己像



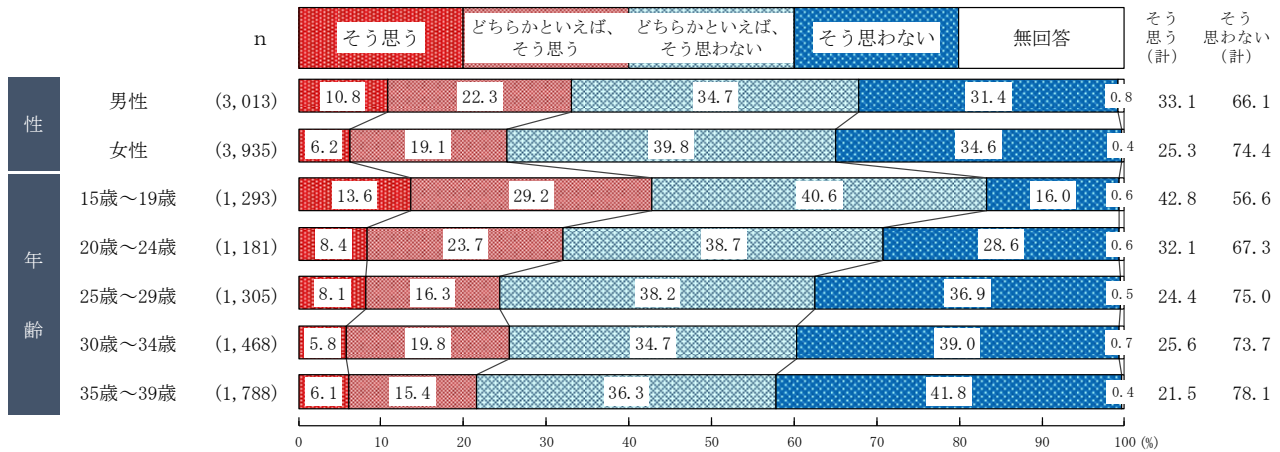
ポスト青年期の自己像に関して、20年後の自身のイメージとして、“お金持ちになっている”、“自由にのんびり暮らしている”、“世界で活躍している”、“多くの人の役に立っている”、“有名になっている”、“子供を育てている”、“親を大切にしている”、“幸せになっている”、“結婚している”、“出世している”、“仲間と仲良く暮らしている”の11項目を聞いた(図表2-2-5-2-1)。

11項目のうち、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」)という回答者の割合は、“親を大切にしている”(83.8%)が最も高く、次いで“幸せになっている”(76.7%)である。一方、『そう思わない』(「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」)という回答者の割合は、“有名になっている”(91.0%)が最も高く、次いで“世界で活躍している”(89.6%)であり、いずれも約9割を占める。

“お金持ちになっている”について、性別にみると（図表 2-2-5-2-2）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男性（33.1%）が女性（25.3%）を約8ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-5-2-2）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が42.8%、35歳～39歳が21.5%である。

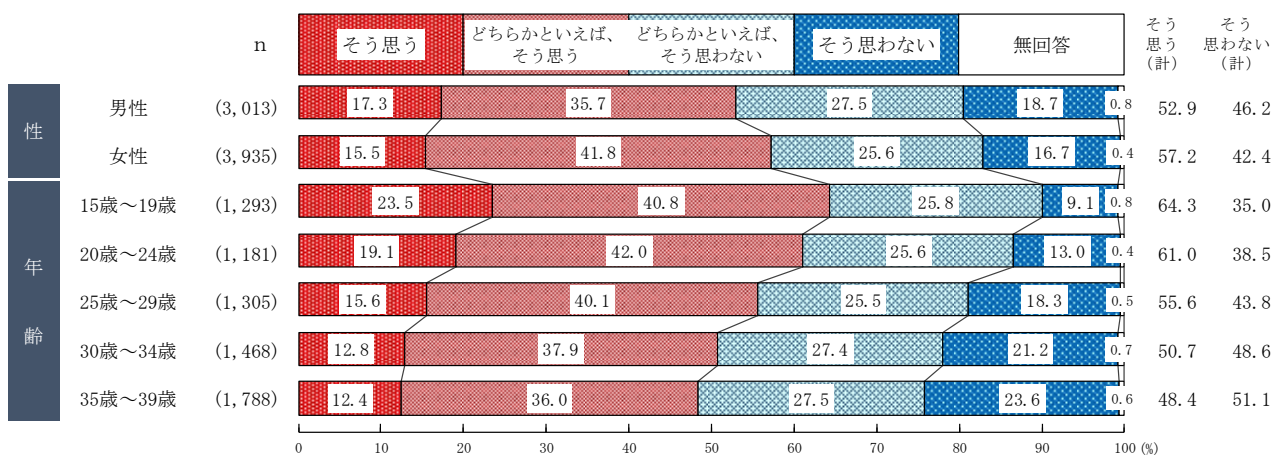
図表2-2-5-2-2 ポスト青年期の自己像:お金持ちになっている(性別、年齢別)



“自由にのんびり暮らしている”について、性別にみると（図表 2-2-5-2-3）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男性52.9%、女性57.2%である。

年齢別にみると（図表 2-2-5-2-3）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が64.3%、35歳～39歳が48.4%である。

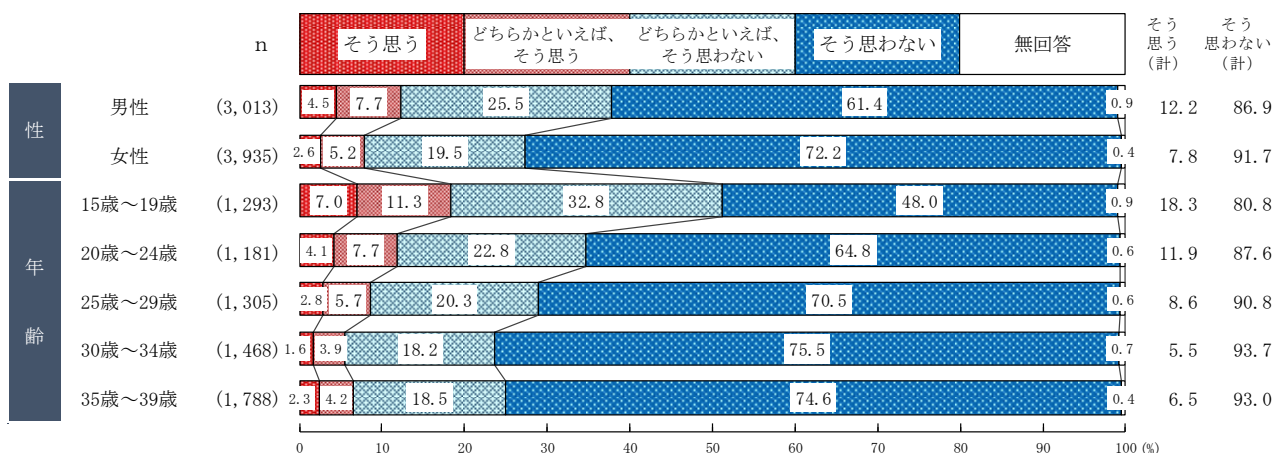
図表2-2-5-2-3 ポスト青年期の自己像:自由にのんびり暮らしている(性別、年齢別)



“世界で活躍している”について、性別にみると（図表 2-2-5-2-4）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男女とも1割前後（男性12.2%、女性7.8%）である。

年齢別にみると（図表 2-2-5-2-4）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高い傾向がみられ、15歳～19歳が18.3%、25歳以上では1割を下回る（25歳～29歳8.6%、30歳～34歳5.5%、35歳～39歳6.5%）。一方、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」という回答者は、25歳以上で9割を上回る（25歳～29歳90.8%、30歳～34歳93.7%、35歳～39歳93.0%）。

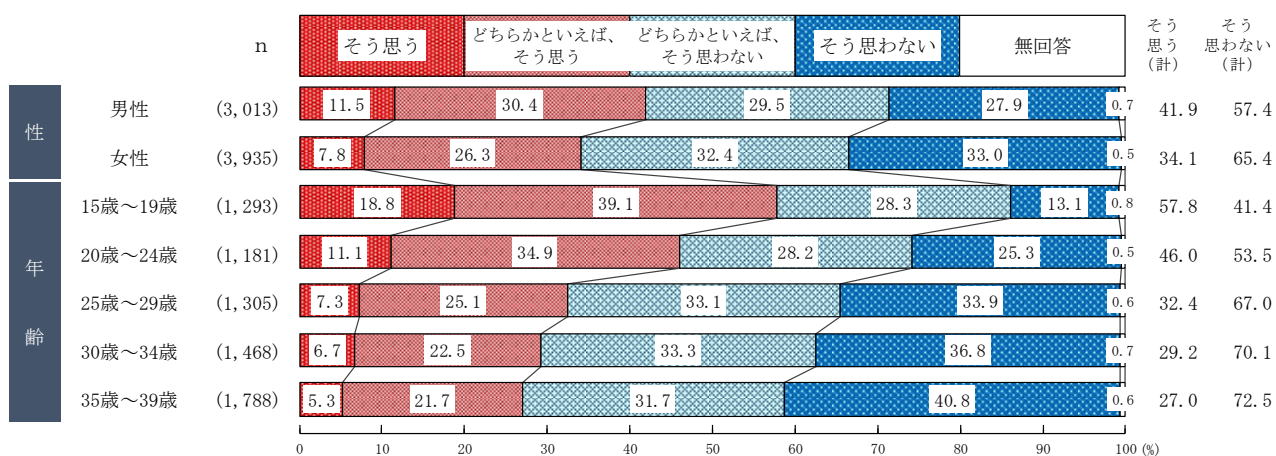
図表2-2-5-2-4 ポスト青年期の自己像:世界で活躍している(性別、年齢別)



“多くの人の役に立っている”について、性別にみると（図表 2-2-5-2-5）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男性（41.9%）が女性（34.1%）を約8ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-5-2-5）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が57.8%、35歳～39歳が27.0%である。

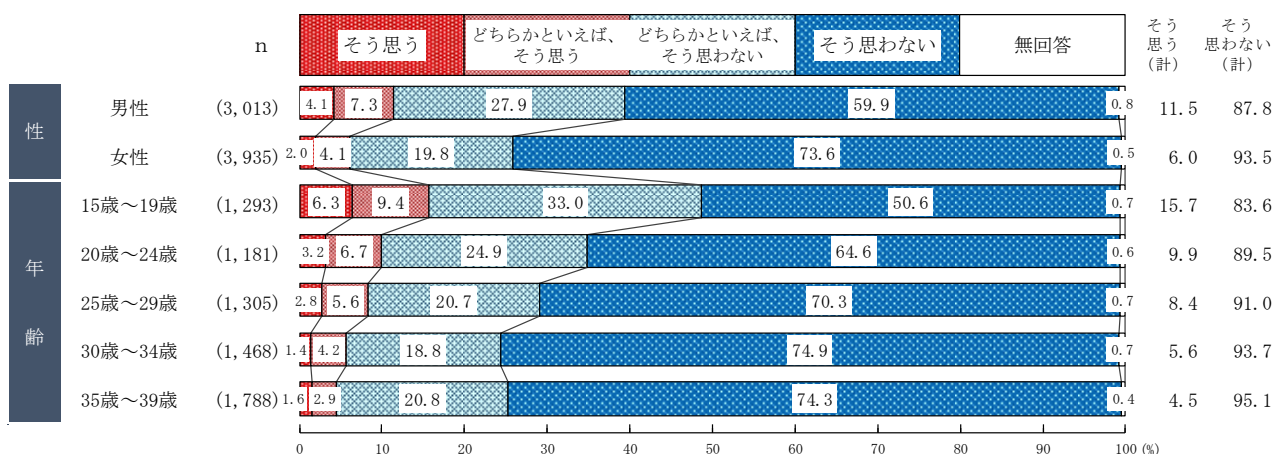
図表2-2-5-2-5 ポスト青年期の自己像:多くの人の役に立っている(性別、年齢別)



“有名になっている”について、性別にみると（図表 2-2-5-2-6）、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」という回答者は、男女ともに概ね9割前後（男性 87.8%、女性 93.5%）であり、女性が男性を約6ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-5-2-6）、『そう思わない』という回答者の割合は、年齢が高い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が83.6%、25歳以上では9割を上回る（25歳～29歳 91.0%、30歳～34歳 93.7%、35歳～39歳 95.1%）。

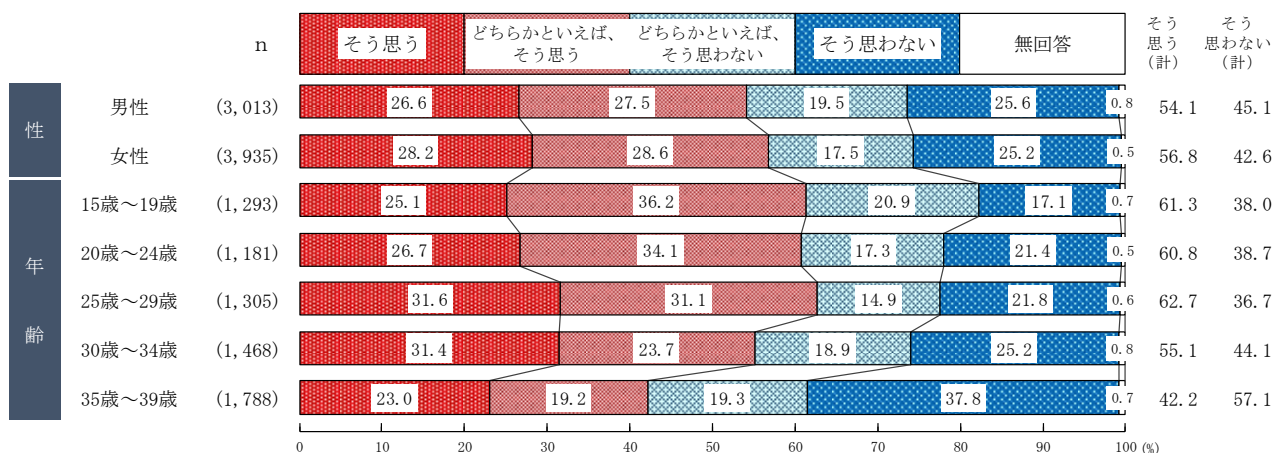
図表2-2-5-2-6 ポスト青年期の自己像:有名になっている(性別、年齢別)



“子供を育てている”について、性別にみると（図表 2-2-5-2-7）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男性 54.1%、女性 56.8%で、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-5-2-7）、『そう思う』という回答者は、29歳までは6割台である（15歳～19歳 61.3%、20歳～24歳 60.8%、25歳～29歳 62.7%）。一方、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」という回答者は、35歳～39歳（57.1%）が6割に近く、その他の年齢層では概ね4割前後（15歳～19歳 38.0%、20歳～24歳 38.7%、25歳～29歳 36.7%、30歳～34歳 44.1%）である。

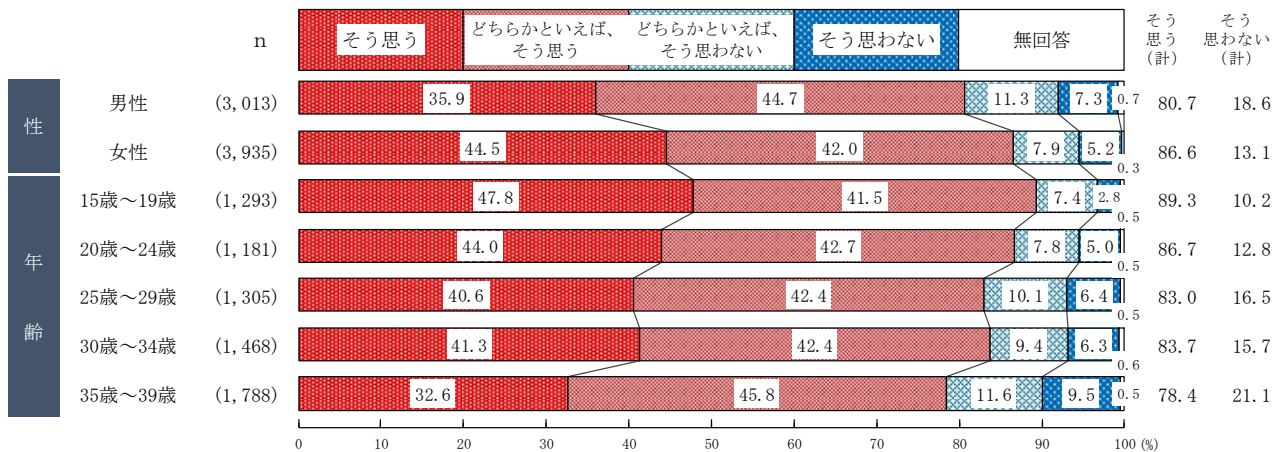
図表2-2-5-2-7 ポスト青年期の自己像:子供を育てている(性別、年齢別)



“親を大切にしている”について、性別にみると（図表 2-2-5-2-8）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男女ともに8割台（男性80.7%、女性86.6%）であり、女性が男性を約6ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-5-2-8）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が89.3%、35歳～39歳が78.4%である。

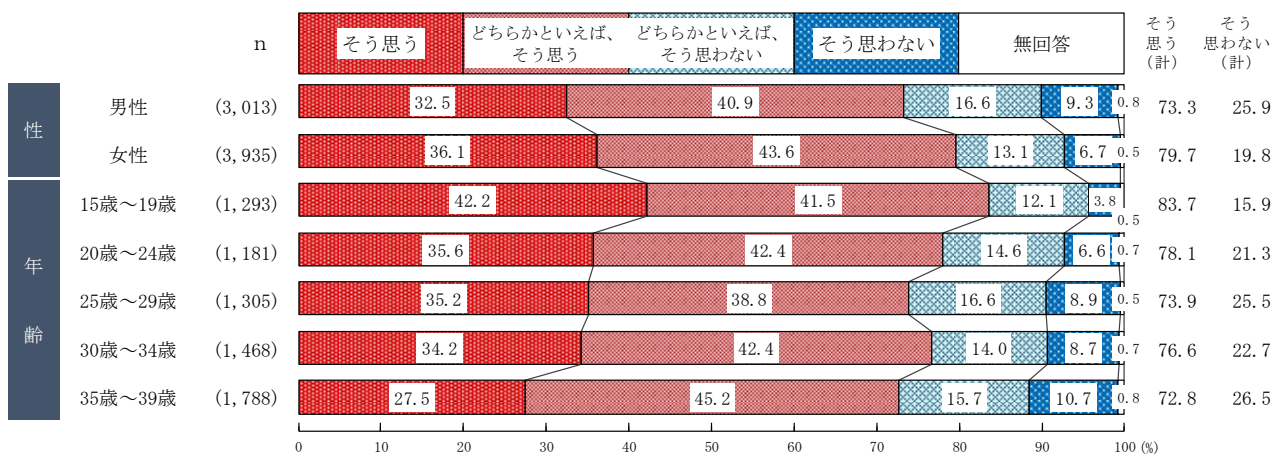
図表2-2-5-2-8 ポスト青年期の自己像:親を大切にしている(性別、年齢別)



“幸せになっている”について、性別にみると（図表 2-2-5-2-9）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男女ともに7割台（男性73.3%、女性79.7%）であり、女性が男性を約6ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-5-2-9）、『そう思う』という回答者は、いずれの年齢層でも7割以上を占め、24歳以下では8割前後（15歳～19歳83.7%、20歳～24歳78.1%）である。

図表2-2-5-2-9 ポスト青年期の自己像:幸せになっている(性別、年齢別)

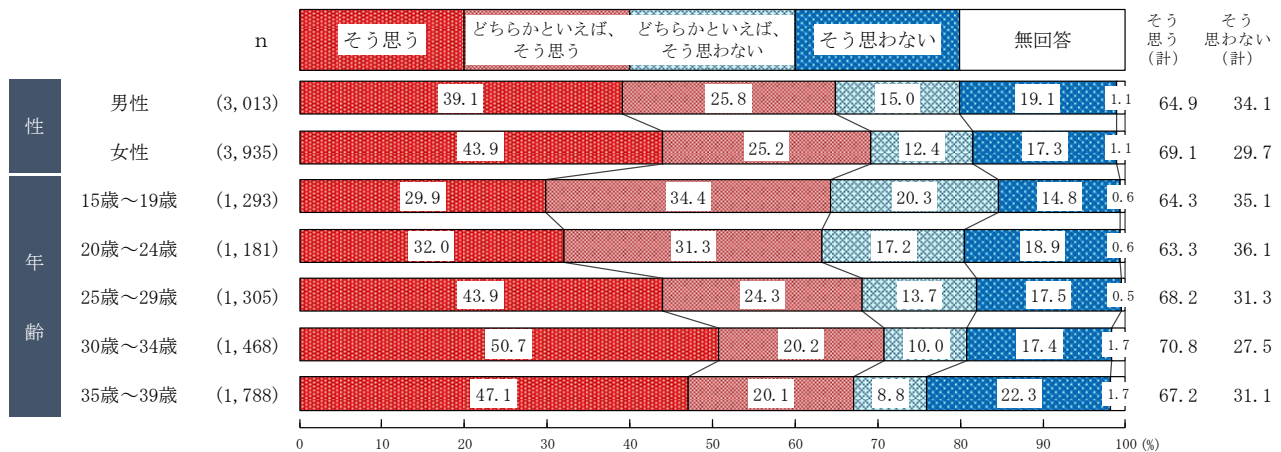




“結婚している”について、性別にみると（図表 2-2-5-2-10）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、男性 64.9%、女性 69.1%である。

年齢別にみると（図表 2-2-5-2-10）、『そう思う』という回答者は、いずれの年齢層でも 6 割以上を占め、25 歳以上では概ね 7 割前後（25 歳～29 歳 68.2%、30 歳～34 歳 70.8%、35 歳～39 歳 67.2%）である。

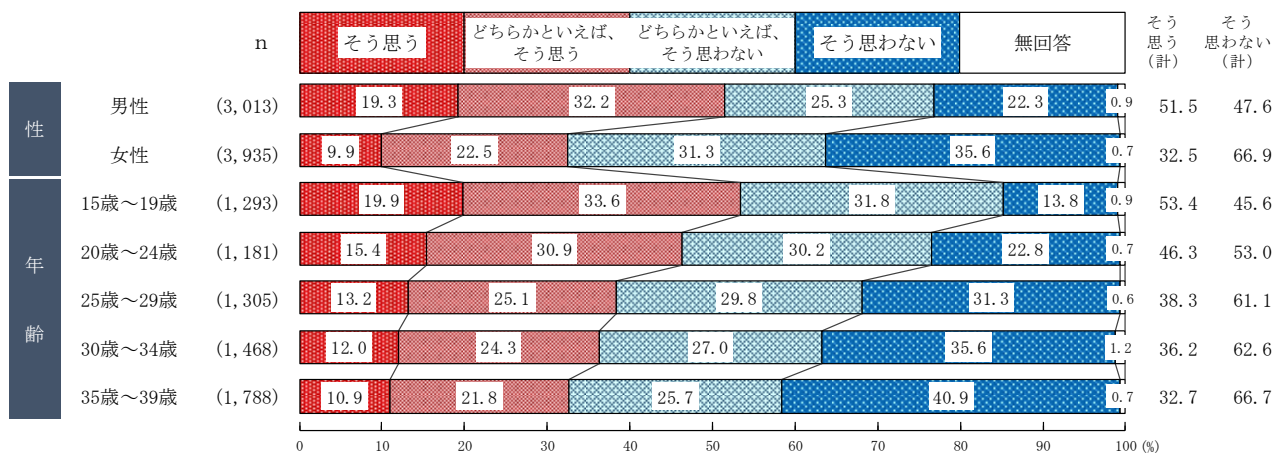
図表 2-2-5-2-10 ポスト青年期の自己像:結婚している(性別、年齢別)



“出世している”について、性別にみると（図表 2-2-5-2-11）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」）という回答者は、男性（51.5%）では半数以上を占め、女性（32.5%）を約 19 ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-5-2-11）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15 歳～19 歳が 53.4%、35 歳～39 歳が 32.7%である。一方、20 歳以上では、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえば、そう思わない」）という回答者の割合（20 歳～24 歳 53.0%、25 歳～29 歳 61.1%、30 歳～34 歳 62.6%、35 歳～39 歳 66.7%）は、『そう思う』という回答者の割合（20 歳～24 歳 46.3%、25 歳～29 歳 38.3%、30 歳～34 歳 36.2%、35 歳～39 歳 32.7%）を上回る。

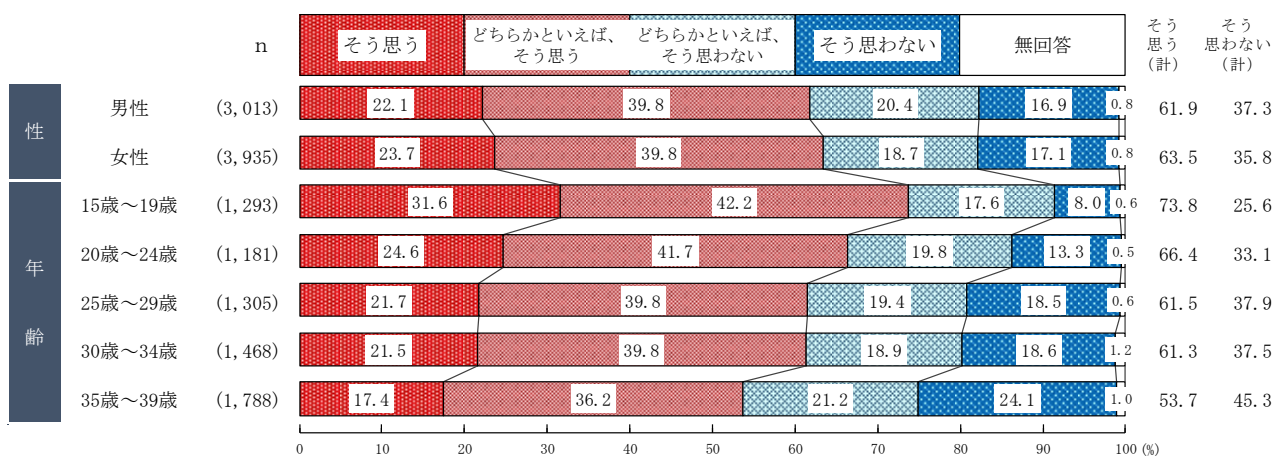
図表 2-2-5-2-11 ポスト青年期の自己像:出世している(性別、年齢別)



“仲間と仲良く暮らしている”について、性別にみると（図表 2-2-5-2-12）、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」という回答者は、男女とも6割台（男性61.9%、女性63.5%）であり、大きな男女差はみられない。

年齢別にみると（図表 2-2-5-2-12）、『そう思う』という回答者の割合は、年齢が低い層ほど高くなる傾向がみられ、15歳～19歳が73.8%、35歳～39歳が53.7%である。

図表2-2-5-2-12 ポスト青年期の自己像：仲間と仲良く暮らしている（性別、年齢別）

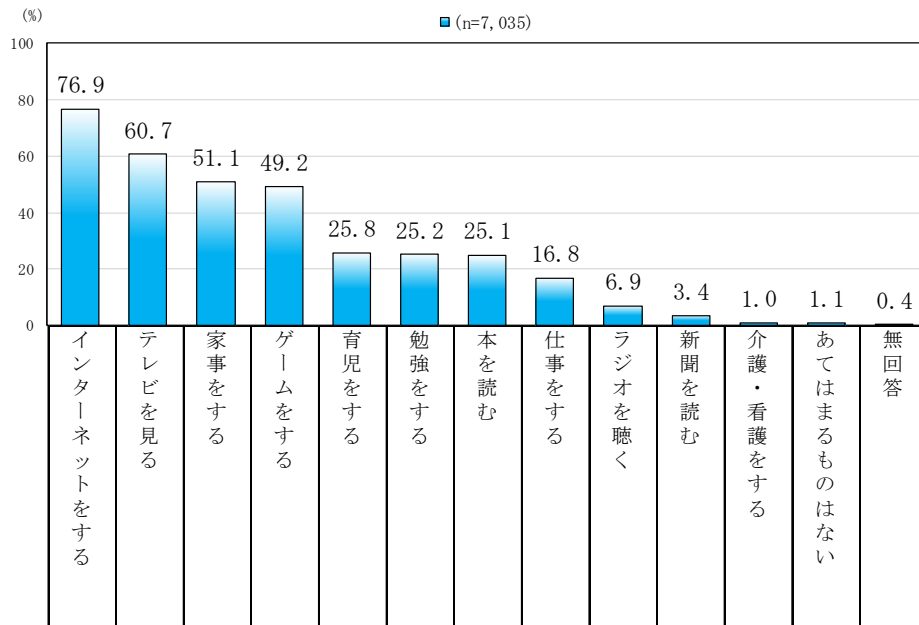


## 6. 普段の活動

(1) 家でよくしていること (問 14)

問 14 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（いくつでも）

図表2-2-6-1-1 家でよくしていること



普段、自宅（暮らしている場所）にいるときによくしていることとしては（図表 2-2-6-1-1）、「インターネットをする」が 76.9% で第 1 位にあげられ、以下「テレビを見る」(60.7%)、「家事をする」(51.1%)、「ゲームをする」(49.2%) などの順となっている。

性別にみると（図表 2-2-6-1-2）、「インターネットをする」（男性 75.4%、女性 78.0%）、「テレビを見る」（男性 55.6%、女性 65.1%）、「家事をする」（男性 38.7%、女性 60.8%）、「育児をする」（男性 18.4%、女性 31.7%）などは男性より女性で、「ゲームをする」（男性 63.5%、女性 38.0%）、「勉強をする」（男性 28.1%、女性 23.0%）、「本を読む」（男性 27.3%、女性 23.3%）、「仕事をする」（男性 19.4%、女性 14.9%）などは女性より男性で、それぞれ多くあげられている。

年齢別にみると（図表 2-2-6-1-2）、「インターネットをする」はいずれの年齢層でも第1位にあげられているが、35歳～39歳では71.9%と、他の年齢層よりは低くなっている。次いで、第2位には、15歳～19歳では「ゲームをする」（62.6%）が、20代では「テレビを見る」（20歳～24歳 55.6%、25歳～29歳 61.6%）が、30代では「家事をする」（30歳～34歳 66.8%、35歳～39歳 70.2%）があげられている。

図表2-2-6-1-2 家でよくしていること(性別、年齢別)

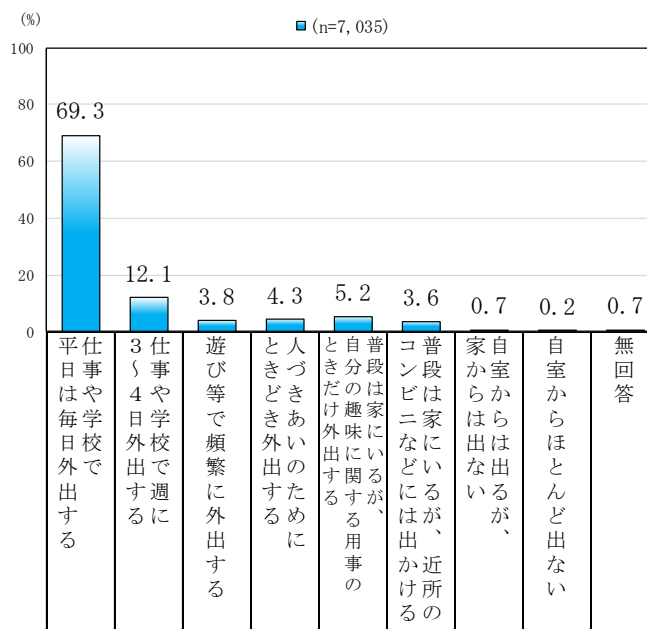
		n	インターネットをする	テレビを見る	家事をする	ゲームをする	育児をする	勉強をする	本を読む	仕事をする	ラジオを聴く	新聞を読む	介護・看護をする	あてはまるものはない	無回答
性	男性	(3,013)	75.4	55.6	38.7	63.5	18.4	28.1	27.3	19.4	7.6	4.3	0.7	1.3	0.6
	女性	(3,935)	78.0	65.1	60.8	38.0	31.7	23.0	23.3	14.9	6.2	2.7	1.1	0.8	0.3
年齢	15歳～19歳	(1,293)	78.3	57.2	18.3	62.6	0.6	55.3	23.4	2.9	5.8	2.7	0.3	1.4	0.8
	20歳～24歳	(1,181)	79.7	55.6	34.5	53.8	2.5	31.3	24.6	12.6	6.6	2.3	0.8	1.8	0.3
	25歳～29歳	(1,305)	78.4	61.6	54.6	47.8	19.5	16.2	24.0	21.9	6.6	1.7	1.3	0.8	0.5
	30歳～34歳	(1,468)	78.0	64.7	66.8	44.3	42.0	15.1	24.5	21.1	6.7	3.8	1.2	0.4	0.3
	35歳～39歳	(1,788)	71.9	62.7	70.2	41.6	50.7	14.4	27.8	22.5	8.2	5.4	1.1	1.1	0.3

## 7. 外出状況

### (1) 普段の外出頻度 (問 15)

問 15 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(1つだけ)

図表2-2-7-1-1 普段の外出頻度



普段の外出頻度を聞いたところ (図表 2-2-7-1-1)、「仕事や学校で平日は毎日外出する」という回答者の割合が 69.3%で、最も高い。

外出頻度が低い状態にある者についてみると、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」(5.2%)、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」(3.6%)、「自室からは出るが、家からは出ない」(0.7%)、「自室からほとんど出ない」(0.2%)となっている。(以下、本章ではこれらの者を「外出頻度の低い回答者」と総称する。)

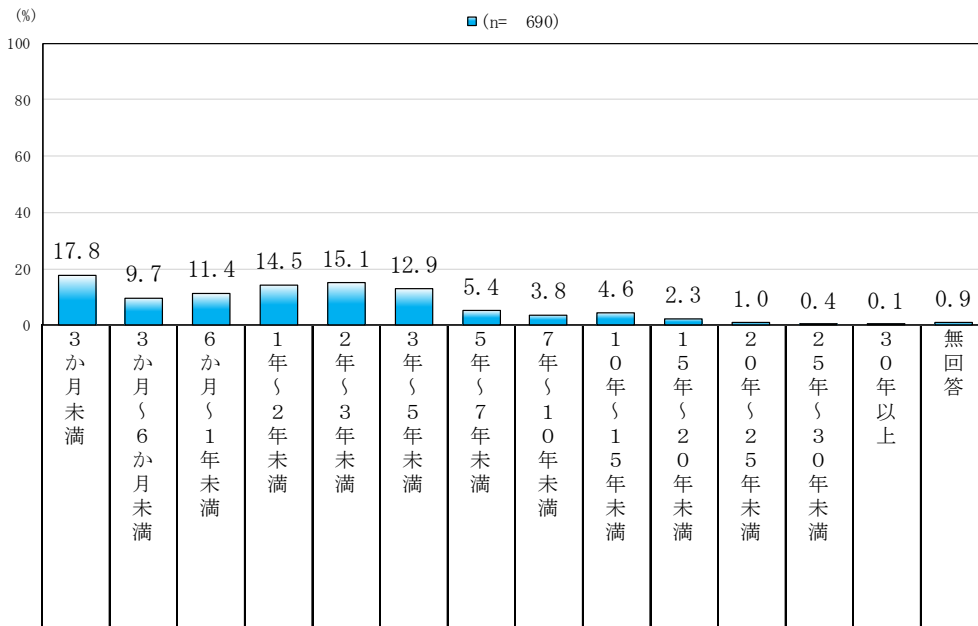
図表2-2-7-1-2 普段の外出頻度(性別、年齢別)

		%									
		n	平日は毎日外出する	仕事や学校で3〜4日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人づきあいのためにときどき外出する	普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	家からは出ないが、自室からは出るが、	自室からはほとんど出ない	無回答
性	男性	(3,013)	73.0	10.3	2.8	3.4	5.9	2.8	0.9	0.2	0.7
	女性	(3,935)	66.4	13.6	4.7	5.0	4.7	4.2	0.6	0.2	0.6
年齢	15歳〜19歳	(1,293)	84.4	7.0	1.4	1.5	2.9	0.9	0.9	0.3	0.7
	20歳〜24歳	(1,181)	64.0	18.6	4.0	4.6	5.3	2.3	0.7	0.3	0.3
	25歳〜29歳	(1,305)	62.4	12.8	5.5	5.4	6.5	5.6	0.8	0.3	0.7
	30歳〜34歳	(1,468)	67.5	12.4	5.0	4.3	5.6	3.7	0.5	-	1.0
	35歳〜39歳	(1,788)	68.2	10.8	3.4	5.4	5.7	5.0	0.7	0.2	0.6

(2) 現在の外出状況になってからの期間 (問 16)

問 16 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つだけ)

図表2-2-7-2-1 現在の外出状況になってからの期間



外出頻度の低い回答者(690人)が、現在の外出状況になってからの期間をみると(図表2-2-7-2-1)、「3か月未満」という回答者が17.8%で、次いで「2年～3年未満」(15.1%)、「1年～2年未満」(14.5%)、「3年～5年未満」(12.9%)、「6か月～1年未満」(11.4%)などの順となっている。また、6か月以上である旨の回答をした者をすべて合わせると、71.6%となる。

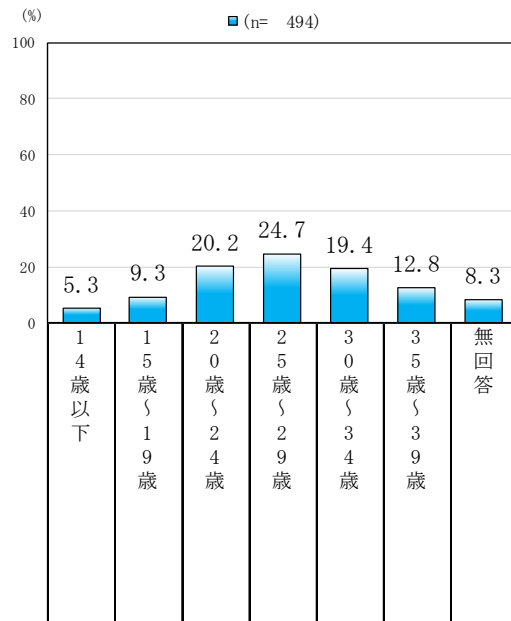
図表2-2-7-2-2 現在の外出状況になってからの期間(性別、年齢別)

		n	3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年～25年未満	25年～30年未満	30年以上	無回答
性	男性	(296)	15.2	8.1	9.5	13.5	17.9	12.8	6.4	4.4	6.1	3.0	1.0	1.0	-	1.0
	女性	(377)	19.4	10.9	12.7	15.6	13.3	13.3	4.5	3.2	3.7	1.6	1.1	-	-	0.8
年齢	15歳～19歳	(65)	26.2	10.8	16.9	10.8	7.7	16.9	7.7	-	1.5	-	-	-	-	1.5
	20歳～24歳	(101)	16.8	14.9	10.9	17.8	17.8	11.9	3.0	2.0	1.0	2.0	1.0	-	-	1.0
	25歳～29歳	(172)	17.4	9.9	9.9	19.2	15.1	13.4	5.2	3.5	4.7	1.2	-	-	-	0.6
	30歳～34歳	(144)	18.1	8.3	16.0	11.1	18.8	12.5	4.2	4.9	4.9	-	0.7	0.7	-	-
	35歳～39歳	(208)	15.9	7.7	8.2	12.5	13.5	12.0	6.7	5.3	7.2	5.8	2.4	1.0	0.5	1.4

(3) 現在の外出状況になった年齢 (問 17)

問 17 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

図表2-2-7-3-1 現在の外出状況になった年齢



外出頻度の低い回答者のうち、現在の外出状況となってからの期間が6か月以上である旨の回答をした者(494人)(問16参照。以下、本章において同じ。)に、今の状況になった年齢を聞いたところ(図表2-2-7-3-1)、「25歳～29歳」という回答者の割合は24.7%で、最も高い。

図表2-2-7-3-2 現在の外出状況になった年齢(性別、年齢別)<sup>15</sup>

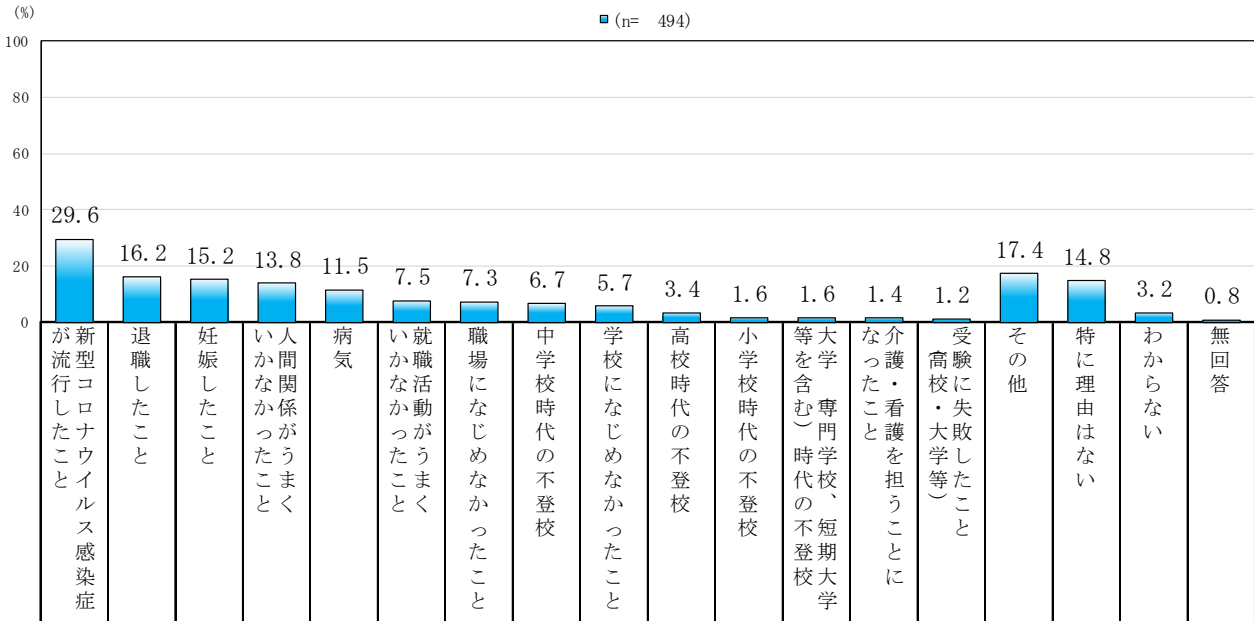
		n	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	無回答
性	男性	( 224)	7.1	11.2	21.4	21.0	17.9	11.2	10.3
	女性	( 260)	3.5	7.7	18.5	28.1	21.2	14.6	6.5
年	15歳～19歳	( 40)	42.5	45.0	2.5	-	-	-	10.0
	20歳～24歳	( 68)	4.4	23.5	63.2	-	-	-	8.8
	25歳～29歳	( 124)	1.6	4.8	27.4	57.3	-	-	8.9
齢	30歳～34歳	( 106)	0.9	-	8.5	32.1	52.8	0.9	4.7
	35歳～39歳	( 156)	1.9	3.8	8.3	10.9	25.6	39.7	9.6

<sup>15</sup> 15歳～19歳は、回答者些少のため参考値。

(4) 現在の外出状況になった理由

問 18-1 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも)

図表2-2-7-4-1 現在の外出状況になった理由



外出頻度の低い回答者のうち、現在の外出状況となってからの期間が6か月以上である旨の回答をした者(494人)に、今の状況になった理由を聞いたところ(図表2-2-7-4-1)、「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」が29.6%で第1位にあげられ、以下、「退職したこと」(16.2%)、「妊娠したこと」(15.2%)、「人間関係がうまくいかなかったこと」(13.8%)、「病気」(11.5%)などの順となっている。「特に理由はない」という回答者は14.8%である。



性別にみると（図表 2-2-7-4-2）、男性では「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」（31.7%）が第1位にあげられ、次いで「人間関係がうまくいかなかったこと」（16.5%）となっている。一方、女性では、「妊娠したこと」（28.8%）が第1位で、以下、「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」（27.7%）、「退職したこと」（22.3%）の順となっている。

「特に理由はない」という回答者は男性（20.1%）では約2割で、女性（9.6%）を約11ポイント上回っている。

年齢別にみると（図表 2-2-7-4-2）、20歳以上では、いずれの年齢層でも「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」が第1位にあげられている。また、30歳～34歳では、「妊娠したこと」が27.4%と、他の年齢層より高くなっている。

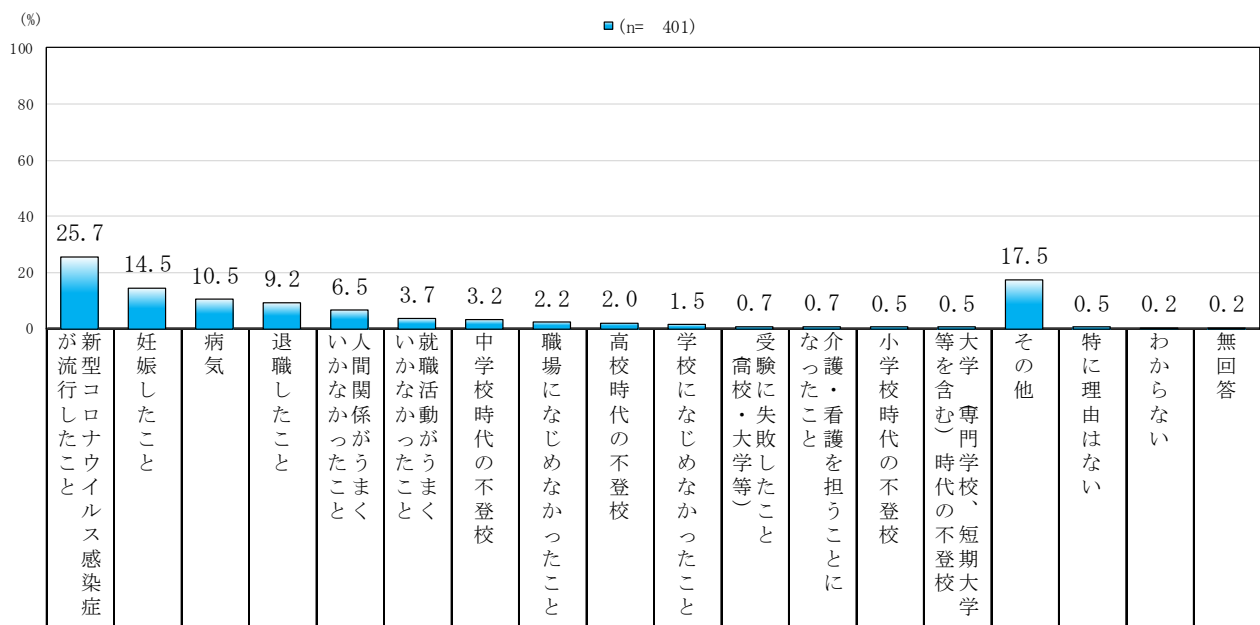
図表2-2-7-4-2 現在の外出状況になった理由(性別、年齢別)<sup>16</sup>

		(%)																	
n		が新型コロナウイルス感染症	退職したこと	妊娠したこと	人間関係がうまくいかなかったこと	病気	就職活動がうまくいかなかったこと	職場になじめなかったこと	中学校時代の不登校	学校になじめなかったこと	高校時代の不登校	小学校時代の不登校	大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校	介護・看護を担うことになったこと	受験に失敗したこと（高校・大学等）	その他	特に理由はない	わからない	無回答
性	男性 ( 224)	31.7	9.4	-	16.5	10.3	8.5	8.9	8.5	7.6	5.8	0.9	2.2	0.9	1.8	14.3	20.1	3.1	0.9
	女性 ( 260)	27.7	22.3	28.8	11.5	12.3	6.2	5.8	5.4	4.2	1.5	2.3	1.2	1.9	0.8	20.0	9.6	2.7	0.8
年 齢	15歳～19歳 ( 40)	7.5	-	-	20.0	10.0	-	2.5	32.5	22.5	12.5	5.0	-	-	2.5	15.0	17.5	2.5	2.5
	20歳～24歳 ( 68)	30.9	14.7	-	13.2	8.8	5.9	8.8	7.4	5.9	4.4	-	1.5	1.5	1.5	19.1	23.5	5.9	-
	25歳～29歳 ( 124)	32.3	16.1	16.9	11.3	12.9	7.3	6.5	4.0	3.2	3.2	1.6	2.4	3.2	2.4	16.9	16.1	3.2	1.6
	30歳～34歳 ( 106)	37.7	19.8	27.4	10.4	10.4	5.7	5.7	3.8	2.8	2.8	0.9	1.9	-	-	16.0	11.3	-	-
	35歳～39歳 ( 156)	26.9	18.6	16.0	16.7	12.8	11.5	9.6	3.8	5.1	1.3	1.9	1.3	1.3	0.6	18.6	11.5	4.5	0.6

<sup>16</sup> 15歳～19歳は、回答者些少のため参考値。

問 18-2 あなたの外出状況が現在の状態になった最も大きな理由は何ですか。  
 問 18-1 の選択肢の中から、番号を1つだけ選んでください。

図表2-2-7-4-3 現在の外出状況になった最も大きな理由



問 18-1 (複数回答) で、なんらかの理由を答えた者 (401 人) に、そのなかで最も大きな理由について聞いたところ (図表 2-2-7-4-3)、「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」という回答者が 25.7%で、次いで、「妊娠したこと」(14.5%)、「病気」(10.5%)、「退職したこと」(9.2%) などの順となっている。

性別にみると (図表 2-2-7-4-4)、男性では「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」(34.1%) が、女性では「妊娠したこと」(25.7%) という回答者の割合が、それぞれ最も高い。

年齢別にみると (図表 2-2-7-4-4)、25 歳以上では、いずれの年齢層でも「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」が第 1 位で、次いで「妊娠したこと」という回答者の割合が高くなっている。

図表2-2-7-4-4 現在の外出状況になった最も大きな理由(性別、年齢別)<sup>17</sup>

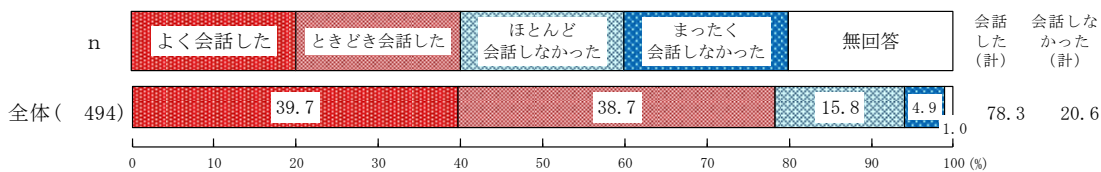
		n	が新型コロナウイルス感染症が流行したこと	妊娠したこと	病気	退職したこと	人間関係がうまくいかなかったこと	就職活動がうまくいかなかったこと	中学校時代の不登校	職場になじめなかったこと	高校時代の不登校	学校になじめなかったこと	受験に失敗したこと(高校・大学等)	介護・看護を担うことになったこと	小学校時代の不登校	大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の不登校	その他	特に理由はない	わからない	無回答
性	男性	( 170)	34.1	-	11.2	8.2	7.6	3.5	4.7	2.4	2.9	3.5	1.8	1.2	1.2	1.2	15.9	-	-	0.6
	女性	( 226)	19.5	25.7	9.7	10.2	5.8	3.1	2.2	2.2	1.3	-	-	0.4	-	-	18.6	0.9	0.4	-
年 齢	15歳～19歳	( 31)	6.5	-	12.9	-	9.7	-	19.4	-	9.7	9.7	3.2	-	6.5	-	19.4	-	3.2	-
	20歳～24歳	( 48)	33.3	-	8.3	16.7	6.3	4.2	6.3	4.2	-	-	-	-	-	-	20.8	-	-	-
	25歳～29歳	( 98)	27.6	17.3	10.2	8.2	5.1	4.1	1.0	3.1	3.1	-	2.0	1.0	-	2.0	14.3	-	-	1.0
	30歳～34歳	( 94)	27.7	24.5	9.6	10.6	5.3	2.1	-	-	2.1	-	-	-	-	-	18.1	-	-	-
	35歳～39歳	( 130)	24.6	13.8	11.5	8.5	7.7	5.4	2.3	3.1	-	2.3	-	1.5	-	-	17.7	1.5	-	-

<sup>17</sup> 15 歳～19 歳と 20 歳～24 歳は、回答者些少のため参考値。

(5) 家族以外との会話の状況 (問 19)

問 19 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。(1つだけ)

図表2-2-7-5-1 家族以外との会話の状況

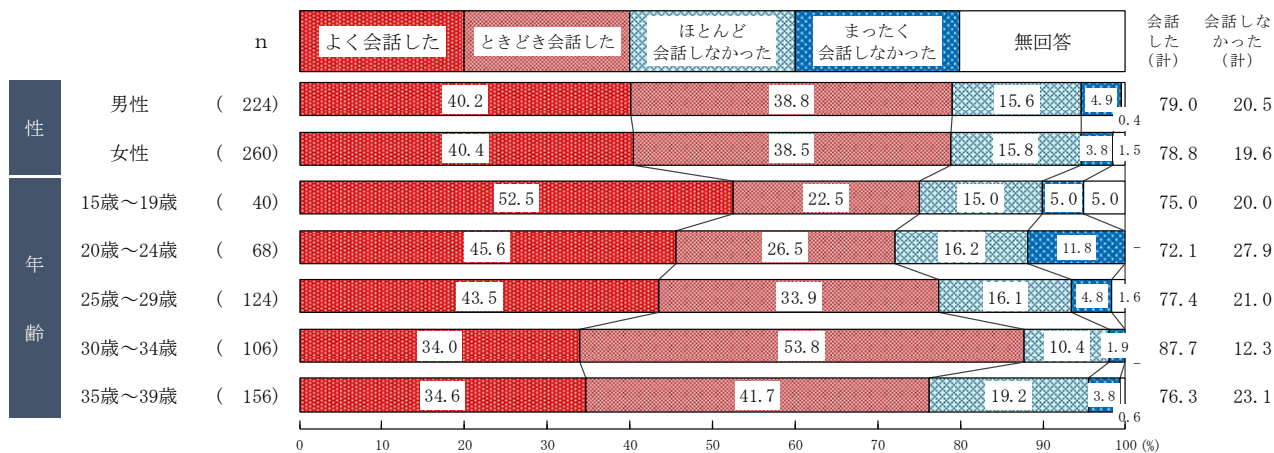


外出頻度の低い回答者のうち、現在の外出状況となつてからの期間が6か月以上である旨の回答をした者(494人)に、最近6か月間の家族以外との会話の状況を聞いたところ(図表2-2-7-5-1)、「よく会話した」という回答者は39.7%で、次いで「ときどき会話した」が38.7%である。また、「ほとんど会話しなかった」は15.8%、「まったく会話しなかった」は4.9%であり、『会話しなかった』(「まったく会話しなかった」+「ほとんど会話しなかった」)という回答者は20.6%と、約2割である。

性別にみると(図表2-2-7-5-2)、「ほとんど会話しなかった」は男性15.6%、女性15.8%、「まったく会話しなかった」は男性4.9%、女性3.8%であり、『会話しなかった』(「まったく会話しなかった」+「ほとんど会話しなかった」)という回答者は、男女ともに2割前後で、男女差はみられない。

年齢別にみると(図表2-2-7-5-2)、20歳~24歳で、『会話しなかった』(27.9%)という回答者が3割に近く、他の年齢層(15歳~19歳20.0%、25歳~29歳21.0%、30歳~34歳12.3%、35歳~39歳23.1%)より高い。

図表2-2-7-5-2 家族以外との会話の状況(性別、年齢別)<sup>18</sup>



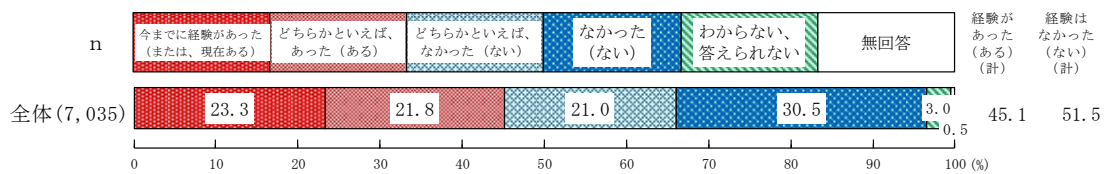
<sup>18</sup> 15歳~19歳は、回答者些少のため参考値。

## 8. 困難に直面した経験

### (1) 困難に直面した経験 (問 20)

問 20 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。(1つだけ)

図表2-2-8-1-1 困難に直面した経験

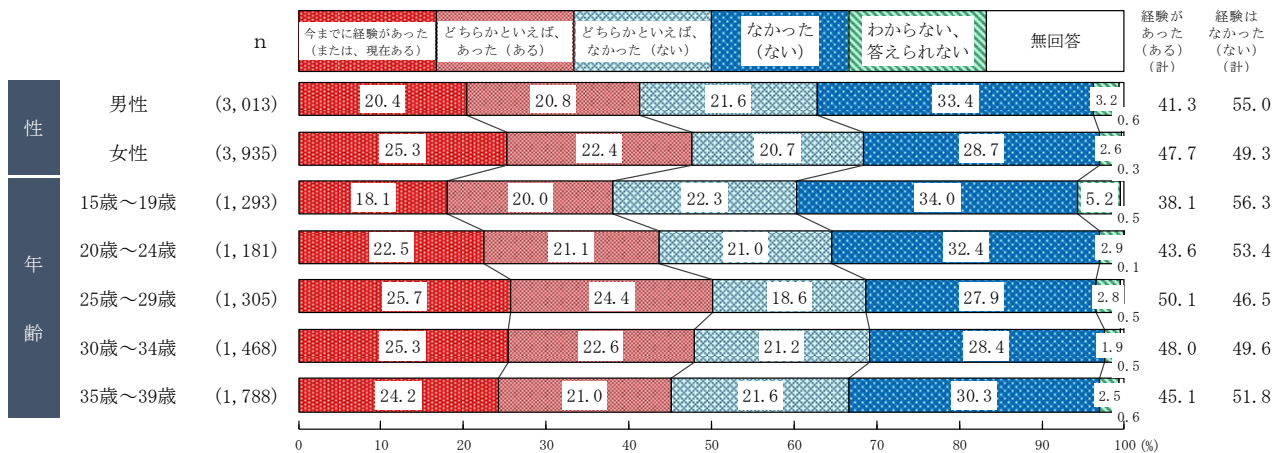


社会生活や日常生活を円滑に送る上での困難について、「今までに経験があった (または、現在ある)」という回答者は 23.3%、「どちらかといえば、あった (ある)」は 21.8%であり、『経験があった (ある)』(「今までに経験があった (または、現在ある)」+「どちらかといえば、あった (ある)」) という回答者は 45.1%である (図表 2-2-8-1-1)。

性別にみると (図表 2-2-8-1-2)、困難に直面した『経験があった (ある)』(「今までに経験があった (または、現在ある)」+「どちらかといえば、あった (ある)」) という回答者は、男女とも 4 割台 (男性 41.3%、女性 47.7%) で、女性が男性を約 6 ポイント上回っている。

年齢別にみると (図表 2-2-8-1-2)、困難に直面した『経験があった (ある)』という回答者は、25 歳～29 歳 (50.1%) と 30 歳～34 歳 (48.0%) で、約半数となっている。

図表2-2-8-1-2 困難に直面した経験(性別、年齢別)



(2) 困難に直面した原因 (問 21)

問 21 そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。

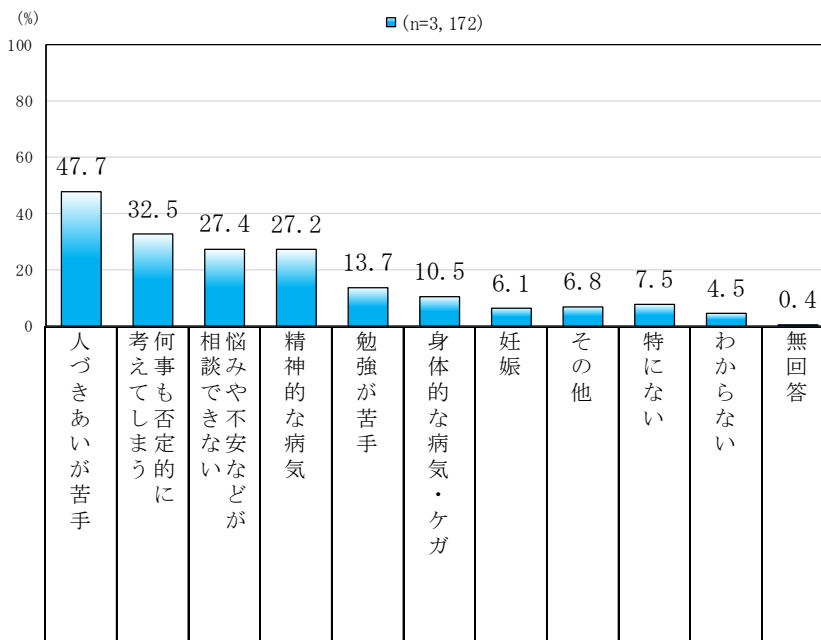
以下の(1)～(4)のそれぞれにお答えください。(いくつでも)

- (1) 自分自身について
- (2) 家族・家庭について
- (3) 学校について
- (4) 仕事・職場について

問 20 で、社会生活や日常生活を円滑に送る上での困難について、『経験があった(ある)』(「今までに経験があった(または、現在ある)」+「どちらかといえば、あった(ある)」)と答えた者(3,172人)に、その原因を“自分自身について”、“家族・家庭について”、“学校について”、“仕事・職場について”の4つの切り口から聞いた。

① 自分自身について

図表 2-2-8-2-1 困難に直面した原因: 自分自身について



まず、“自分自身について”では(図表 2-2-8-2-1)、「人づきあいが苦手」が47.7%で第1位にあげられ、以下、「何事も否定的に考えてしまう」(32.5%)、「悩みや不安などが相談できない」(27.4%)、「精神的な病気」(27.2%)、「勉強が苦手」(13.7%)などの順となっている。

“自分自身について”を性別にみると(図表 2-2-8-2-2)、「何事も否定的に考えてしまう」(男性 28.6%、女性 34.9%)、「精神的な病気」(男性 23.6%、女性 29.1%)などは男性より女性で、「勉強が苦手」(男性 16.3%、女性 11.9%)などは女性より男性で、それぞれ多くあげられている。

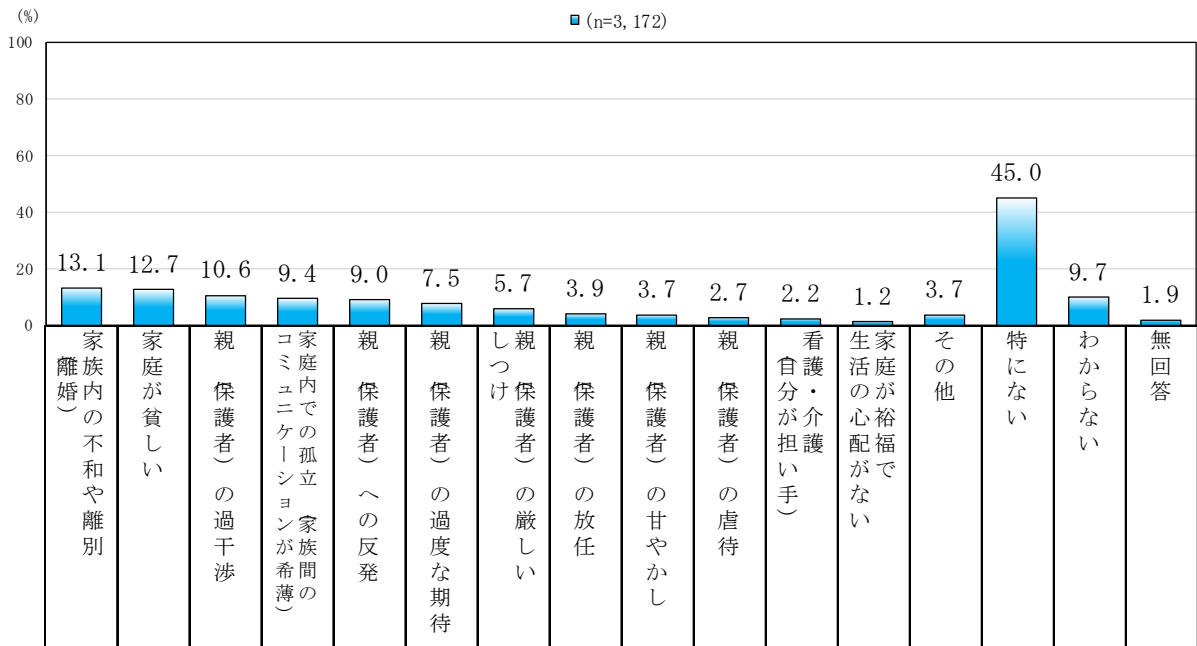
年齢別にみると(図表 2-2-8-2-2)、「人づきあいが苦手」と「何事も否定的に考えてしまう」は、概ね年齢が低い層ほど多くあげられている。また、20歳以上では、いずれの年齢層でも、「精神的な病気」が概ね3割前後(20歳～24歳 26.6%、25歳～29歳 28.3%、30歳～34歳 30.1%、35歳～39歳 29.6%)あげられている。一方、15歳～19歳では、「勉強が苦手」(26.2%)が他の年齢層より多い。

図表2-2-8-2-2 困難に直面した原因:自分自身について(性別、年齢別)

		(%)											
		n	人づきあいが苦手	何事も否定的に考えてしまう	悩みや不安などが相談できない	精神的な病気	勉強が苦手	身体的な病気・ケガ	妊娠	その他	特にない	わからない	無回答
性	男性	(1,243)	49.2	28.6	27.6	23.6	16.3	10.6	0.1	6.8	8.2	4.9	0.2
	女性	(1,877)	46.6	34.9	27.1	29.1	11.9	10.2	10.1	6.8	7.0	4.2	0.5
年齢	15歳～19歳	(492)	55.9	36.6	25.8	18.3	26.2	10.4	0.2	5.7	5.3	5.5	0.4
	20歳～24歳	(515)	49.9	35.5	28.2	26.6	16.1	8.9	1.6	8.5	6.8	3.9	0.2
	25歳～29歳	(654)	48.5	32.1	30.1	28.3	12.1	8.7	6.4	5.2	8.9	4.4	0.3
	30歳～34歳	(704)	43.0	31.5	26.1	30.1	9.4	11.4	9.1	5.4	8.5	4.5	0.1
	35歳～39歳	(807)	44.9	29.2	26.6	29.6	9.5	12.1	9.8	8.8	7.3	4.5	0.7

②家族・家庭について

図表2-2-8-2-3 困難に直面した原因:家族・家庭について



“家族・家庭について”では(図表 2-2-8-2-3)、「家族内の不和や離別(離婚)」(13.1%)、「家庭が貧しい」(12.7%)、「親(保護者)の過干渉」(10.6%)、「家庭内での孤立(家族間のコミュニケーションが希薄)」(9.4%)、「親(保護者)への反発」(9.0%)などの順にあげられている。

“家族・家庭について”を性別にみると(図表 2-2-8-2-4)、「家族内の不和や離別(離婚)」(男性 9.0%、女性 15.3%)、「親(保護者)の過干渉」(男性 8.9%、女性 11.5%)、「親(保護者)への反発」(男性 6.2%、女性 10.7%)は、男性より女性に多くあげられている。

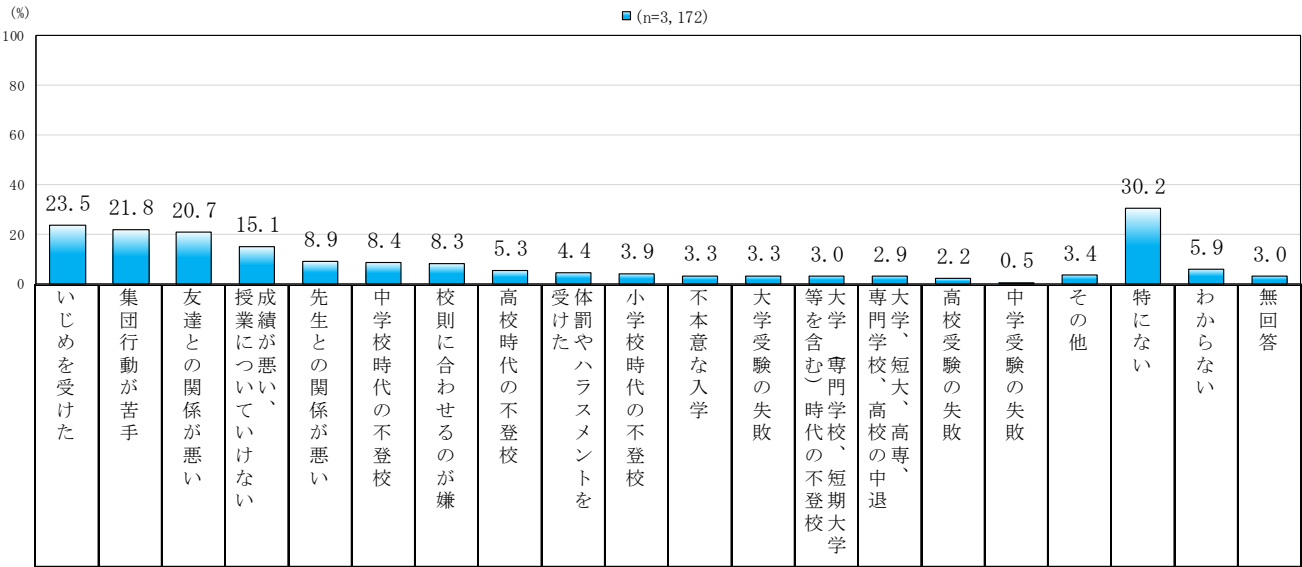
年齢別にみると(図表 2-2-8-2-4)、「家族内の不和や離別(離婚)」は、35歳~39歳(17.1%)で2割に近い。

図表2-2-8-2-4 困難に直面した原因:家族・家庭について(性別、年齢別)

	n	家族内の不和や離別(離婚)	家庭が貧しい	親(保護者)の過干渉	家庭内での孤立(家族間のコミュニケーションが希薄)	親(保護者)への反発	親(保護者)の過度な期待	親(保護者)の厳しいしつけ	親(保護者)の放任	親(保護者)の甘やかし	親(保護者)の虐待	看護・介護(自分が担い手)	生活の心配がない	家庭が裕福でない	その他	特にない	わからない	無回答
性	男性 (1,243)	9.0	12.1	8.9	8.4	6.2	7.1	4.8	3.9	4.4	2.2	1.8	1.0	2.9	48.4	10.2	1.5	
	女性 (1,877)	15.3	13.1	11.5	9.9	10.7	7.7	6.0	3.7	3.2	3.0	2.5	1.2	4.2	43.3	9.5	1.9	
年齢	15歳~19歳 (492)	10.0	8.9	9.8	7.1	9.3	8.5	4.1	3.0	3.5	2.2	0.6	1.4	2.0	49.2	13.4	1.4	
	20歳~24歳 (515)	11.3	11.5	12.0	8.2	10.5	8.5	5.6	3.7	5.4	3.1	1.0	1.0	3.5	48.0	8.5	1.2	
	25歳~29歳 (654)	10.4	13.9	11.5	9.6	8.1	8.6	7.6	4.9	3.7	3.1	2.6	1.1	4.0	46.3	8.1	2.1	
	30歳~34歳 (704)	14.3	13.6	10.7	9.2	8.4	5.8	4.8	4.8	3.3	3.3	2.3	1.7	3.0	45.6	9.1	2.6	
	35歳~39歳 (807)	17.1	14.0	9.3	11.5	9.2	6.9	5.8	3.0	3.1	2.1	3.5	0.7	5.1	39.0	10.0	1.7	

③学校について

図表2-2-8-2-5 困難に直面した原因:学校について



“学校について”では(図表2-2-8-2-5)、「いじめを受けた」(23.5%)、「集団行動が苦手」(21.8%)、「友達との関係が悪い」(20.7%)、「成績が悪い、授業についていけない」(15.1%)などの順にあげられている。

性別にみると(図表2-2-8-2-6)、「いじめを受けた」(男性17.6%、女性27.2%)、「友達との関係が悪い」(男性14.5%、女性24.9%)などは、男性より女性に多くあげられている。

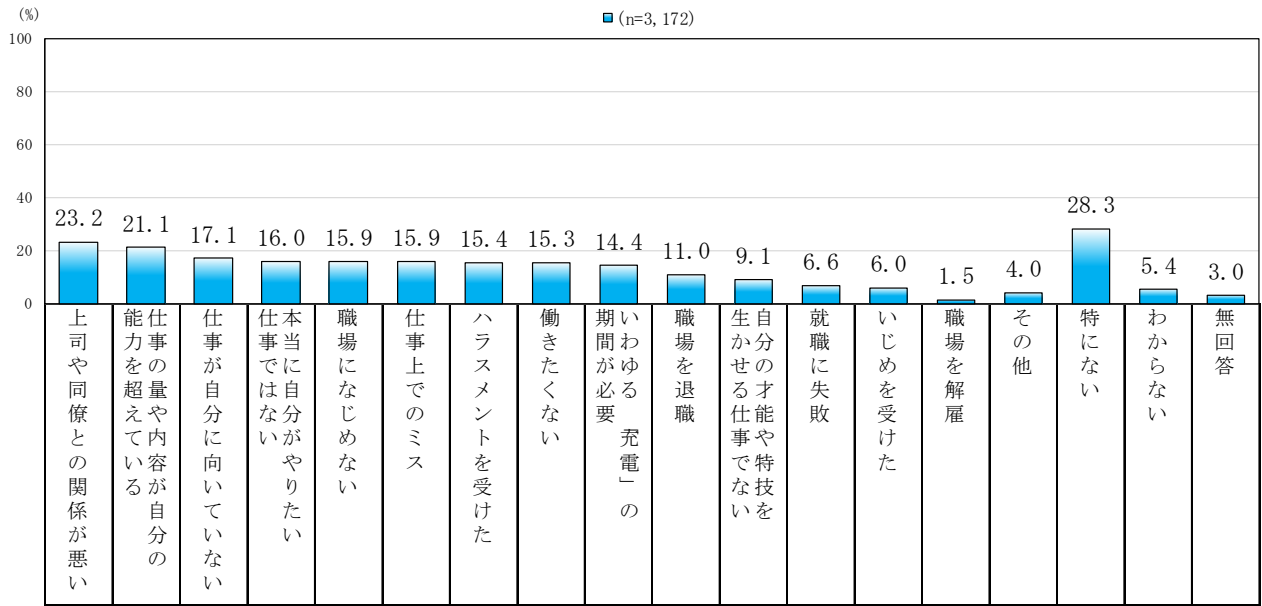
図表2-2-8-2-6 困難に直面した原因:学校について(性別、年齢別)

		n	いじめを受けた	集団行動が苦手	友達との関係が悪い	成績が悪い、授業についていけない	先生との関係が悪い	中学校時代の不登校	校則に合わせるのが嫌	高校時代の不登校	体罰やハラスメントを受けた	小学校時代の不登校	不本意な入学	大学受験の失敗	大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の不登校	専門学校、短大、高専、高校の中途	高校受験の失敗	中学受験の失敗	その他	特にない	わからない	無回答
性	男性	(1,243)	17.6	19.5	14.5	15.8	8.2	7.0	8.2	4.8	4.1	2.8	4.5	4.0	3.5	3.4	2.8	0.5	3.6	34.5	6.2	2.6
	女性	(1,877)	27.2	23.3	24.9	14.5	9.3	9.3	8.3	5.5	4.4	4.7	2.3	2.8	2.6	2.7	1.9	0.5	3.3	27.5	5.6	3.1
年齢	15歳~19歳	(492)	17.5	22.6	27.0	20.9	12.6	12.8	13.4	6.1	2.4	3.5	3.0	1.2	0.8	1.6	3.3	0.4	5.9	21.5	6.1	0.2
	20歳~24歳	(515)	23.9	21.6	21.2	17.7	11.3	9.5	8.9	6.6	5.2	3.7	4.3	5.2	5.8	3.3	2.1	0.6	4.7	27.0	6.0	2.1
	25歳~29歳	(654)	26.9	23.4	19.3	15.1	8.6	8.1	7.8	5.7	4.0	4.7	3.5	3.5	3.1	3.4	1.8	0.6	3.1	30.0	5.2	2.9
	30歳~34歳	(704)	24.7	20.2	19.7	11.2	6.1	8.1	6.5	4.4	3.8	4.1	2.6	3.1	2.4	3.1	2.4	0.6	1.7	34.7	5.7	3.4
	35歳~39歳	(807)	23.2	21.7	18.7	13.4	7.8	5.7	6.7	4.5	5.7	3.6	3.3	3.2	2.9	3.0	1.9	0.4	3.0	34.0	6.4	4.8



④仕事・職場について

図表2-2-8-2-7 困難に直面した原因:仕事・職場について



“仕事・職場について”では(図表2-2-8-2-7)、「上司や同僚との関係が悪い」(23.2%)、「仕事の量や内容が自分の能力を超えている」(21.1%)、「仕事が自分に向いていない」(17.1%)、「本当に自分がやりたい仕事ではない」(16.0%)などの順にあげられている。

性別にみると(図表2-2-8-2-8)、「いわゆる『充電』の期間が必要」は、女性(16.7%)が男性(10.8%)を約6ポイント上回っている。

年齢別にみると(図表2-2-8-2-8)、「上司や同僚との関係が悪い」と「ハラスメントを受けた」は、年齢が高い層ほど、多くあげられている。また、「仕事が自分に向いていない」は、25歳～29歳(20.6%)と30歳～34歳(20.0%)で、約2割である。

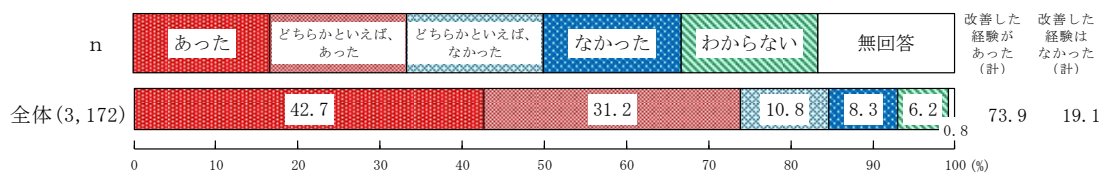
図表2-2-8-2-8 困難に直面した原因:仕事・職場について(性別、年齢別)

		n	上司や同僚との関係が悪い	仕事の量や内容が自分の能力を超えている	仕事が自分に向いていない	本当に自分がやりたい仕事ではない	職場になじめない	仕事上でのミス	ハラスメントを受けた	働きたくない	期間が必要 「充電」の	職場を退職	生かせる仕事や特技を	就職に失敗	いじめを受けた	職場を解雇	その他	特にない	わからない	無回答
性	男性	(1,243)	23.9	21.7	17.5	16.9	14.6	16.9	14.0	15.1	10.8	10.9	10.5	8.1	4.3	1.8	3.2	28.0	5.6	2.9
	女性	(1,877)	23.0	20.6	16.5	15.1	16.7	15.1	16.1	15.2	16.7	11.1	8.0	5.3	6.9	1.3	4.4	28.8	5.1	3.1
年齢	15歳～19歳	(492)	4.5	2.6	6.5	5.5	6.1	5.7	1.8	5.5	6.1	1.4	4.3	0.8	0.8	0.2	0.6	58.3	12.8	8.7
	20歳～24歳	(515)	17.9	18.1	18.1	17.3	15.3	19.4	11.8	18.4	15.1	7.4	10.9	7.2	4.7	0.6	3.9	34.8	5.2	1.7
	25歳～29歳	(654)	26.9	27.4	20.6	17.9	18.5	19.3	17.6	19.1	16.7	14.2	10.6	7.0	6.9	1.8	4.0	21.4	3.5	1.1
	30歳～34歳	(704)	28.8	24.9	20.0	18.3	18.0	16.1	19.6	16.9	14.6	15.5	10.5	9.4	7.7	1.7	4.0	19.2	4.3	1.6
	35歳～39歳	(807)	30.1	26.0	17.3	17.8	18.3	17.0	20.4	14.7	17.0	12.6	8.7	6.9	7.9	2.4	6.1	19.6	3.5	3.0

(3) 困難な状態から改善した経験 (問 22)

問 22 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。(1つだけ)

図表2-2-8-3-1 困難な状態から改善した経験



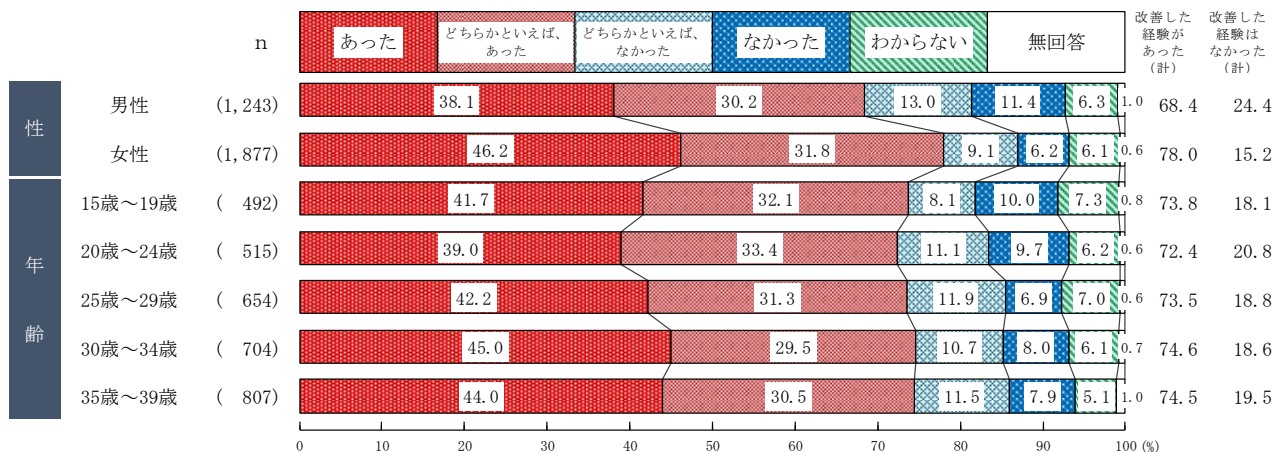
問 20 で、社会生活や日常生活を円滑に送る上での困難について、『経験があった (ある)』(「今までに経験があった (または、現在ある)」+「どちらかといえば、あった (ある)」) と答えた者 (3,172 人) に、その状態から改善した経験の有無を聞いたところ (図表 2-2-8-3-1)、42.7%が「あった」と回答し、「どちらかといえば、あった」(31.2%)を合わせると、7割以上の回答者は改善した経験を持っている。

一方、『改善した経験はなかった』(「なかった」+「どちらかといえば、なかった」という回答者 (19.1%) は、約 2 割である。

性別にみると (図表 2-2-8-3-2)、困難な状態から『改善した経験があった』(「あった」+「どちらかといえば、あった」という回答者は、女性 (78.0%) が男性 (68.4%) を約 10 ポイント上回って、8割近い。

年齢別にみると (図表 2-2-8-3-2)、いずれの年齢層でも 7 割以上が、『改善した経験があった』と回答し、大きな差はみられない。

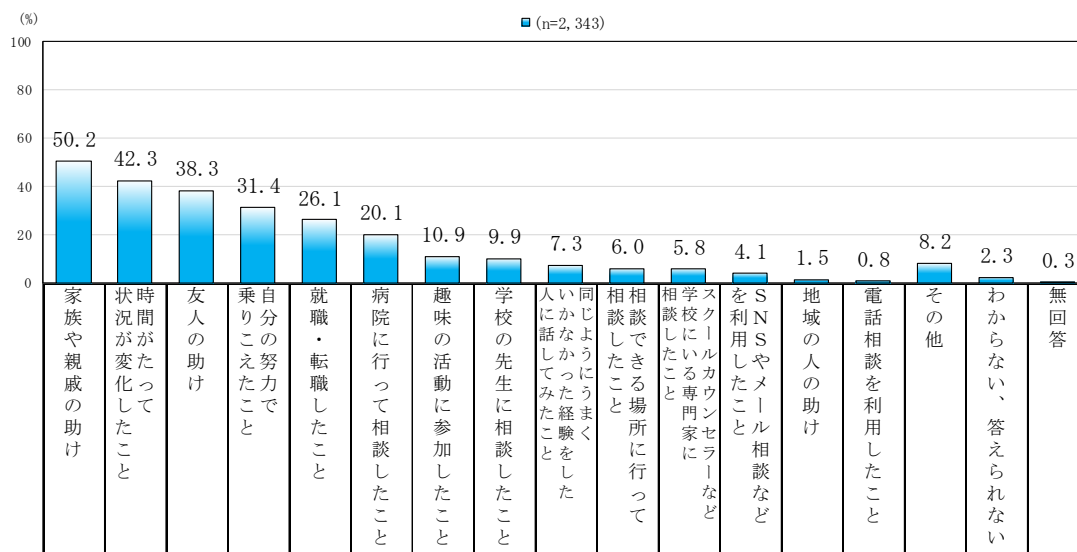
図表2-2-8-3-2 困難な状態から改善した経験(性別、年齢別)



(4) 困難な状態から改善したきっかけ (問 23)

問 23 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。(いくつでも)

図表2-2-8-4-1 困難な状態から改善したきっかけ



問 22 で、困難な状態から『改善した経験があった』（「あった」＋「どちらかといえば、あった」）と答えた者（2,343人）が、改善のきっかけとしてあげているものについてみると（図表 2-2-8-4-1）、「家族や親戚の助け」が 50.2% で第 1 位となっており、以下、「時間がたって状況が変化したこと」（42.3%）、「友人の助け」（38.3%）、「自分の努力で乗りこえたこと」（31.4%）、「就職・転職したこと」（26.1%）などの順となっている。

性別にみると（図表 2-2-8-4-2）、男女ともに「家族や親戚の助け」（男性 44.6%、女性 54.0%）、次いで、「時間がたって状況が変化したこと」（男性 36.7%、女性 45.6%）の順となっており、男性は「自分の努力で乗りこえたこと」（男性 34.2%）が、女性は「友人の助け」（42.4%）がそれぞれ第 3 位となっている。

年齢別にみると（図表 2-2-8-4-2）、15 歳～19 歳では、「友人の助け」（50.1%）と「学校の先生に相談したこと」（25.9%）が、他の年齢層より多くあげられている。

図表2-2-8-4-2 困難な状態から改善したきっかけ(性別、年齢別)

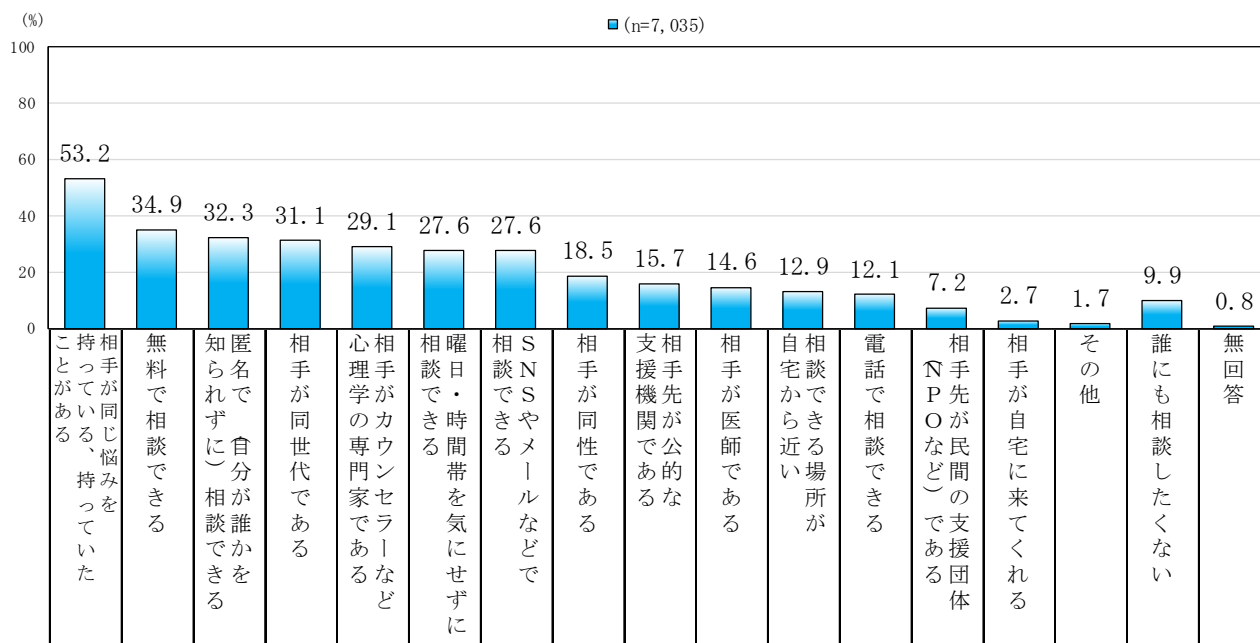
		n	家族や親戚の助け	時間がたって状況が変化したこと	友人の助け	自分の努力で乗りこえたこと	就職・転職したこと	病院に行って相談したこと	趣味の活動に参加したこと	学校の先生に相談したこと	人に話してみたこと	同じようにうまくいかなかった経験をした	相談できる場所に行って相談したこと	スクールカウンセラーなどに相談したこと	SNSやメール相談などを利用したこと	地域の人の助け	電話相談を利用したこと	その他	わからない、答えられない	無回答
性	男性	( 850)	44.6	36.7	31.1	34.2	23.8	16.7	11.3	8.2	6.5	5.9	5.1	2.5	2.1	0.5	7.4	3.4	0.2	
	女性	(1,464)	54.0	45.6	42.4	29.7	27.4	21.9	10.7	11.0	7.8	5.9	6.2	5.0	1.1	1.0	8.7	1.4	0.3	
年齢	15歳～19歳	( 363)	49.6	40.2	50.1	28.7	3.3	14.6	8.3	25.9	4.1	3.9	9.4	5.2	0.8	0.3	7.7	3.0	-	
	20歳～24歳	( 373)	49.3	44.0	40.5	31.4	14.5	15.0	14.5	14.5	7.8	4.8	9.4	5.6	0.5	0.3	7.0	3.2	-	
	25歳～29歳	( 481)	51.1	43.5	34.7	27.9	32.8	20.2	12.3	8.1	7.3	5.2	6.4	4.2	1.0	0.6	7.9	2.3	0.4	
	30歳～34歳	( 525)	51.0	40.4	36.0	35.6	37.9	23.4	10.9	4.2	8.4	6.9	3.2	3.6	1.7	1.0	8.0	2.5	0.4	
	35歳～39歳	( 601)	49.8	43.4	34.6	32.3	31.3	23.8	9.3	4.0	8.2	7.8	3.0	2.8	2.5	1.3	9.8	1.0	0.3	

## 9. 相談・支援

### (1) 相談先に求めること (問 24)

問 24 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。  
(いくつでも)

図表2-2-9-1-1 相談先に求めること



困難に直面した場合の相談先に求めることとしては（図表 2-2-9-1-1）、「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が53.2%で第1位にあげられ、以下、「無料で相談できる」（34.9%）、「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」（32.3%）、「相手が同世代である」（31.1%）、「相手がカウンセラーなど心理学の専門家である」（29.1%）、「曜日・時間帯を気にせずに相談できる」（27.6%）、「SNSやメールなどで相談できる」（27.6%）などの順にあげられている。

「誰にも相談したくない」（9.9%）という回答者は、約1割である。

性別にみると(図表2-2-9-1-2)、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」(男性49.3%、女性56.6%)、「無料で相談できる」(男性27.9%、女性40.2%)、「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」(男性24.9%、女性37.8%)、「相手がカウンセラーなど心理学の専門家である」(男性25.1%、女性32.2%)、「SNSやメールなどで相談できる」(男性22.1%、女性31.6%)、「曜日・時間帯を気にせずに相談できる」(男性23.2%、女性30.9%)、「相手が同性である」(男性12.6%、女性23.3%)などは、いずれも男性より女性に多くあげられている。

「誰にも相談したくない」という回答者は、男性11.7%、女性8.2%である。

年齢別にみると(図表2-2-9-1-2)、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」は、いずれの年齢層でも5割台で、最も多くあげられている。また、「相手が同世代である」と「相手が同性である」は、年齢が低い層ほど多くあげられている。

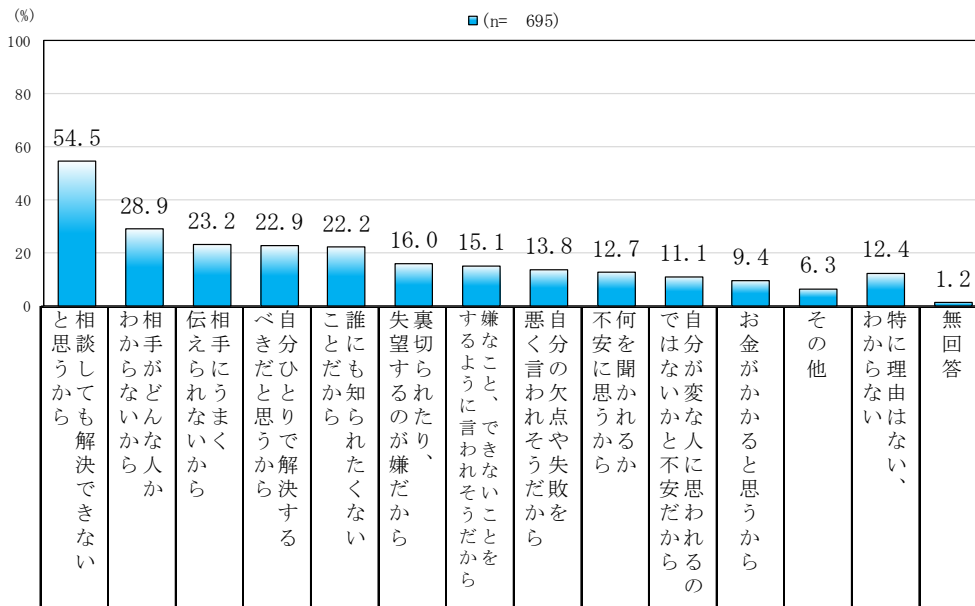
図表2-2-9-1-2 相談先に求めること(性別、年齢別)

		n	相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある	無料で相談できる	匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる	相手が同世代である	相手がカウンセラーなど心理学の専門家である	曜日・時間帯を気にせずに相談できる	SNSやメールなどで相談できる	相手が同性である	相手が公的な支援機関である	相手が医師である	自宅から近い場所が相談できる	電話で相談できる	相手が民間の支援団体(NPOなど)である	相手が自宅に来てくれる	その他	誰にも相談したくない	無回答
性	男性	(3,013)	49.3	27.9	24.9	33.2	25.1	23.2	22.1	12.6	14.8	15.3	11.4	12.9	6.7	3.0	1.8	11.7	1.0
	女性	(3,935)	56.6	40.2	37.8	30.0	32.2	30.9	31.6	23.3	16.4	14.0	14.1	11.5	7.5	2.5	1.6	8.2	0.6
年齢	15歳～19歳	(1,293)	52.8	29.7	29.9	43.9	22.0	21.7	26.3	24.6	11.1	9.7	7.7	9.2	5.6	2.4	1.6	10.7	0.5
	20歳～24歳	(1,181)	52.6	36.2	34.3	35.1	27.5	30.7	30.8	20.5	13.9	13.7	11.8	11.9	6.0	2.7	1.4	9.1	0.4
	25歳～29歳	(1,305)	53.4	34.3	32.4	30.4	27.9	28.4	27.9	17.5	15.6	13.6	13.1	12.2	7.0	3.0	1.6	9.8	1.0
	30歳～34歳	(1,468)	54.8	37.0	33.5	26.1	33.0	29.0	28.8	17.0	17.4	17.3	15.1	13.6	7.7	2.7	1.8	9.5	0.9
	35歳～39歳	(1,788)	52.5	36.4	31.4	23.9	32.9	28.1	25.1	14.8	19.1	17.2	15.5	13.1	8.8	2.7	2.0	10.2	0.9

(2) 相談したくないと思う理由 (問 25)

問 25 相談したくないと思う理由は何ですか。(いくつでも)

図表2-2-9-2-1 相談したくないと思う理由



問 24 で、「誰にも相談したくない」と答えた者 (695 人) が、その理由にあげているものについてみると (図表 2-2-9-2-1)、「相談しても解決できないと思うから」が 54.5%で第 1 位にあげられており、以下、「相手がどんな人かわからないから」(28.9%)、「相手にうまく伝えられないから」(23.2%)、「自分ひとりで解決するべきだと思うから」(22.9%)、「誰にも知られたくないことだから」(22.2%) などが 2 割台で続いている。

性別にみると（図表 2-2-9-2-2）、「相手がどんな人かわからないから」（男性 24.1%、女性 34.8%）、「相手にうまく伝えられないから」（男性 16.1%、女性 30.4%）、「何を聞かれるか不安に思うから」（男性 9.9%、女性 15.2%）などは男性より女性に、「自分ひとりで解決するべきだと思うから」（男性 29.7%、女性 15.8%）などは女性より男性に、それぞれ多くあげられている。

年齢別にみると（図表 2-2-9-2-2）、いずれの年齢層でも「相談しても解決できないと思うから」が第 1 位にあげられている。次いで、「相手がどんな人かわからないから」が 15 歳～19 歳（39.9%）と 30 歳～34 歳（32.4%）で、「自分ひとりで解決するべきだと思うから」が 20 歳～24 歳（27.1%）、25 歳～29 歳（22.7%）、35 歳～39 歳（27.3%）で、それぞれ第 2 位にあげられている。

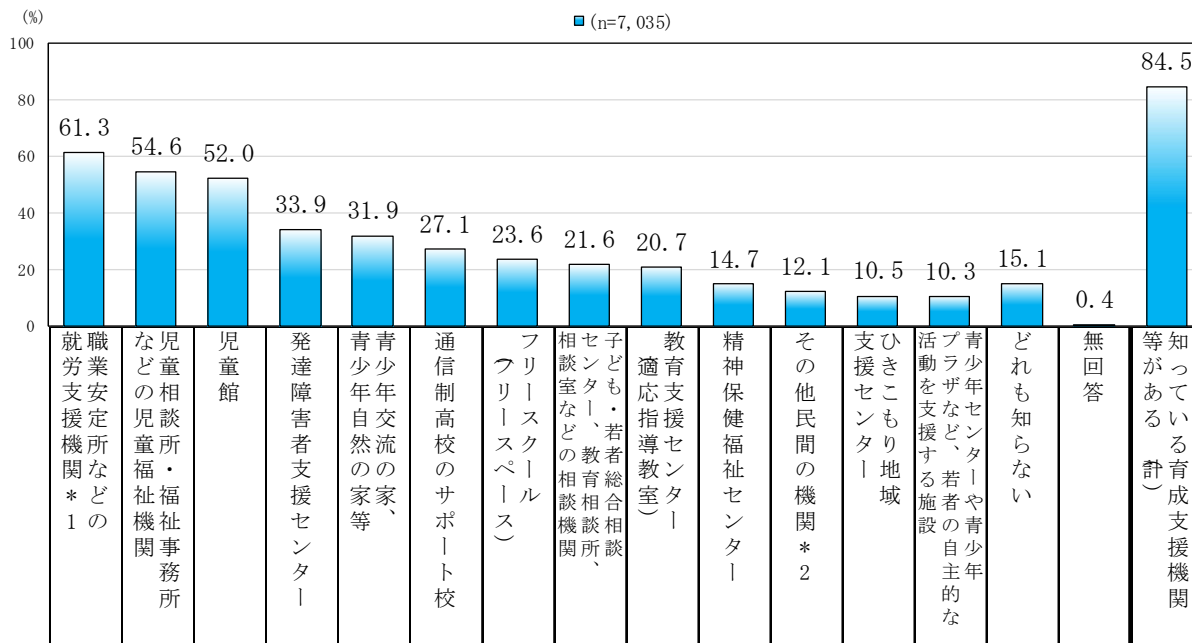
図表 2-2-9-2-2 相談したくないと思う理由（性別、年齢別）

		(%)														
n		相談しても解決できない	相手がどんな人かわからないから	相手にうまく伝えられないから	自分ひとりで解決するべきだと思うから	誰にも知られたくない	裏切られたり、失望するの嫌だから	嫌なこと、できないことを言うように言われそうだから	悪く言われそうだから	自分の欠点や失敗を不安に思われるから	何を聞かれるか	自分を変な人と思われ	お金がかかると思うから	その他	わからない理由はない、	無回答
性	男性 ( 353)	54.1	24.1	16.1	29.7	21.8	14.7	12.7	13.3	9.9	12.7	8.5	4.5	14.2	1.7	
	女性 ( 322)	55.3	34.8	30.4	15.8	23.0	16.8	16.8	14.3	15.2	9.3	9.9	8.7	9.0	0.6	
年 齢	15歳～19歳 ( 138)	45.7	39.9	26.1	15.9	33.3	21.0	15.2	19.6	20.3	16.7	5.1	3.6	14.5	-	
	20歳～24歳 ( 107)	55.1	22.4	23.4	27.1	23.4	15.0	20.6	14.0	14.0	11.2	6.5	9.3	16.8	-	
	25歳～29歳 ( 128)	51.6	21.9	22.7	22.7	14.1	8.6	8.6	12.5	8.6	9.4	8.6	5.5	15.6	3.1	
	30歳～34歳 ( 139)	61.9	32.4	25.2	20.9	24.5	14.4	21.6	15.1	10.8	10.8	12.2	4.3	7.2	1.4	
	35歳～39歳 ( 183)	57.4	26.8	19.7	27.3	16.9	19.1	11.5	9.3	10.4	8.2	12.6	8.7	9.8	1.1	

(3) 育成支援機関等の認知度 (問 26)

問 26 あなたは、子供・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。  
知っている育成支援機関等をすべて選んでください。(いくつでも)

図表2-2-9-3-1 育成支援機関等の認知度



\*1 職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関

\*2 その他民間の機関（自然体験活動、学習支援、就労支援、ひきこもりの支援など若者育成支援を行うNPOなど）

子ども・若者を対象とした育成支援機関等の認知度としては(図表2-2-9-3-1)、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が61.3%で最も高く、以下、「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」(54.6%)、「児童館」(52.0%)、「発達障害者支援センター」(33.9%)、「青少年交流の家、青少年自然の家等」(31.9%)などの順となっている。

「どれも知らない」という回答者は15.1%で、8割以上(84.5%)はいずれかの育成支援機関等を認知している。



性別にみると（図表 2-2-9-3-2）、「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」（男性 56.3%、女性 65.4%）、「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」（男性 45.7%、女性 61.7%）、「児童館」（男性 43.0%、女性 59.1%）、「発達障害者支援センター」（男性 26.8%、女性 39.6%）、「フリースクール（フリースペース）」（男性 18.9%、27.3%）などは、いずれも男性より女性の認知度が高い。

男性の 21.4%は、「どれも知らない」と回答している。

年齢別にみると（図表 2-2-9-3-2）、15 歳～19 歳では「児童館」（51.4%）と「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」（50.3%）が上位である。また、「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」、「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」、「発達障害者支援センター」は年齢が高い層ほど、「通信制高校のサポート校」、「教育支援センター（適応指導教室）」は概ね年齢が低い層ほど、それぞれに認知度が高い。

図表 2-2-9-3-2 育成支援機関等の認知度（性別、年齢別）

																	(%)	
性	n	職業安定所などの就労支援機関*1	児童相談所・福祉事務所	児童館	発達障害者支援センター	青少年交流の家、青少年自然の家等	通信制高校のサポート校	フリースクール（フリースペース）	子ども・若者総合相談センター、教育相談所、相談室などの相談機関	教育支援センター（適応指導教室）	精神保健福祉センター	その他民間の機関*2	ひきこもり地域支援センター	青少年センターや青少年プラザなど、若者の自主的な活動を支援する施設	どれも知らない	無回答	知っている育成支援機関等がある（計）	
		男性	(3,013)	56.3	45.7	43.0	26.8	29.6	24.7	18.9	19.7	18.0	13.5	11.5	12.3	9.8	21.4	0.4
女性	(3,935)	65.4	61.7	59.1	39.6	33.8	28.8	27.3	23.0	22.8	15.6	12.6	9.2	10.6	9.9	0.3	89.8	
年齢	15歳～19歳	(1,293)	37.4	50.3	51.4	26.9	30.5	38.1	16.5	23.2	25.4	13.1	9.2	9.2	9.7	18.3	0.5	81.3
	20歳～24歳	(1,181)	59.9	51.6	47.4	31.2	35.3	29.6	20.7	23.7	21.5	15.9	14.5	9.5	11.6	16.9	0.4	82.7
	25歳～29歳	(1,305)	66.4	53.4	47.4	32.3	31.2	26.1	19.5	19.2	19.2	16.5	12.0	10.2	11.6	16.8	0.2	83.0
	30歳～34歳	(1,468)	68.4	55.2	54.0	34.7	31.0	23.0	26.0	19.5	18.3	13.0	11.9	9.7	9.5	13.8	0.4	85.8
	35歳～39歳	(1,788)	69.9	60.1	57.3	41.4	31.8	21.5	31.7	22.5	19.7	15.3	13.0	13.1	9.6	11.4	0.3	88.3

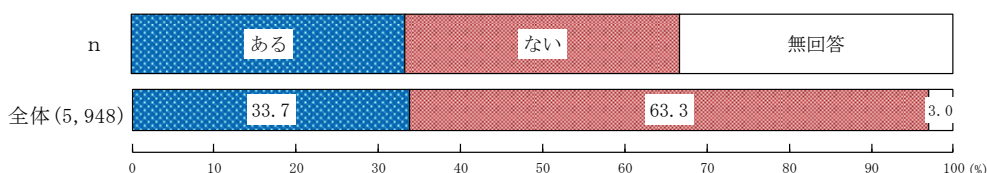
\*1 職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関

\*2 その他民間の機関（自然体験活動、学習支援、就労支援、ひきこもりの支援など若者育成支援を行うNPOなど）

(4) 育成支援機関等の利用経験 (問 27)

問 27 これらの機関を利用したことはありますか。(1つだけ)

図表2-2-9-4-1 育成支援機関等の利用経験

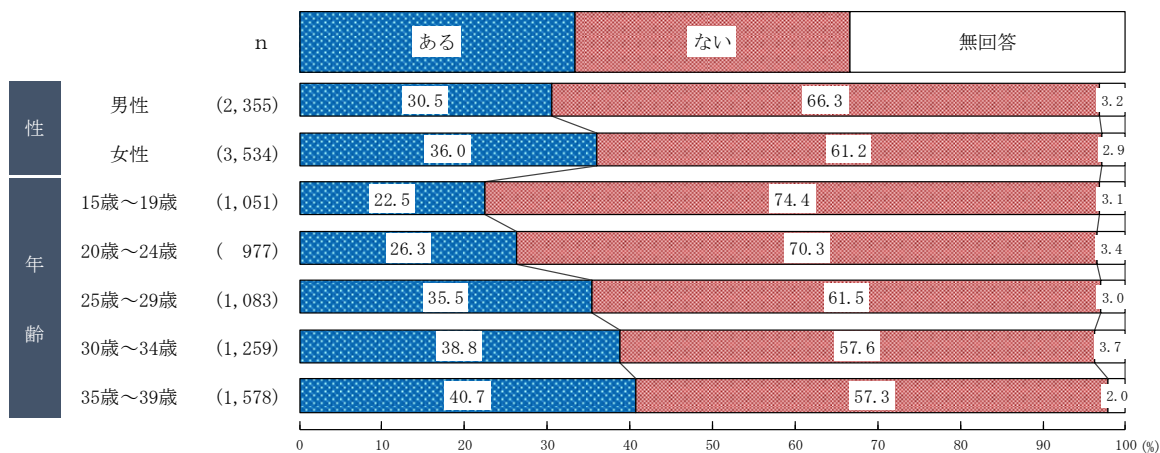


問 26 で、いずれかの育成支援機関等を認知している旨を答えた者 (5,948 人) のうち、実際に利用経験が「ある」という回答者は 33.7% で、6 割以上は「ない」(63.3%) と回答している (図表 2-2-9-4-1)。

性別にみると (図表 2-2-9-4-2)、利用経験が「ある」という回答者は、女性 (36.0%) が男性 (30.5%) を約 6 ポイント上回っている。

年齢別にみると (図表 2-2-9-4-2)、年齢が高い層ほど、利用経験が「ある」という回答者の割合は高くなっている。

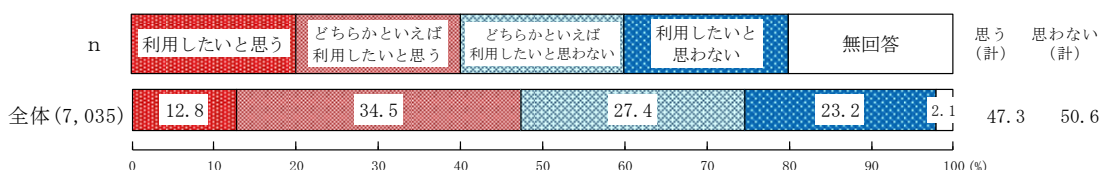
図表2-2-9-4-2 育成支援機関等の利用経験(性別、年齢別)



(5) 育成支援機関等の利用意向 (問 28)

問 28 これらの機関について利用したいと思いますか。(1つだけ)

図表2-2-9-5-1 育成支援機関等の利用意向



育成支援機関等の利用意向を聞いたところ (図表 2-2-9-5-1)、「利用したいと思う」という回答者は 12.8%、「どちらかといえば利用したいと思う」は 34.5%となっており、約半数は、利用したいと『思う』(「利用したいと思う」+「どちらかといえば利用したいと思う」)と回答している。

性別にみると (図表 2-2-9-5-2)、「利用したいと思う」という回答者の割合は、男性 10.9%、女性 14.2%で、男性より女性が高く、利用したいと『思う』(「利用したいと思う」+「どちらかといえば利用したいと思う」)という回答者は、女性 (52.7%) が男性 (40.5%) を約 12 ポイント上回っている。

年齢別にみると (図表 2-2-9-5-2)、利用したいと『思う』という回答者の割合は、概ね年齢が高い層ほど高く、15歳～19歳では 35.6%、35歳～39歳では 51.7%である。

図表2-2-9-5-2 育成支援機関等の利用意向(性別、年齢別)

